

平成 29 年度

大間町教育委員会の事務の
点検及び評価に関する報告書

— 平成 29 年度の実績 —

大間町教育委員会

ま え が き

大間町教育委員会は、教育は「将来を担う人づくり」という視点に立ち、子どもたちが確かな学力と豊かな人間性・逞しい心身を身に付け、健やかな体を培い、新しい時代を主体的に切り開いていく人間として成長できるよう教育の施策の充実に努めております。

子どもたちが将来の夢や志の実現に向けて、創造力などを生かして果敢にチャレンジする人材として成長するよう「人とのかかわり」や「体験行動」を通じて、社会的独立のために必要な能力・意識を育成する地域ぐるみのキャリア教育の充実に取り組むとともに、子どもたちが意欲的に学習できる環境づくりを目指し、いじめ、不登校、問題行動への対策・支援の充実に通じて子どもたちが安心して学校生活を送ることができる環境づくりを推進しています。

学校教育においては、小・中学校の連携を図りながら「確かな学力の育成」を目指し、学習意欲の向上・学習習慣の確立、そして心身の発達に応じて人間形成に必要な基礎的な能力と自主性・創造性を育むことを目的として、多様な指導方法の工夫など日々の授業改善に努め、児童生徒一人ひとりが主体的に学習し、基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせることができるよう、「個」に応じた指導を行っております。また、保護者・地域との連携を図りながら信頼される活気ある学校づくりを進めております。

社会教育については、伝統文化やスポーツの交流を通じて地域住民が心のふれあいを一層深め、生涯にわたって生きがいのある充実した生活を送り、豊かで住みよい地域社会の実現ができるよう各団体との連携を密にし、一人ひとりの学習と社会参加を実現する社会教育の充実に向けた支援を積極的に推進しております。

平成 26 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、毎年、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を提出するとともに、公表することが義務付けられました。

この法律の改正を受け、大間町教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進並びに町民への説明責任を果たすことを目的に、平成 29 年度分報告書をまとめました。

町民の皆様は、大間町の教育施策と教育委員会の取組みについてご理解を深めていただければ幸いです。

大間町教育委員会では、大間町第 5 次長期総合計画の基本構想に基づき、教育施策の推進に努めて参りますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 10 月

大間町教育委員会

目 次

■ 点検・評価の概要	1
1 経緯	1
2 点検・評価の方法	1
3 報告書の構成	1
4 点検及び評価アドバイザー会議の概要	1～2
5 事務の点検及び評価実施要綱	3
6 点検及び評価実施要領	4
■ 平成 29 年度 大間町教育施策の方針	5～11
■ 施策別重点項目一覧	12
■ 点検・評価結果	
I 教育委員会	
① 組織・事務局・事務分担	13～17
② 教育委員会会議の開催	18～22
③ 教育委員による学校訪問の実施	23～24
④ 教育委員研修会	24
⑤ 平成 29 年度予算及び施設整備・備品・就学援助・奨学金	25～26
II 学校教育の充実	
(1) 組織及び事業	27
① 大間町教育推進協議会（校長会）	27
② 大間町教頭会	27
③ 大間町教務主任会	27
④ 大間町学校事務会	27
⑤ 大間町学校保健会	27
⑥ 大間町就学指導委員会	28～29
⑦ 大間町学力向上研究会	30～33
⑧ 大間町臨時職員任用	34～35
⑨ 外国語指導助手の任用	36
⑩ 大間町きめ細かな子育て支援事業	37～41
⑪ 大間町小・中学生海外派遣事業	42～43
⑫ 大間町教育ネットワーク会議	44～45
⑬ 大間町奨学金貸付事業	46～49
⑭ 奥戸地域学校教育の検討	50～53

III 社会教育の充実

(1) 組織及び事業	54
① 社会教育委員会	54
② 文化財審議委員会	54
③ 公民館運営審議委員会	54
④ スポーツ推進委員会	55
⑤ 少年教育・こども会育成事業	55
⑥ 放課後こどもプラン	55
⑦ 青年教育・成人式	55
⑧ 勤労青少年ホーム	56
⑨ 女性団体連絡協議会	56
⑩ 老人クラブ連合会	56
⑪ 芸術・文化団体（芸能保存会・祭典実行委員会）	56
⑫ 体育・スポーツ団体（各種体協等）	56

IV 大間町教育委員会行事

① 第72回市町村対抗青森県民体育大会	58～60
② 大間町成人式	61～62
③ 第25回青森県民駅伝競走大会	63～65
④ 第32回はまなす駅伝大会	66～73
⑤ 公民館講座	74～76
⑥ 第42回町民文化祭	77～82
⑦ 第39回大間町音楽祭	83～89
⑧ 第32回大間町少年柔道大会	90～95
⑨ 第46回新春書初め席書大会	96～98
⑩ 第54回大間町少年剣道大会	99～107
⑪ 大間町青少年健全育成会議	108～125
⑫ 放課後子ども教室事業	126～130
⑬ 函館市戸井地区交流事業	131

□ 施策の総合的評価	132
------------	-----

点検・評価の概要

1 経緯

平成 20 年 4 月 1 日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が施行され、平成 26 年 6 月に一部改正がなされました。法第 26 条により教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされております。

この法律改正を受け、大間町教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び町民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2 点検・評価の方法

(1) 点検・評価の対象

平成 30 年度の点検・評価に当たっては、平成 29 年度に実施した各重点項目を推進するための具体的な取組を点検対象として、その点検結果を踏まえ、重点項目ごとに自己評価を行いました。

(2) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等の「点検・評価アドバイザー」からその実施方法や内容について意見をいただき、これを点検・評価の実施と報告書の作成に反映させました。

3 報告書の構成

(1) 全体構成

報告書は、「学校教育の充実」、「社会教育の充実」の施策ごとに構成されています。

(2) 重点項目の点検

重点項目を推進するための具体的な取り組み状況について「計画」、「実績」、「成果」、「課題等」に分けて評価しています。

4 点検及び評価アドバイザー会議の概要

○平成 29 年度点検及び評価アドバイザー

氏 名	団 体 ・ 役 職 等
林 誠	元 小学校 P T A 会長 社会福祉協議会事務局長
小 浜 哲 夫	元 小学校 P T A 役員 大間漁協総務課長

○点検及び評価アドバイザー会議の開催状況

- ・第1回点検及び評価アドバイザー会議（平成30年10月5日開催）

〔内容〕・大間町教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書（原案）の内容
についての評価

- ・説明担当：教育課 学校教育担当、社会教育担当

○アドバイザーからの主な意見

- ・登下校時の児童生徒の安全確保は重要である。危険なブロック塀の位置把握、冬期間の通学路の除雪は必要不可欠であることから、関係機関と連携し安全確保に努めてほしい。
- ・各学校が災害時の避難所に指定されているが、災害時必要な物品・備品等の検討・配備を行い避難所としての機能の充実を図る必要がある。
- ・少子化による今後の教育施策について、統合問題も含め段階的に検討を続けることが重要である。特に、保護者の理解を得られないままの統合実施は、後に問題を残すこととなるので十分協議を重ね推進すべきと思う。

5 事務の点検及び評価実施要綱

(趣旨)

第1 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施するため、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の実施)

第2 教育委員会は、毎年、前年度の教育に関する事務が年度ごとに掲げる「大間町の教育」に基づいて適切に実施されているかを点検するとともに、その成果及び課題について自ら評価するものとする。

(学識経験者等の知見の活用)

第3 教育委員会は、点検及び評価について客観性を確保するため、点検及び評価の実施方法並びにその内容等について意見を聴取するなど、教育に関する学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

(点検及び評価の結果の活用)

第4 点検及び評価の結果は、教育施策の企画立案等、効果的な教育行政の推進等に活用するものとする。

(町議会への報告等)

第5 点検及び評価の結果については、報告書を作成して議会へ提出するとともに公表するものとする。

(その他)

第6 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価に関し必要な事項については、教育長が別に定める。

(附則)

この要綱は、平成20年5月1日より実施する。

6 点検及び評価実施要領

(趣 旨)

第1 この要領は、大間町教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱（以下、要綱という。）に定めるもののほか、点検及び評価に関し必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2 点検及び評価の対象は、別記「施策別重点項目一覧表」（以下、「重点項目一覧表」という。）に定める推進施策の重点項目を構成する主要事業として、教育長が定める事業（以下、「対象事業」という。）とする。

(点検及び評価の手続き)

第3 対象事業を所管する者は、教育長が別に定めるところにより、当該対象事業について点検及び評価を行い、その結果を教育長に提出するものとする。

2 重点項目一覧表に定める評価担当者は、教育長が別に定めるところにより、当該重点項目について、前項の点検及び評価の結果に基づく総括的な評価を行い、その結果を教育長に提出するものとする。

(点検・評価アドバイザーの委嘱)

第4 教育長は、要綱第3に規定する教育に関する学識経験を有する者の知見を活用するため、教育に関する学識経験を有する者の中から適当と認められる者を、点検・評価アドバイザーとして委嘱し、点検及び評価の実施方法並びにその内容等について意見を求めるものとする。

(報告書の作成)

第5 教育長は、点検・評価アドバイザーから聴取した意見を参考に、点検・評価に関する報告書の案を作成し、教育委員会に提出する。

(町議会への報告時期)

第6 点検及び評価の結果に関する報告書は、12月大間町議会定例会の招集日までに町議会に提出するものとする。

(その他)

第7 この要領に定めるもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項については、別に定める。

(附則)

この要領は、平成20年5月1日から施行する。

平成29年度 大間町教育施策の方針

大間町教育委員会は、豊かな心と郷土に対する誇りを持ち、健康で、創造性に富み、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指します。このため、

- 夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育
- 学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育
- 次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用
- 活力、健康、感動を生み出すスポーツ

を学校・家庭・地域の各関係機関、団体との連携を密にし、広く町民の理解と協力を得ながら推進します。

1. 大間町学校教育の方針と重点

青森県教育委員会及び下北教育事務所が定めた平成29年度「青森県教育施策の方針」並びに「学校教育指導の方針と重点」を基調として、大間町学校教育の現状と課題を踏まえつつ、その課題解決に向けて取り組みの方針と重点を設定する。

(1) 方針

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで新しい時代を主体的に切り拓く幼児・児童・生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校経営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努める。

(2) 重点

① 幼稚園教育の充実

ア 一人一人の発達の特徴を理解し、その子どもに応じた適切な指導や援助に努め、必要に応じては、きめ細かな支援をすることで、就学に向けての対応に取り組む。

イ 健康・安全で幸福な生活のために必要な、基本的な生活習慣や態度を育てるように努める。

ウ 豊かな心をはぐくむために、経験したことや考えたことなどを、言葉で表現し、相手の話を聞くことができるよう指導に努める。

エ 自然体験・社会体験などの直接的、具体的生活体験を重視した活動を積極的に取り入れる。

オ 園内・園外の研修の充実を図り、教師の資質の向上に努める。

カ 家庭及び幼保・小学校間の情報の共有と連携を図り、相互理解を深めながら教育実践の推進に努める。

キ 新子育て制度に向けた、地域のニーズに合った次世代の子育て環境整備計画の検討に努める。

② 児童生徒の基礎学力の充実

ア 一人一人に、基礎的・基本的内容を確実に身につけさせるために、指導内容を重

点化し、適切な教材の精選に努める。

イ 学習内容を確実に定着させるよう、授業展開の仕方や指導法の工夫に努める。

ウ グループ別指導やティームティーチング、繰り返し指導、習熟度別指導など個に応じた指導の取り組みを工夫する。

エ 確かな学力の定着を図るため、国及び県の学習到達度調査を参考にし、適宜活用しながら、町独自の学力調査に取り組む。

オ 学力向上委員会の研究の実践、教員の授業支援と児童生徒の基礎学力の向上と及びきめ細かい指導方法や指導体制、教育課程の工夫、改善等に努めていく。

また、町採用による臨時講師事業を継続実施とする。

③ 学校活性化の推進

ア 個性あふれる学校づくりをめざし、地域社会と連携しながら、創意工夫して展開する各学校独自の教育活動を推進する。

イ 体験的学習活動を積極的に授業に取り入れ、その一環としてキャリア教育の実践研究に取り組む。

④ 道徳教育の充実

ア 一人一人が人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かし得るよう、その基礎となる道徳性の育成に教育活動全体を通して取り組む。

イ 豊かな心を育むための体験活動の在り方等について、実践研究を学社連携で継続的な推進に努める。

⑤ 特別活動の充実

ア 明るい学校生活を築くために、自ら問題を発見し自主的に解決できるような実践的な態度の育成に努める。

イ 一人一人が集団の一員として互いに尊重し合い、協力して活動できるような人間関係づくりに努める。

ウ 感動や連帯感を高める学校行事の工夫に努める。

エ 自治的な意識を高める児童会活動、生徒会活動の工夫に努める。

⑥ 生徒指導の充実

ア 生徒指導においては、お互いの心の結びつきを基調とし、自己決定の場や自己存在感を与え、一人一人の個性の伸長を図りながら、児童生徒が豊かな生活を送ることができるように取り組む。

イ 不登校、いじめ、体罰、公共物（学校器物）破損、非行等の問題については、大間町教育委員会で組織する情報共有の場である「大間町教育ネットワーク会議」で関係機関及び学校現場の双方で児童生徒の実態を速やかに把握し、早期には教職員が保護者の理解と協力を得ながら対応し、重要と判断される案件については町の児童福祉担当課（住民福祉課）で設置している「大間町要保護児童対策地域協議会」が主となり各支援機関及び教職員の協同体制で問題の早期支援と解消に取り組む。

※ 各関係機関の構成員は、大間警察署刑事生活安全課長、福祉事務所職員、児童相談所職員、民生・児童委員協議会会長、教育事務所指導主事・ソーシャルワーカー等をいい、これらの機関が連携を図り問題にあたることとなる。

ウ P T A集会、P T A・学級・学校だより、地区懇談会、町内会会議等様々な機会をとらえて学校・家庭・地域が互いに情報提供に努め、地域全体の関心と協力体制を高める。

エ スクールカウンセラー配置事業を実施し、児童生徒の問題行動やいじめ、不登校などの諸問題を未然に防止または解決のために、専門知識を生かして、児童生徒へのカウンセリングを適切に行い学校における教育相談体制の充実を図る。

⑦ キャリア教育・進路指導の充実

ア 3年間のキャリア教育指定に伴う実践及び評価を踏まえ、一人一人の子どもが、自らの生き方を考え、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる能力や態度の育成に継続的に努める。

イ 小学校においては、道徳や特別活動の中で意図的に将来の夢や希望を育てるようにし、さらに中学校では、発達段階に応じて進路相談を実施するとともに、職業観や勤労観を育成する。

ウ 進路の選択に当たっては、本人の能力、適正、興味関心や希望等を尊重するとともに、保護者とも十分な話し合いを持ち、適切な指導・援助に努める。

⑧ 体育・健康教育の充実

ア 一人一人の子どもが、生涯にわたり自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、発達段階に応じた運動能力の向上と体力の増進を図る。

イ 学校の保健安全計画にもとづく意図的、継続的な指導により、実践的な能力や態度が身に付くように努める。

ウ 学校における事件・事故を未然防止し、児童生徒を犯罪被害から守るために、学校・警察・地域及び家庭との情報連絡を密にし、危機管理意識の向上に努める。

エ 学校給食については、衛生管理の徹底に努め、食中毒発生防止に万全を期する。

オ 下北地区では、肥満傾向が顕著であり、「下北の子どもヘルスアップ事業」の実施により(親子・保護者を対象に料理講習会・レシピコンテスト・講演会)生活習慣の改善・学力向上に努める。

⑨ 国際化に対応する教育の推進

ア 郷土の文化や伝統、自然環境等に目を向け、体験的な活動を取り入れて、郷土をよく知り、郷土に対する愛着と誇りを涵養するよう努める。

イ 一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

⑩ 特別支援教育の充実

ア 「大間町きめ細かな子育て支援事業」の取り組みの成果・課題等についての的確な実態把握に努める。

本事業の実践及び評価を踏まえ、今後も家庭内幼児教育の充実・未発達幼児、幼児保育の支援さらに、保護者及び学校との良好な関係構築と小学校就学時及び中学校入学時における情報の共有と児童生徒の社会的自立の支援の継続に努める。

イ 大間地区こども発達相談連絡会議の有効的活用と開催頻度を高めるよう努める。

⑪ 情報化に対する教育の推進

ア 児童生徒が情報活用能力を身につけることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、情報教育の推進に努める。

イ 学習指導におけるコンピュータ等の適切な活用の推進に努める。

ウ 平成28年度に大間・奥戸両小学校のコンピュータ機器及び教育ソフトを最新のものに更新し、更には校内どの場所でも通信できる無線LANの整備及びタブレットを配備しICT化を図った。今年度はデジタル教科書を利用した授業の展開等も予定していることから児童生徒は勿論であるが、教職員を対象に操作研修等を実施することで教職員のレベルアップ・意識高揚に努める。

⑫ 環境教育の推進

ア 児童生徒の発達段階や生活環境等に対応し、その興味・関心を生かした指導を工夫する。

イ 学校と家庭、地域社会が一体となり、地域の環境問題に関わる体験活動を推進する。

⑬ 研修の充実

ア 教職の専門性を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・積極的な研修の推進に努める。国における教育再生実行会議の提言の報告、また、「道徳教育総合支援事業」の評価を踏まえ道徳教育の改善と充実に努める。

イ 学校の教育課題解決のための実践研究に努める。

ウ 地域との連携を深め、地域の教育資源や学習環境を活用した教育活動に努める。

⑭ 学校施設の整備

ア 奥戸小学校増築及び旧校舎解体工事設計業務委託の実施。

イ 奥戸小学校オイルタンク改修工事の実施。

ウ 奥戸中学校体育館屋根及び外壁改修工事の実施。

エ その他突発的な学校施設の改修・修繕については随時対応し教育環境の利便を図る。

⑮ へき地・複式教育の充実

ア 複式学級実施校に対し、教育環境の変化等に伴う人的・物的支援の確保及び教育現場との情報共有に努める。

⑯ 学校再編に関するあり方について

ア 少子化に伴う奥戸小学校及び奥戸中学校のあり方について「大間町奥戸地域学校教育検討委員会」の報告等を踏まえ、町、町議会、奥戸地区の保護者・住民に対して、教育の現状説明と意見交換、さらには複式校・統合校の視察研修を実施してきた。大間町教育委員会としては、奥戸地域の子どもの将来に向けた教育環境のあり方・地域のあり方を継続的に積極的な協議に努め、町・町議会・住民等に報告してきたが、奥戸中学校は生徒数の減少による集団活動や行事等教育効果の低下を考慮し、生徒が切磋琢磨できる環境づくりに取り組む必要があることを重視した結果、大間中学校との統合に向け推進する。

⑰ 大間町の教育委員会事業等の事業評価及び見直しの検討

ア 大間町教育委員会の事業及び行事の評価を行い、次世代を見据えた住民ニーズに基づく見直しの検討をする。

2. 大間町社会教育の方針と重点

(1) 方針

地域住民が心のふれあいを深め、生涯にわたって生きがいのある充実した生活をおくるとともに、豊かで住みよい地域社会の実現ができるよう、一人ひとりの学習と社会参加を実現する社会教育の推進に努めるとともに、地域全体の教育力の向上を図る。

(2) 重点

① 青少年の健やかな育成を目指し、家庭、学校、地域が一体となった取り組みを図るとともに、諸団体が自主的に実施する社会教育の関連行事・事業への参加の奨励、支援を行う。

② 町民一人ひとりが、生涯にわたって自己の啓発・向上をめざし、生きがいのある生活をおくることができるように、学習機会の充実を図るとともに、新しい時代に対応した社会教育諸条件の整備充実に努める。

③ 変動する社会に対応しつつ、地域住民の生活課題や学習要求を把握しながら、生涯

学習の体系的、継続的な学習の支援に努める。

④ 社会教育関係団体の活動の実態把握をしながら連絡提携を密にするとともに、郷土愛に満ちたふるさとづくりを推進する。

⑤ 町民憲章の具体化に向けて、学校・家庭・地域での実践項目を引き続き啓蒙する。

ア 幼児教育

少子化や核家族の増加等により、幼児期からの家庭教育が希薄になっていることから、関係機関と協力して学習機会の充実と支援に努める。

イ 少年教育

こころ豊かで健やかな子どもたちを育成するため、学校や青少年健全育成組織との連携を図り、子ども教室や子ども会活動等を通じて地域社会が一体となった運動を幅広く展開できるよう努める。

ウ 青年教育

郷土を担う青年が社会的役割と責任を自覚し積極的に社会参加できるよう、仲間づくり活動の推進とリーダーの育成に努める。

エ 婦人教育

女性団体連絡協議会を中心とした女性団体が地域に根ざした様々な学習や地域活動ができるよう支援する。

オ 成人教育

地域における学習活動は、社会的立場からも必要且つ重要であり、心にゆとりと豊かさをもつために、学習ニーズや社会的課題に応じた学習機会の充実と努める。また、近年、青少年の突発的行動が社会問題になっていることから、その根幹をなす家庭教育のあり方について、PTAなどの諸団体との連携を図りながら啓発していくことに努める。

カ 高齢者教育

高齢者が年々増加していく中で、高齢者自身が仲間づくりを通じて生きがいと社会参加を積極的に行う活動を支援するため、ニーズに応じた体験的、継続的学習の支援充実と努める。

キ ボランティア活動の支援

ボランティア活動の一層の支援・推進を図るため、関係機関並びに団体との連携を強化し、事業の充実を図る。

ク 学校開放の推進

生涯学習推進の拠点として、大間中学校・奥戸中学校の特別教室、体育館等の活用を図る。また、小学校も可能な限り、生涯学習の場としての役割を果たすように努める。

ケ 放課後子ども教室の推進

地域の子どもたちが安全・安心して活動できる居場所（活動拠点）を設け、様々な体験活動の機会を提供する。

コ 家庭教育支援事業の創設の推進

家庭教育や子育てに関する情報提供や相談対応ができるような体制づくりの創設に努める

⑥ 平成28年9月9日に認定された「下北ジオパーク」に関し、今後の発展及び国際的に認知される地域とするため、地域住民と共に価値ある地域資源を保護・研究し、教育や観光資源として活用することに努める。

(3) 事業

重点施策として次の事業を行う。

- ・成人式
- ・子ども会育成事業
- ・青少年健全育成会議支援事業
- ・女性団体研修会

- ・広域町村ネットワーク
(大間、風間浦、佐井)
- ・「放課後子どもプラン」
～放課後子ども教室推進事業
- ・函館市戸井地区交流事業
- ・学校と地域の協働による教育活動の推進
- ・家庭教育支援事業（事業創設研修・講座開設）

3. 大間町社会体育の方針と重点

(1) 方針

地域住民一人ひとりが生涯にわたり、ライフスタイルや生活環境に応じたスポーツ・レクリエーションに親しみ、心身ともに、健康で活力のある生活を営むことのできるよう、その振興と環境づくりに努める。

(2) 重点

- ① 生涯スポーツの底辺拡大と町民の体力づくりの一環として、各種スポーツの実施に向けた環境整備を図る。
- ② 体育協会を中心とした各スポーツ団体、スポーツ少年団活動への実施に向けた環境整備を図る。
- ③ 町民体育館、ウイング等体育施設におけるスポーツ・レクリエーション等の施設利用促進に努める。

(3) 事業

重点施策として次の事業を行う。

- ・市町村対抗県民体育大会参加
- ・県民駅伝競走大会参加
- ・放課後子ども教室（スポーツ：フットサル）
- ・はまなす駅伝大会
- ・少年剣道大会
- ・少年柔道大会
- ・北通り少年野球大会（体協主催）
- ・ドッジボール大会（体協主催）
- ・スポーツ教室
- ・体育協会、スポーツ少年団等体育団体の育成、支援並びに助成
- ・町民体育館の活用
- ・学校体育施設開放事業
- ・ユニバーサルホッケー大会（子ども会主催）
- ・むつ市下北地区地域スポーツフェスティバル

4. 大間町文化の方針と重点

(1) 方針

芸術文化の振興と文化財保護のための諸条件の整備充実を図り、文化の担い手である地域住民の積極的な参加を推進することにより、個性豊かな文化活動の充実を図る。

(2) 重点

① 文化の振興と充実

公民館、北通り総合文化センター「ウイング」、文化協会等の関係機関、団体との

連携を密にし、個性豊かな文化活動の充実を図るため、芸術文化団体への助成、支援を行う。

② 文化財の保護保存並びに天然記念物（ニホンザル）保護管理対策

文化財審議委員との合同調査研究の下に、町内に所在する文化財の発掘及び伝統文化の継承及び保存の支援を行う。また、関係機関の協力のもと、天然記念物（ニホンザル）の保護管理対策を講ずる。

③ 読書活動の推進

町民一人ひとりが自主的な読書活動を行うことができる環境整備を図るとともに、子どもが読書に親しむ機会を提供する。

ア 家庭教育に関する学習機会や地域子ども教室等を通じて、読書活動を啓発する。

イ 読書グループやサークル等に情報を提供し、活動及び研修等の支援に努める。

ウ 子どもの読書環境を整備するため「大間町子ども読書活動推進計画」の策定に努める。

(3) 事業

重点施策として次の事業を行う。

- ・文化事業（町民文化祭、町音楽祭並びに函館市戸井地区との文化交流）
- ・読書活動の推進
- ・文化財保護調査並びに天然記念物（ニホンザル）保護管理対策
- ・歴史関連及び稀少動物調査活動
- ・子ども会郷土芸能発表会参加
- ・郷土芸能、伝統文化の継承、保存
- ・ジョイントコンサート
- ・書き初め席書大会

施策別重点項目一覧

推 進 施 策	重 点 項 目 (課 題 項 目)	備考
I 教育委員会 (1) 組織及び事業	① 組織 ② 教育委員会会議の開催 ③ 教育委員による学校訪問の実施 ④ 教育委員研修会 ⑤ 平成29年度予算及び施設整備・備品・就学援助・奨学金	
II 学校教育の充実 (1) 組織及び事業	① 大間町教育推進協議会(校長会) ② 大間町教頭会 ③ 大間町教務主任会 ④ 大間町学校事務会 ⑤ 大間町学校保健会 ⑥ 大間町就学指導委員会事業 ⑦ 大間町学力向上研究会 ⑧ 大間町臨時職員任用 ⑨ 外国語指導助手の任用 ⑩ 大間町きめ細かな子育て支援事業 ⑪ 大間町小・中学生海外派遣事業 ⑫ 大間町教育ネットワーク事業 ⑬ 大間町奨学金貸付事業 ⑭ 奥戸地域学校教育の検討	
III 社会教育の充実 (1) 組織及び事業	① 社会教育委員会に関すること。 ② 文化財審議委員会に関すること ③ 公民館運営審議委員会に関すること ④ スポーツ推進委員会に関すること ⑤ 少年活動育成会活動に関すること ⑥ 青年教育に関すること ⑦ 勤労青少年ホーム運営委員会に関すること ⑧ 女性団体に関すること ⑨ 老人関係に関すること ⑩ 芸術・文化関係事業に関すること ⑪ 郷土芸能、伝統文化の継承・保存に関すること ⑫ 体育・スポーツ団体に関すること	
IV その他、全体に関する こと	① 教育委員会行事について	

I 教育委員会

① (1) 組織

教育長	き とう けい いち	佐藤桂一	(平成28年10月17日から平成31年10月16日まで)
教育長職務代理者	たか まつ だい すけ	髙松大助	(平成27年10月17日から平成30年9月30日まで)
教育委員	みや の なる あつ	宮野成厚	(平成28年10月17日から平成32年9月30日まで)
〃	き とう えみ こ	佐藤恵美子	(平成29年9月19日から平成33年9月30日まで)
〃	こ むかい ひで のり	小向英徳	(平成27年10月17日から平成31年9月30日まで)

(2) 事業

- ① 教育委員会会議(年間13回(定例12、臨時1))
- ② 教育委員による学校訪問
- ③ 教育委員会委員研修会
- ④ 臨時講師・臨時用務員採用・配置(学校教育の充実にて記載)
- ⑤ その他

(3) 事務局

教育課	課長	ほそ かわ だい ひろ	細川大広	(平成24年 4月 1日 ~)
	課長補佐	むら かわ けん じ	村川研二	(平成29年 4月 1日 ~)
	主幹	あさ み ほう	浅見法	(平成27年 4月 1日 ~)
	主幹	い とう みつ ほう	伊藤満治	(平成29年 8月 1日 ~)
	主幹	いし と しゅう いち	石戸秀一	(平成25年 4月 1日 ~)
	主査	ほそ かわ とう こ	細川葉子	(平成28年 4月 1日 ~)
	主事	い とう こう ほう	伊藤耕陽	(平成28年 4月 1日 ~)
	主事	にい た ほう と	新田隼人	(平成29年 4月 1日 ~)
	臨時事務員	い とう とも こ	伊藤友子	(平成29年4月1日 ~ 6ヶ月期限付き任用)
	臨時事務員	いし だ あきら	藤枝誠	(平成29年4月1日 ~ 6ヶ月期限付き任用)

事務分担については、別添参照

平成29年度 大間町教育委員会 教育課(総務係・社会教育係)事務分掌

【H29. 4. 1】

区分	事務内容	主担当	副担当
総括	総務係全般に関すること。	細川 課長	村川課長補佐
教育委員会	総合教育会議に関すること	細川 課長	村川課長補佐
	教育委員会の会議及び報酬・費用弁償に関すること。	細川 課長	村川課長補佐
	儀式、交際及び渉外に関すること。	細川 課長	村川課長補佐
	公印の制定及び管守並びに公文書に関すること。	細川 課長	村川課長補佐
	規則、規程その他公文書の審査並びに規則、その他規程の制定又は改廃及び公表に関すること。	細川 課長 細川 課長	村川課長補佐 村川課長補佐
	予算その他の議会の議決を経るべき審議に対する意見の申し出に関すること。	細川 課長	村川課長補佐
	工事計画の策定及び教育財産の取得の申し出、管理に関すること。	細川 課長	村川課長補佐
	職員(県費負担教職員を除く)の定数、任免、給与の決定、分限、懲戒、公務災害の認定、服務その他人事、研修、福利及び厚生に関すること。	細川 課長	村川課長補佐
	委員会に対する請願及び陳情に関すること。	細川 課長	村川課長補佐
	教育委員会採用人事関係事務手続きに関すること。	細川 課長	村川課長補佐
	学校設置、管理及び廃止に関すること。	細川 課長	村川課長補佐
	教育財産の管理に関すること	細川 課長	村川課長補佐
	教育委員会関係各種表彰に関すること	細川 課長	村川課長補佐
	県教育委員会及び他市町村及び事務局内の連絡調整に関すること	細川 課長	村川課長補佐
	県費負担教職員の服務、分限、懲戒に関すること。	細川 課長	村川課長補佐
	県費負担教職員の内申事務及び町臨時講師の採用事務に関すること。	細川 課長	村川課長補佐
	学務関係	学力向上推進委員会に関すること。	村川課長補佐
大間町学校教育改革計画に関すること。		細川 課長	村川課長補佐
就学区域の設定及び変更に関すること		細川 課長	村川課長補佐
学区外・区域外就学及び児童生徒の異動に関すること。		石戸係長	伊藤主事
学校の組織編制及び学級編成に関すること。		石戸係長	細川 課長
就学通知及び学齢簿作成に関すること。		石戸係長	伊藤主事
児童生徒の就学指導委員会に関すること。		石戸係長	伊藤主事
要・準要保護認定及び就学援助費に関すること。		石戸係長	伊藤主事
新入学児童知能検査及び健康診断に関すること。		伊藤主事	石戸主幹
各校児童生徒の各種健診及び教職員の健康診査に関すること		伊藤主事	石戸主幹
幼稚園入園及び異動に関すること。		新田主事	石戸主幹
こども発達相談連絡協議会に関すること。		細川主査	新田主事
大間町きめ細かな子育て支援事業に関すること。		石戸主幹	新田主事
児童生徒の問題行動等に係るネットワーク会議に関すること。		村川課長補佐	細川主査
大間町要保護児童対策地域協議会実務者会議に関すること		細川 課長	村川課長補佐
教育委員会の事務の評価点検に関すること		村川課長補佐	浅見主幹
教育委員会臨時職員採用に関すること		村川課長補佐	細川 課長
学校施設の施設保全及び整備(工事・修繕・改修等)に関すること。		村川課長補佐	新田主事
教職員住宅に係る整備・事務手続き等に関すること。		新田主事	村川課長補佐

	学校施設に係る機器の導入等に関する事。	村川課長補佐	新田主事
	学校施設に係る維持管理委託業務等に関する事。	伊藤主事	村川課長補佐
	学校施設台帳に関する事	村川課長補佐	細川 課長
	教科用図書に関する事。	伊藤主事	石戸主幹
	校長会に関する事。	細川 課長	村川課長補佐
	教頭会に関する事。	村川課長補佐	浅見主幹
	教務主任会に関する事。	石戸主幹	細川主査
	学校事務会に関する事。	新田主事	伊藤主事
	大間町教育三者懇談会に関する事	村川課長補佐	石戸主幹
	教職員交流会に関する事	村川課長補佐	新田主事
	学校保健会に関する事。(検診日程・契約調整及び食育実践事業等)	細川主査	伊藤主事
	学校承認事務関係(授業日変更・出張、有休休暇)に関する事。	細川主査	新田主事
	小中学校に係る公用車輛(中型バス等)使用調整に関する事。	村川課長補佐	新田主事
	青少年海外派遣事業等、国際交流に関する事。	石戸主幹	細川主査
	教育課程に係る関係書類の取扱いに関する事。	新田主事	石戸主幹
	県 学校施設課からの調査等に関する事	村川課長補佐	石戸主幹
	県 教職員課・職員福利課からの調査等に関する事	石戸主幹	伊藤主事
	県 学校教育課からの調査等に関する事	石戸主幹	伊藤主事
	県 スポーツ健康課からの調査等に関する事	伊藤主事	浅見主幹
	下北教育事務所からの調査・通知文書に関する事。	石戸主幹	細川主査
	学校教員統計調査に関する事。	石戸主幹	新田主事
	日本スポーツ振興センター請求に関する事。	新田主事	伊藤主事
奨学金関係	奨学生選考委員会に関する事。	伊藤主事	石戸主幹
	奨学金に係る事務全般に関する事。	伊藤主事	石戸主幹
	奨学金督促業務に関する事。	伊藤主事	全職員
予算関係	教育費及び学校予算編成及び執行に関する事	石戸主幹	村川課長補佐
	臨時講師・臨時用務員の賃金支払に関する事。	新田主事	石戸主幹
	教育委員の報酬・費用弁償に関する事。	伊藤主事	石戸主幹
	支出負担行為に関する事。	新田主事	石戸主幹
	町補助金及び負担金に関する事。	新田主事	石戸主幹
	地方教育費調査に関する事。	浅見主幹	石戸主幹
補助金関係	電源立地地域対策交付金に関する事(工事)及び再生可能エネルギー等導入事業に関する事。	村川課長補佐	細川 課長
	電源立地地域対策交付金に関する事。(維持運営費「幼稚園を除く」)	伊藤主事	石戸主幹
	学校給食用牛乳供給事業に関する事。	伊藤主事	石戸主幹
	へき地児童生徒援助費補助金に関する事。	石戸主幹	新田主事
	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金に関する事。	石戸主幹	新田主事
	幼稚園就園奨励費補助金に関する事。	石戸主幹	新田主事

【H29. 4. 1】

区分	事務内容	主担当	副担当
全 般	社会教育全般に関すること	細川 課長	浅見主幹
社会教育関係	社会教育委員に関すること	浅見主幹	村川課長補佐
	下北地区社会教育担当者協議会に関すること	浅見主幹	村川課長補佐
	生涯学習・講座等町づくりに関すること	細川主査	伊藤主事
	家庭教育支援事業に関すること	細川主査	浅見主幹
	社会教育関係団体の指導育成に関すること		
	・青森県青少年健全育成会議に関すること	村川課長補佐	細川主査
	・大間町青少年健全育成会議に関すること	村川課長補佐	細川主査
	・女性教育・女性団体の育成指導に関すること	村川課長補佐	細川主査
	・青年教育・青年団体の育成指導に関すること	村川課長補佐	細川主査
	・少年教育・少年団体の育成指導に関すること	村川課長補佐	細川主査
	・PTA団体等の育成指導に関すること	浅見主幹	細川主査
	・「放課後子どもプラン」に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	文化財審議委員に関すること	新田主事	浅見主幹
	文化財保護及び県史・町史に関すること	新田主事	浅見主幹
	天然記念物(サル、カモシカ等)保護・被害対策に関すること	新田主事	浅見主幹
	下北ジオパークに関すること	村川課長補佐	浅見主幹
	成人式に関すること	伊藤主事	細川主査
	共済レクに関すること	新田主事	伊藤主事
	青少年赤十字に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	社会教育関係施設の維持管理に関すること	浅見主幹	伊藤主事
その他社会教育に関すること	浅見主幹	村川課長補佐	
公民館関係	公民館運営審議委員に関すること	村川課長補佐	細川 課長
	公民館の維持管理(利用許可含む)に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	大間町奥戸交流館(利用許可含む)に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	公民館車輛管理に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	芸術、文化、芸術文化団体育成指導に関すること	細川主査	浅見主幹
	下北美術展に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	音楽祭・ジョイントコンサートに関すること	村川課長補佐	細川主査
	文化祭に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	書初め席書大会に関すること	新田主事	石戸主幹
	図書・図書室に関すること(子ども読書推進計画含む)	伊藤主事	浅見主幹
	子ども会育成連絡協議会に関すること	伊藤主事	新田主事
	(ユニホッケー・ドッジボール・芸能発表会)		
社会体育関係	社会体育事業の企画立案に関すること	浅見主幹	伊藤主事
	体育施設協会に関すること	浅見主幹	伊藤主事
	大間町体育協会に関すること	浅見主幹	伊藤主事
	スポーツ少年団育成指導に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	町内スポーツ団体育成指導に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	スポーツ推進委員に関すること	浅見主幹	伊藤主事
	生涯スポーツ推進事業に関すること	浅見主幹	伊藤主事
	スポーツ教室に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	町民体育館維持管理(利用許可含む)に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	障害者スポーツに関すること	伊藤主事	浅見主幹

	市町村対抗青森県民体育大会に関する事	新田主事	浅見主幹
	市町村対抗青森県民駅伝競走大会に関する事(実行委員会含む)	石戸主幹	新田主事
	はまなす駅伝に関する事	浅見主幹	伊藤主事
	少年柔道大会に関する事	石戸主幹	新田主事
	少年剣道大会に関する事	浅見主幹	伊藤主事
	旧戸井町との交流事業(文化祭等)に関する事	伊藤主事	村川課長補佐
勤労青少年ホーム関係	勤労青少年ホーム運営方針について	細川 課長	浅見主幹
	勤労青少年ホーム運営委員に関する事	伊藤主事	浅見主幹
	勤労青少年ホームの維持管理に関する事	伊藤主事	浅見主幹
予算関係	社会教育関係予算(編成・執行)に関する事	浅見主幹	伊藤主事
	支出負担行為に関する事	伊藤主事	浅見主幹
	各種団体補助金に関する事	伊藤主事	浅見主幹
	社会教育委員等の報酬・費用弁償に関する事。	伊藤主事	浅見主幹

② 教育委員会会議の開催

会議名称	開催日時	開催場所	内 容
4 月 定例会	4 月 27 日 (木) 午後3時～ 出席者 高松職務代理者 宮野委員 佐藤(恵)委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長 村川課長補佐	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 教育課職員の事務分掌について ② 5月及び年間行事予定について ③ 教育委員会採用臨時職員(臨時講師)の任用について 2 議案 ① 社会教育委員の委嘱について ② 平成29年度事業計画について ・ 学校教育について ・ 社会教育関係について ③ 平成29年度要保護・準要保護世帯の認定について 3 その他 ① 教育委員会事務職員の育児休業申請について ② 奥戸地域学校教育について
5 月 定例会	5 月 29 日 (月) 午後3時～ 出席者 高松職務代理者 宮野委員 佐藤(恵)委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長 村川課長補佐	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 6月及び年間行事予定について ② 各校春季大会等の結果について ③ 社会教育委員等の委嘱について 2 議案 ① 6月補正予算について ② 奨学生の決定について ③ 要保護・準要保護世帯の認定について 3 その他 外国語指導員の採用について
6 月 定例会	6 月 29 日 (木) 午後3時～ 出席者 高松職務代理者 宮野委員 佐藤(恵)委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長 村川課長補佐	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 7月行事予定について ② 大間町議会6月定例会について ③ 下北地方中体連夏季大会について 2 議案 ① 外国語指導助手の任用について ② 教育委員会による学校訪問について 3 その他 ① 平成29年度大間町総合教育会議の開催について ② 小中学生を対象とした大間病院見学会開催について

会議名称	開催日時	開催場所	内 容
7月 定例会	7月 28日(金) 午後1時30分～ 出席者 高松職務代理者 宮野委員 佐藤(恵)委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 8月行事予定について ② 県中体連結果について ③ 成人式について ④ 市町村対抗青森県民体育大会について ⑤ 青森県民駅伝競走大会について 2 議案 ① 平成29年度大間町総合教育会議について 3 その他 ① 教育委員会職員の病気休暇について
8月 定例会	8月 24日(木) 午後2時55分～ 出席者 高松職務代理者 宮野委員 佐藤(恵)委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 9月行事予定について ② 中体連東北大会結果について ③ 市町村対抗青森県民体育大会結果について ④ 第3回議会定例会提出議案について ⑤ 教育委員による学校訪問について ⑥ 教育委員会職員の病気休暇について 2 議案 ① 平成29年度教育委員及び事務局研修会の日程調整について 3 その他 なし
9月 定例会	9月 19日(火) 午後4時～ 出席者 高松職務代理者 宮野委員 佐藤(恵)委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 10月行事予定について ② 第3回議会定例会一般質問について ③ 青森県民駅伝大会結果について ④ 中体連秋季大会結果について ⑤ 2017東奥日報杯北通り小学校野球大会について ⑥ 第32回はまなす駅伝大会について ⑦ 第42回町民文化祭及び第39回大間町音楽祭について 2 議案 ① 臨時講師の更新について ② 大間町教育委員会会議規則の一部改正について 3 その他 ①北朝鮮による弾道ミサイル対応について

会議名称	開催日時	開催場所	内 容
10月 定例会	10月 30日 (月) 午後3時～ 出席者 高松職務代理者 宮野委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 11月行事予定について ② 中体連新人戦及び県下少年剣道大会結果について ③ 郡教育委員連絡協議会研修会について ④ 教育委員会職員の病気休暇について 2 議案 ① 奥戸地域教育問題に係る協議 3 その他 なし
11月 定例会	11月 28日 (火) 午後3時30分～ 出席者 高松職務代理者 宮野委員 佐藤(恵)委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 12月行事予定について ② 第32回大間町少年柔道大会について ③ 病気休暇職員の対応について 2 議案 ① 12月定例議会補正予算について ② 要保護・準要保護世帯の認定について 3 その他 なし
12月 定例会	12月 28日 (木) 午後1時30分～ 出席者 高松職務代理者 佐藤(恵)委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 1月行事予定について ② 第32回大間町少年柔道大会について ③ 第46回書初め席書大会について ④ 第54回大間町少年剣道大会について ⑤ 病気休暇職員の対応について ⑥ 第2回議会臨時会の報告について 2 議案 ① 要保護・準要保護世帯の認定について ② 奥戸地域教育問題検討について 3 その他 なし

会議名称	開催日時	開催場所	内 容
1 月 定例会	1 月 26 日 (金) 午後3時～ 出席者 高松職務代理者 佐藤(恵)委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 2月行事予定について ② 第46回書初め席書大会結果について ③ 第54回大間町少年剣道大会結果について ④ 平成30年度大間幼稚園入園希望者応募状況について 2 議案 なし 3 その他 ① 児童生徒の虫歯予防について ② 奥戸中学校立志式について ③ 臨時職員採用試験について ④ 奥戸地域の教育問題に関する懇談会について ⑤ 薬研事故現場供養木碑の対応について ⑥ 教員の多忙化について
2 月 定例会	2 月 26 日 (月) 午後3時～ 出席者 高松職務代理者 宮野委員 佐藤(恵)委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長 村川課長補佐	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 3月行事予定について ② 第36回青少年健全育成推進大会について ③ 平成30年度就学児童の状況について 2 議案 ① 平成29年度3月補正予算(案)について ② 平成30年度当初予算(案)について ③ 臨時職員選考に係る臨時教育委員会の開催について 3 その他 ① 小・中学校卒業式出席について
3 月 臨時会 (第1回目)	3 月 4 日 (日) 午前11時30分～ 出席者 高松職務代理者 宮野委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長 浅見主幹	教育委員会 (教育長室)	1 議案 ① 大間町教育委員会関係臨時職員採用者の承認について

会議名称	開催日時	開催場所	内 容
3月 定例会	3月 20日 (火) 午後4時～ 出席者 高松職務代理者 宮野委員 佐藤(恵)委員 小向委員 佐藤教育長 細川教育課長	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 4月行事予定について ② 管内教職員の異動について 2 議案 ① 教育委員会採用臨時職員の配置について ② 管内小中学校及び幼稚園入学式の出席について ③ 大間町就学指導委員会の設置に関する規則の 廃止及び新設について 大間町就学指導委員会規程の改正について 3 その他 なし

【成果】

大間町教育委員会会議については、計画的に毎月開催することができ、教育委員会委員全体で大間町の教育施策をはじめ、教育制度改正、学校現場の児童生徒の現状等の情報を共有することに努めた。

更には、教育委員及び事務局での学校訪問を実施し、直に教育現場を視察を行うことで、より現実的に現状を認識して、大間町の児童生徒の教育環境整備及び学力向上への取り組みへ寄与することができた。

【課題】

会議の日程調整をうまく行っていきたい。

③ 教育委員による学校訪問

1) 大間小学校

訪問日 平成 29 年 9 月 19 日 (火)

時間 午前 9 時 10 分 ～

訪問者 佐藤教育長 高松職務代理者 宮野委員 佐藤委員 小向委員
細川教育課長 伊藤主幹

- ・ 授業風景や学校施設を視察
 - ・ 説明を受けた主な内容
 - ① 学校経営方針概要について
 - ② 学校経営方針の具体化について
 - ③ 学力向上に対するの取組みについて
 - ④ 基本的な生活習慣を育てるための取組みについて
 - ⑤ その他(いじめ及び体罰等)の現状及び予防等の取組みについて
- 以上について説明を受けてから質疑応答を行った。

大間中学校

2) 訪問日 平成 29 年 9 月 19 日 (火)

時間 午前 10 時 20 分 ～

訪問者 佐藤教育長 高松職務代理者 宮野委員 佐藤委員 小向委員
細川教育課長 伊藤主幹

- ・ 授業風景や学校施設を視察
 - ・ 説明を受けた主な内容
 - ① 学校経営方針概要について
 - ② 学校経営方針の具体化について
 - ③ 学力向上に対するの取組みについて
 - ④ 基本的な生活習慣を育てるための取組みについて
 - ⑤ その他(いじめ及び体罰等)の現状及び予防等の取組みについて
- 以上について説明を受けてから質疑応答を行った。

奥戸中学校

訪問日 平成 29 年 9 月 19 日 (火)

3) 時間 午後 2 時 40 分 ～

訪問者 佐藤教育長 高松職務代理者 宮野委員 佐藤委員 小向委員
細川教育課長 伊藤主幹

- ・ 授業風景や学校施設を視察
 - ・ 説明を受けた主な内容
 - ① 学校経営方針概要について
 - ② 学校経営方針の具体化について
 - ③ 学力向上に対するの取組みについて
 - ④ 基本的な生活習慣を育てるための取組みについて
 - ⑤ その他(いじめ及び体罰等)の現状及び予防等の取組みについて
- 以上について説明を受けてから質疑応答を行った。

4) 奥戸小学校

訪問日 平成 29 年 9 月 19 日 (火)

時間 午後 1 時 30 分 ~

訪問者 佐藤教育長 高松職務代理者 宮野委員 佐藤委員 小向委員
細川教育課長 伊藤主幹

- ・ 授業風景や学校施設を視察
 - ・ 説明を受けた主な内容
 - ① 学校経営方針概要について
 - ② 学校経営方針の具体化について
 - ③ 学力向上に対しての取組みについて
 - ④ 基本的な生活習慣を育てるための取組みについて
 - ⑤ その他(いじめ及び体罰等)の現状及び予防等の取組みについて
- 以上について説明を受けてから質疑応答を行った。

5) 大間幼稚園

訪問日 平成 29 年 9 月 19 日 (火)

時間 午前 11 時 30 分 ~

訪問者 佐藤教育長 高松職務代理者 宮野委員 佐藤委員 小向委員
細川教育課長 伊藤主幹

- ・ 授業風景や学校施設を視察
 - ・ 説明を受けた主な内容
 - ① 学校経営方針概要について
 - ② 学校経営方針の具体化について
 - ③ 学力向上に対しての取組みについて
 - ④ 基本的な生活習慣を育てるための取組みについて
 - ⑤ その他(いじめ及び体罰等)の現状及び予防等の取組みについて
- 以上について説明を受けてから質疑応答を行った。

④ 教育委員研修会

平成29年度 下北市町村教育委員会連絡協議会 教育委員・事務局員研修会

期日 平成 29 年 11 月 6 日 (月)

時間 午前 10 時 40 分 ~ 午後 15 時 15 分

日程 視察①:尻屋崎視察
視察②:尻労そがま視察
視察③:尻労浜(猿ヶ森砂丘)視察
視察④:石持漁港(北部海岸)視察
視察⑤:野牛川レストハウス(展示物視察)

参加者 佐藤教育長 高松職務代理者 佐藤委員 小向委員 浅見主幹

趣旨 平成28年9月9日に誕生した「下北ジオパーク」の理解を図り、
学校教育におけるジオパーク普及活動の推進に資することを
目的とする。

⑤ 平成29年度予算及び施設整備・備品・就学援助・奨学金

① 予算の概要

(単位：千円)

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
町予算総額	4,388,942	100.0%	4,294,782	100.0%	94,160	2.2%
教育課関係予算	306,078	7.0%	233,436	5.4%	72,642	31.1%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
教育総務費	58,784	100.0%	49,675	100.0%	9,109	18.3%
教育委員費	804	1.4%	820	1.7%	△ 16	-2.0%
事務局費	57,980	98.6%	48,855	98.3%	9,125	18.7%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
小学校費	71,783	100.0%	44,311	100.0%	27,472	62.0%
学校管理費	68,386	95.3%	41,085	92.7%	27,301	66.5%
教育振興費	3,397	4.7%	3,226	7.3%	171	5.3%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
中学校費	90,190	100.0%	52,419	100.0%	37,771	72.1%
学校管理費	85,700	95.0%	45,192	86.2%	40,508	89.6%
教育振興費	4,490	5.0%	7,227	13.8%	△ 2,737	-37.9%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
幼稚園費	46,526		49,915		△ 3,389	
幼稚園費	46,526	100.0%	46,725	100.0%	△ 199	△13.2%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
社会教育費	28,204	100.0%	26,713	100.0%	1,491	5.6%
社会教育総務費	20,736	73.5%	19,664	73.6%	1,072	△0.9%
公民館費	7,468	26.5%	7,049	26.4%	419	5.9%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
保健体育費	6,782		6,184		598	
保健体育総務費	6,782	100.0%	6,184	100.0%	598	9.7%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
勤労青少年ホーム費	3,809		4,219		△ 410	
勤労青少年ホーム費	3,809	100.0%	4,219	100.0%	△ 410	△30.0%

② 施設整備事業（工事）

• 勤労青少年ホーム地下タンク設置工事	1,321,920 円
• 勤労青少年ホーム地下タンク埋設工事	138,780 円
• 奥戸小学校オイルタンク改修工事	2,501,280 円
• 奥戸中学校体育館屋根及び外壁改修工事	39,002,040 円
• 奥戸交流館塗装工事	1,020,222 円
• 町民体育館雨樋取付工事	49,356 円
• 町民体育館階段等補修工事	540,000 円
• 町民体育館軒天塗装工事	469,800 円

合計 45,043,398 円

施設整備事業（設計・工事監理業務委託）

• 奥戸小学校増築及び旧校舎解体工事実施設計委託	21,384,000 円
• 奥戸中学校体育館屋根及び外壁改修工事監理業務委託	1,026,000 円

合計 22,410,000 円

③ 学校備品整備事業

	学校管理用備品	教材用備品
• 小学校	690,140 円	951,708 円
• 中学校	864,191 円	1,032,800 円
• 幼稚園	1,150,740 円	0 円

④ 就学援助等

	学用品費	修学旅行	学校給食費	特殊教育奨励費
• 小学校	363,119 円	107,500 円	200,546 円	106,841 円
• 中学校	343,734 円	926,000 円	110,762 円	328,256 円

⑤ 奨学金貸し付け

	平成29年度	平成28年度
• 高等学校	4 人 (新規1人)	3 人 (新規2人)
• 大学等	11 人 (新規4人)	16 人 (新規3人)
合計	15 人 (新規5人)	19 人 (新規5人)
金額	4,500,000 円	6,210,000 円

II 学校教育の推進

(1) 組織関係

各組織は月に1回定例会議を開き、各学校の行事の確認と調整や児童・生徒の学力や生徒指導等の諸問題についての情報交換を行うとともに、学校教育の共通課題解決の対策等について話し合う。校長会は、組織の中核として組織間の連絡や連携活動ができるように情報を提供する。予算は、校長会がまとめて町から交付を受け各組織へ分配することとなっている。

組 織 名	ね ら い ・ 構 成 員
① 大間町教育 推進協議会(校長会) 【予算 5,000 円】	<ul style="list-style-type: none"> ● 大間町の教育の向上・充実を図る。 ● 幼児・児童・生徒の「基本的生活習慣の確立」「心の教育」「基礎学力の向上と定着」の3点に重点をおく。 構成員 (9人) 幼稚園長、小中学校長4、高校校長、教育長、教育課長、教育課長補佐
② 教頭会 【予算 5,000 円】	<ul style="list-style-type: none"> ● 大間町の教育の向上・充実を図る。 ● 具体的な実践計画、教職員交流会、レクリエーション等、青少年健全育成関係の運営に当たる。 構成員 (6人) 小中学教頭4、高校教頭、教育課長補佐
③ 教務主任会	<ul style="list-style-type: none"> ● 大間町の教育の向上・充実を図る。 ● 授業・行事及び学校生活の充実改善に努める。 構成員 (6人) 小・中・高校の教務主任、教育課主幹
④ 学校事務会	<ul style="list-style-type: none"> ● 大間町の教育の向上・充実を図る。 ● 事務の基本と実務の研修及び業務の円滑な遂行に努める。 構成員 (5人) 小・中学校事務職員、教育課主事
⑤ 学校保健会 【予算 232,300 円】	<ul style="list-style-type: none"> ● 教職員及び父母の学校保健安全意識の高揚を図り、生涯にわたり心身ともに健康な子どもの育成を目指して各行事を行う。 構成員 (35人) 幼・保園代表、小・中学校長・教頭・保健主事・PTA会長・養護教諭 学校医、学校歯科医、学校薬剤師、住民福祉課長、保健師、 教育長、教育課主事

⑥ 大間町就学指導委員会

(趣 旨)

大間町が設置する小学校・中学校に入学する者又はこれらの学校に在学する者のうち障害を有する児童及び生徒の適正な就学を図るため、大間町就学指導委員会の設置等に関し必要な事項を定めるものとしている。

(業 務)

就学指導委員会は、次に掲げる者について、障害に応じた就学ができるよう教育委員会教育長(以下「教育長」という。)に意見を具申します。

(1) 大間町が設置する小学校及び中学校に入学する者又はこれらの学校に在学する者のうち、障害があると認められる者として当該学校の校長から教育長に申出があった者

(2) 前号に掲げる者のほか、教育長が認めた者

(組 織)

委員については、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱しています。

- ・ 医師
- ・ 学識経験を有する者
- ・ 教育委員会職員
- ・ 関係行政機関の職員

(会 議)

会議は、必要に応じて委員長が招集し、前条に定める必要な事項を協議することとしています。

○ 特別支援学級在籍状況

障害種別	知的障害		自閉・情緒障害		聴覚障害		計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
大間小学校	2		2				4	0
奥戸小学校							0	0
大間中学校		1					0	1
奥戸中学校		2	1				1	2
計	2	3	3	0	0	0	5	3

(1) 平成29年度委員会開催状況

日 時 平成29年9月21日(木) 午後2時～午後3時半

場 所 大間町公民館 1階

- 案 件
- 1) 大間町就学指導委員委嘱状交付
 - 2) 平成28年度事業報告について
 - 3) 平成29年度事業計画(案)について
 - 4) その他(情報交換)

日 時 平成29年12月18日(月)

場 所 大間町公民館1階

案 件 1) 調査報告及び審議・判定 大間幼稚園園児1名 うみの子保育園園児1名
2) その他 大間保育園園児1名 判定妥当

(2) 大間町就学指導委員名簿

	氏 名	職 名	所 属	任 期
1	松岡 保史	院 長	大間病院	H29.4.1～H31.3.31
2	湯田 秀樹	教 頭	むつ養護学校	H29.4.1～H31.3.31
3	山口 順子	校 長	大間小学校	H29.4.1～H31.3.31
4	濱田 俊一	校 長	奥戸小学校	H29.4.1～H31.3.31
5	俣田 登	校 長	大間中学校	H29.4.1～H31.3.31
6	飯田 一彦	校 長	奥戸中学校	H29.4.1～H31.3.31
7	吉川 医	教 諭	東通小学校	H29.4.1～H31.3.31
8	太田 恭子	教 諭	大間小学校	H29.4.1～H31.3.31
9	猪口 優野	教 諭	大間中学校	H29.4.1～H31.3.31
10	根戸内 裕之	教 諭	奥戸中学校	H29.4.1～H31.3.31
11	畠山 章	会 長	民生委員児童委員 協議会	H29.4.1～H31.3.31
12	石澤 教子	主任保育士	大間保育園	H29.4.1～H31.3.31
13	御厩敷 義子	総括教諭	大間幼稚園	H29.4.1～H31.3.31
14	千葉 喜勢子	園長	うみのこ保育園	H29.4.1～H31.3.31
15	竹内 はるか	保健師	住民福祉課	H29.4.1～H31.3.31

(3) 専門調査委員名簿

	氏 名	職 名	所 属
1	太田 恭子	教 諭	大間小学校
2	猪口 優野	教 諭	大間中学校
3	根戸内 裕之	教 諭	奥戸中学校
4	御厩敷 義子	総括教諭	大間幼稚園
5	石澤 教子	主任保育士	大間保育園
6	千葉 喜勢子	園長	うみのこ保育園
7	竹内 はるか	保健師	住民福祉課

(4) 専門検査員

1	吉川 医	東通小学校
---	------	-------

⑦ 学力向上研究会

平成3年4月1日に、

- ① 児童生徒に基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。
- ② 楽しくわかる授業づくりのため学習指導技術の向上を図る。
- ③ 家庭学習習慣の確立に努める。

ことを目的に「大間町学力向上推進委員会設置要綱」を制定し、主に学力テストの分析・考察や教育講演会の開催に取り組んできました。しかし、組織が大きすぎ活動もマンネリ化・形骸化したことが原因で活動休止状態が続いたため、平成16年度に小・中学校4校で組織する「大間町学力向上研究会」を立ち上げて事業を再開し現在に至っています。

小中学校4校の共通課題は「学力向上」と捉え、「基礎学力向上部会」と「家庭地域啓発部会」を柱に、小・中学校の連携強化を図りながら、小・中学校9年間を見通した学力向上の方策を模索し、学力向上のための共通行動を推進している。

① 第1部会 基礎学力向上部会 (総事業費 1,079 千円)

- 主な事業
- ㊦ 大間町漢字・計算・英単語大会の実施
 - ① 総合学力調査(4月)の実施
 - ㊧ 総合学力調査(12月)の実施

事業予算

大間小	539,700
奥戸小	100,100
大間中	345,800
奥戸中	93,100
学校計	1,078,700

- 総合学力調査(4月実施)については、小学2年生から中学3年生を対象に実施し、その結果について集計・分析し、個々の事後指導及び授業改善に役立てた。また、2学期には分析を踏まえた小・中学校の連携公開授業を行った。

- 総合学力調査(1月実施)については、小学1年生から中学2年生を対象に実施し、子ども一人ひとりの伸び・目標到達の度合いを明らかにすることの他、4月との比較により、指導の効果を把握できた。

- 町漢字・計算・英単語大会については、基礎学力(読み・書き・計算)の能力を高めることを目的とし、小学校は漢字・計算、中学校は漢字・計算・英単語のテストを行っている。この結果について満点賞と優秀学級賞については「広報おおま」への掲載及び大間町のホームページへ掲載している。

- ※ 県内及び郡内の殆どの小・中学校でベネッセコーポレーションの学力調査を実施していることから、他町村との比較及び当町の児童生徒の現状を把握するため、平成28年度からは、ベネッセコーポレーションの学力検査へ移行した。

② 第2部会 家庭地域啓発部会 (総事業費 91 千円)

主な事業 ㊦ 小・中学校一斉の「家庭学習強化週間」の実施

㊧ 小・中学校共通の「家庭学習のマニュアル」の活用と見直し

小中学校4校の共通課題である「学力向上」については、小・中学校が各々の役割をしっかりと果たすことに加え、小・中学校9年間の発達や学びを確保する小中連携がますます必要となってくる。

また、保護者や地域住民の理解と協力を得て、学びの連続性を確保する教育環境を整えることも求められる。そこで、学習と生活面の両面にわたり9年間を見通した具体的な方策を練り、継続的に指導を行うことを目的に実施するものである。

大間町学力向上研究会

大間町小・中学校4校の共通課題である「学力の向上」のために、小・中学校が連携しながら、課題を解決するための取組を一層推進していきます。

平成29年度は次の取組に力を入れます！

基礎学力向上部会

〈学力検査〉

○学力検査を4月と12月の2回実施します

4月は前の学年で学習した内容の定着状況を
12月は現在の学年で学習した内容の定着状況を
知ることが目的です。診断結果が出たら、一人一人の定着状況に応じた支援シートをもとに復習させ、学力の定着を図ります。



〈漢字・計算・英単語大会〉

○大間町漢字・計算・英単語大会を実施します。(英単語大会は中学校のみ)

各大会における満点賞や学級賞は、「広報おおま」でお知らせします。

家庭地域啓発部会

〈家庭学習の習慣化〉

本研究会では、大間町の児童生徒一人一人に、確かな学力の定着を図るためには、学習意欲の向上と家庭学習習慣を育成することが必要と考え、平成27年度から「家庭学習の手引き」を作成しています。これは、「早寝・早起き・朝ご飯」や「学習の時間を決める」といった生活リズムの見直しや、集中して取り組む家庭学習の習慣づくりが目的です。今年度も、この「学習の手引き」の活用を進め、学校での学習との連携を図った学力の向上を図ります。



学校・家庭・地域が一体となって取り組み

子どもたちの学力を向上させましょう！

大間町学力向上研究会

励ましや応援がエネルギーに!!

望ましい学習習慣の確立のために!

大間町学力向上研究会の「家庭地域啓発部会」では、今年度も学習意欲向上と家庭学習の習慣化に向けて、取組を進めていきます。



大間町「家庭学習強化週間」について
 第1回 平成29年 6月14日(水) ~ 6月28日(水)
 第2回 平成29年11月14日(火) ~ 11月29日(水)

一昨年度から大間町「家庭学習強化週間」を設定し、取り組んでいます。今年度もこの期間内に、各学校で家庭学習の指導に力を入れていきます。第1回目は、6月に実施されました。各学年に見合った家庭学習の時間を奨励するために、家庭学習カード等に取り組んだ時間等を記入し、子どもたちが毎日確認しながら取り組むようにしました。このような取組を通して子どもたちの自発的な学習につなげていきたいと考えています。

大間町「家庭学習の手引き」の活用

望ましい学習習慣の確立のために、昨年度に引き続き「家庭学習の手引き」を作成し、大間町の4校(大間小学校、大間中学校、奥戸小学校、奥戸中学校)に配布しました。子どもたちはもちろん家族が常に目に触れるところに掲示し、声かけをして頂き、毎日の家庭学習に継続して取り組んでほしいと思います。

大間町学力向上研究会 <small>(平成29年度版)</small>		家庭学習の手引き		大間小学校 奥戸小学校 大間中学校 奥戸中学校
まずは、規則正しい生活から		家庭学習のポイント		
<ul style="list-style-type: none"> ● 早起、早起き、朝ご飯(朝食)を。 ● 毎日、家庭学習をする。 ● 次の日の学習用具の準備をする。 ● 帰宅時刻、就寝時刻を守る。 		<ul style="list-style-type: none"> ● まず、宿題をやる。 ● 決まった時間に決まった場所で学習する。 ● <ながら勉強はしない。(テレビ、ゲーム)> ● 終わった後、自分の家庭学習を振り返る。 		
小学校3年生~4年生		小学校5年生~中学校1年生		中学校2年生~3年生
学習時間 《小1, 2年》20分~ 《小3, 4年》30分~		学習時間 《小5, 6年》50分~ 《中1年》1時間30分~		学習時間 《中2年》2時間~ 《中3年》3時間~
学習の進め方		学習の進め方		学習の進め方
<ul style="list-style-type: none"> ○ 宿題(しゅくだい)をていねいにやろう。 ・ひらがなやカタカナ、かん字や計算はくりかえしれんしゅうし、いつもていねいに書こう。 ・きょうか書(とくに国語)がすらすら読めるよう声を出してれんしゅうしよう。 ・わからないところは自分でしらべよう。それでもわからないときは、次の日先生に聞いてたしかめよう。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人勉強を工夫しよう。 ・漢字や計算のドリル、社会や理科で覚えること、英単語(中学生)は、くり返し書いて練習しよう。 ・教科書で読めない言葉、意味のわからない言葉は、必ず自分で調べ、ノートに整理しよう。 ・ノートは自分なりに工夫し、学習したことが見やすく、分かりやすくなるように工夫しよう。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標を決め、計画的に学習しよう。 ・今日の授業のつまずきを振り返ろう。 ・学習したことがどの程度身に付いているか、必ず練習問題で確認しよう。 ・定期テスト、実力テスト前は計画を立て、目標を決めて取り組もう。また、テスト後は必ず復習し、同じ問題に再チャレンジして確実に覚えよう。
保護者の皆様へ <その1>		保護者の皆様へ <その2>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習習慣が身に付くには、生活リズムの確立が重要です。そのために、まず時間を守って生活できるようご協力をお願いします。 ○ スマホや携帯は便利な反面、子どもたちの生活リズムを崩したり、家庭学習の妨げになったりしがちです。通信機器の利用については、おうちの方による適切な管理と指導をお願いします。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ お子さんの家庭学習の様子に関心を持ち、時には励ましの言葉をお願いします。おうちの方の応援がエネルギーになります。 ○ 将来の夢や目標について、家庭で話をする機会を作ってください。そして、その夢や目標に向かって地道な努力を継続できる子(自ら学習に取り組める子)を育てていきましょう。 		

子どもたちに「確かな学力」を身につけさせるためには、「わかる授業」と「家庭学習」とを一つのサイクルととらえた指導を進めていくことが大事です。学校では「わかる・できる」授業づくりに努めると共に、保護者の方々には温かい励ましや応援をいただくと、子どもたちのやる気につながり継続していくエネルギーになります。学校と家庭がさらに連携し、大間町の子どもたちの学力向上に努めていきたいと考えています。

⑧ 大間町臨時職員(臨時講師・臨時用務員・臨時事務員)任用

教育委員会では、平成29年度教育委員会・町立学校・町立幼稚園に期限付き臨時職員を次のとおり採用しています。

- 教育委員会 臨時事務員 2名 採用期限
- 町立学校 臨時講師 5名 上期 平成29年4月1日～平成29年9月30日)
- 臨時用務員 4名 下期 平成29年10月2日～平成30年3月31日)
- 町立幼稚園 臨時教諭 1名 ※ 期限付きのため6ヶ月で更新
- 臨時用務員 1名

採用者一覧

氏名	年齢	配置先	職種	出身地
能戸 修一	30歳	町立大間小学校	臨時講師	大間町
横浜 賢一	49歳	町立大間小学校	臨時用務員	大間町
柏谷 翼	27歳	町立奥戸小学校	臨時講師	大間町
泉 代志子	52歳	町立奥戸小学校	臨時用務員	大間町
八桁 真幸	22歳	町立大間中学校	臨時講師	青森市
寺嶋 直哉	31歳	町立大間中学校	臨時講師	弘前市
堺 祐介	38歳	町立大間中学校	臨時用務員	大間町
蛸子 礼奈	24歳	町立奥戸中学校	臨時講師	大間町
川端 三男	60歳	町立奥戸中学校	臨時用務員	大間町
細川 栄子	53歳	町立大間幼稚園	臨時教諭	大間町
大坂 美穂子	55歳	町立大間幼稚園	臨時用務員	佐井村
伊藤 友子	46歳	教育委員会	臨時事務員	大間町
藤枝 誠	26歳	教育委員会	臨時事務員	大間町

- 採用方法 公募(大間町の臨時職員採用広報・ハローワーク等)
- 採用試験 平成29年 2月26日(日) 実施
- 試験内容 筆記試験 面接試験

※ 臨時講師に係る人件費(賃金)については、県核燃料物質等取扱税交付金にて補填されている。(平成18年度から継続実施している。)

※ 本事業については、次年度以降も継続実施していく予定であります。

【参考資料】

臨時職員に係る費用

	種別	勤務	人数	賃金
小学校費	臨時講師	大間小学校	1	3,078,320
		奥戸小学校	1	2,942,940
		計	2	6,021,260
	臨時用務員	大間小学校	1	1,834,220
		奥戸小学校	1	1,834,220
		計	2	3,668,440
計		4	9,689,700	
中学校費	臨時講師	大間中学校	2	5,426,030
		奥戸中学校	1	2,394,490
		計	3	7,820,520
	臨時用務員	大間中学校	1	1,844,700
		奥戸中学校	1	1,793,220
		計	2	3,637,920
計		5	11,458,440	
幼稚園費	臨時教諭	大間幼稚園	1	2,264,380
	臨時用務員	大間幼稚園	1	1,802,870
	計		2	4,067,250
社会教育総務費	臨時事務員	教育課	2	4,760,975
	計		2	4,760,975
合計			13	29,976,365

※臨時講師に係る人件費（賃金）については、青森県核燃料物質等取扱税交付金を充当している。（平成18年度から継続実施。）

⑨ 外国語指導助手の任用

○ 事業を実施するに至った経緯

学習指導要領の改訂により、小学校においては平成32年度から、中学校においては平成33年度から英語教育が全面実施というスケジュールとなっている。

平成32年度の小学校の英語教育義務化の完全実施に向けて、平成30年度から「外国語活動」が前倒しされ、3・4年生までが必修化される。これらを踏まえ、教育委員会としては「生きた英語に触れ、英語に親しみ、楽しみながら学べる環境を与えるために外国語指導員を配置するものである。

任用者	氏名	Agyekum Jr Paul Atta(アジェクム ジュニア ポール アッタ)
	国籍	米国
	生年月日	1989年(平成元年) 9月22日生まれ 27歳
	在留資格	教育

採用年月日 平成29年8月6日～平成30年3月31日まで

○ 外国語指導助手の職務（大間町外国語指導助手任用規則より）

- ・ 中学校における外国語科等の授業の補助
- ・ 小学校における外国語活動等の補助
- ・ 外国語教材作成の補助
- ・ 外国語科担当教員等に対する現職研修の補助
- ・ 特別活動や部活動等への協力
- ・ 外国語担当指導主事や外国語科担当教員等に対する語学に関する情報の提供
- ・ 外国語スピーチコンテストへの協力
- ・ 地域における国際交流活動への協力
- ・ その他、教育委員会及び学校以外の大間町役場所管業務への協力

○ 給料（大間町外国語指導助手任用規則より）

- ・ 外国語指導助手の給料は月額30万円とする。
平成29年度支払実績 8月～3月(8月) 300,000円×8月＝2,400,000円

⑩ 大間町きめ細かな子育て支援事業

○ 事業を実施するに至った経緯

当時、大間町の学校教育現場では集団の授業についていくことが難しい児童生徒が多く見られ、教員が苦慮していた。それらを踏まえ、就学時健診の際の知能検査を過去6年間調べたところ、通常の授業についていくことが困難であろうと思われる知能段階の児童が対象者340人中に52人(15.29%)もあり、就学後も学習に困難な状況となっていることであった。

このことから、町としては【就学前の幼児期の発達が重要】と考え、いわゆるグレーゾーンの幼児にきめ細やかな対応をして、少しでも改善された状況で就学してもらうために『きめ細かな子育て支援事業』を実施することになりました。

本事業は、次の要綱に基づき平成23年度から継続実施されている事業であります。

大間町きめ細かな子育て支援事業補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 大間町きめ細かな子育て支援事業実施要項に基づき事業を実施する、社会福祉法人大間保育園に対し、当該年度の予算の範囲において、大間町きめ細かな子育て支援事業補助金(以下「補助金」という。)を交付するものとし、その交付については、大間町補助金等に関する規則(昭和52年大間町規則第9号。以下「規則」という。)に定めるもののほか、この要綱に定めるところによる。

(補助対象)

第2条 補助金の対象となる事業項目は、次のとおりとする。

- (1) 家庭内幼児保育の充実に係るもの
- (2) 幼児保育の支援に係るもの
- (3) その他町長が必要と認めるもの

2 前項各号に係る対象経費は、次のとおりとする。

- (1) 講師に係る謝金及び費用弁償
- (2) 臨時保育士に係る人件費
- (3) 保育士の資質向上を図るための研修旅費
- (4) その他町長が必要と認めるもの

(補助金交付申請等)

第3条 補助金交付申請は、規則第4条に定めるところによる。

2 補助金交付請求は、規則第7条第2項に定めるところによる。

(実績報告)

第4条 補助金実績報告は、規則第13条に定めるところにより、事業完了後速やかに報告しなければならない。

(補助金の額の確定等)

第5条 町長は、事業の完了又は廃止に係る事業の成果の報告を受けた場合においては、報告書等の書類の審査により、その報告に係る事業の成果が補助金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合するものであるかどうかを調査し、適合すると認めるときは、交付すべき補助金の額を確定し、事業者に通知するものとする。

(補助金の前金払い)

第6条 地方自治法施行令第163条の規定により、当該補助金は前払いすることができない。ただし、補助金の交付決定を受けたものであって、第2条第2項第2号に規定する対象経費

で、前期分として4月から9月までに係る経費を、後期分として10月から3月までに係る経費を前払いできる。

(補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか補助金の交付に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この訓令は、平成23年4月1日から施行する。

- 平成29年度 事業の主な内容
- (1) TT(チームティーチング→複数の教師が協力して授業を行う指導方法)の配置による対象者へのきめ細かな対応を実施。
 - (2) 保護者と保育士(教諭)が子どもの発達状況を共通認識し、子どもがよりよい成長をするための指導等を行うため、4・5歳児に対しKIDS(乳幼児発達スケール)と発達アンケートを使った発達状態調査を2年連続で行い、その改善状況(伸び)を調べた。
 - (3) 対応する現場の幼稚園教諭や保育士が正しい対応の習得や自己のレベルアップを図るために、KDS研修会等の機会を設けた。
 - (4) 3園合同事業の開催
事業の一環として、3園の園児・保護者・保育士・幼稚園教諭が集い、交流を深めるとともに子育てについて学ぶことを目的に実施した。
開催日時 平成29年11月15日(水) 午前10:00~12:00
開催場所 総合開発センター
開催内容 『親子で遊ぼう、学ぼう』親子運動等
講演会
 - ① 講師 大間病院 副院長 今井 悠 氏
テーマ 『手洗いで感染予防について』
対象 親子対象
 - ② 講師 大間小学校 校長 山口 順子 氏
テーマ 『思いを届ける言葉がけ』
対象 保護者対象

※親子研修会事業実施後、参加者からアンケートをとった。

【評価及び反省】

本事業については、平成24年度に事業の評価を行い、その結果「効果あり」との結果となり継続実施している。就学前に個々の発育状況を確認し、それを踏まえグレーゾーンの対象者の他にも個々にあった育児も展開できることや、保護者にも自分の子どもの状態を確認してもらい良い機会でもある。

就学前に本事業を行うことで、多くの幼児が改善されていることや、効果が現れない幼児についても小学校への情報提供をすることで、就学時から小学校においても「きめ細かな対応をするための対策」が事前に検討できる体制にも繋がっている。

このようなことから、本事業については継続実施すべきと考える。

大間町きめ細かな子育て支援事業（親子研修会） アンケート

下記の質問について該当する項目について○を記入し、その他については、その理由等を記入してください。

○あなたのお住まいの地区

大間地区	奥戸地区	材木地区	その他
34	4		

○あなたの性別

男	4	女	34
---	---	---	----

○あなたの年齢

20代	30代	40代	50代	60代以上
8	23	5	1	0

記載なし1名

1、今回の講座内容について

① 有意義であり今後の子育てに役立つと思う	34
② まあまあであった	4
③ 全く参考にならない	0
④ その他	0

意見等をお書き下さい

・こういうテーマなら乳児検診でもやってほしい。 ・「言葉」の使い方、意識して気をつけていきたいです。
 ・理解はしているが実行が難しいことが多い。 ・日常の中で言葉の大切さより自分の感情を優先させていたため、今後は今日のことを思い出して、一息ついてから話せるようにしたいです。

2、今回の講師について

① 聞きやすく理解できた	36
② まあまあであった	2
③ 聞きずらく理解できなかった	0
④ その他	0

意見等をお書き下さい

・話は分かりやすくて良かった。もっと時間をかけてもいいと思います。

記載なし1名

3、3園合同親子研修会について

① 交流が持ててよい	33
② 別な形で継続する	1
③ 必要ない	3
④ その他	1

意見等をお書き下さい

・もっと3園が混ざっても良かったかなと思う。 ・子どもが楽しそうだった。 ・分からない。

記載なし2名

4、あなたが思う「子育て」についてお聞かせ下さい。

また、今後このような講座を開催する際に「どのようなテーマ」を希望しますか？

・ゲームの影響について。 ・年齢が上がってからの親子のスキンシップ。 ・思っているようにはうまくいかない時の対応など。 ・しかり方は、もっと早く子どもが生まれてからすぐ聞いたかった。 ・山口校長の言った「これからの子どもに自分で判断し、生きていく力をつけなければならない」という話に、私も改めて思い知らされ日々、コツコツ子育てを頑張りたいです。 ・親子でスキンシップできる。お家あそびやお外あそびを知りたい。 ・自己肯定感を育むためには。子どもにわかりやすい態度で関わっていきたい。 ・今回のような具体的なことが分かるのがよい。

5、大間町の教育に対する要望等あれば記入してください。

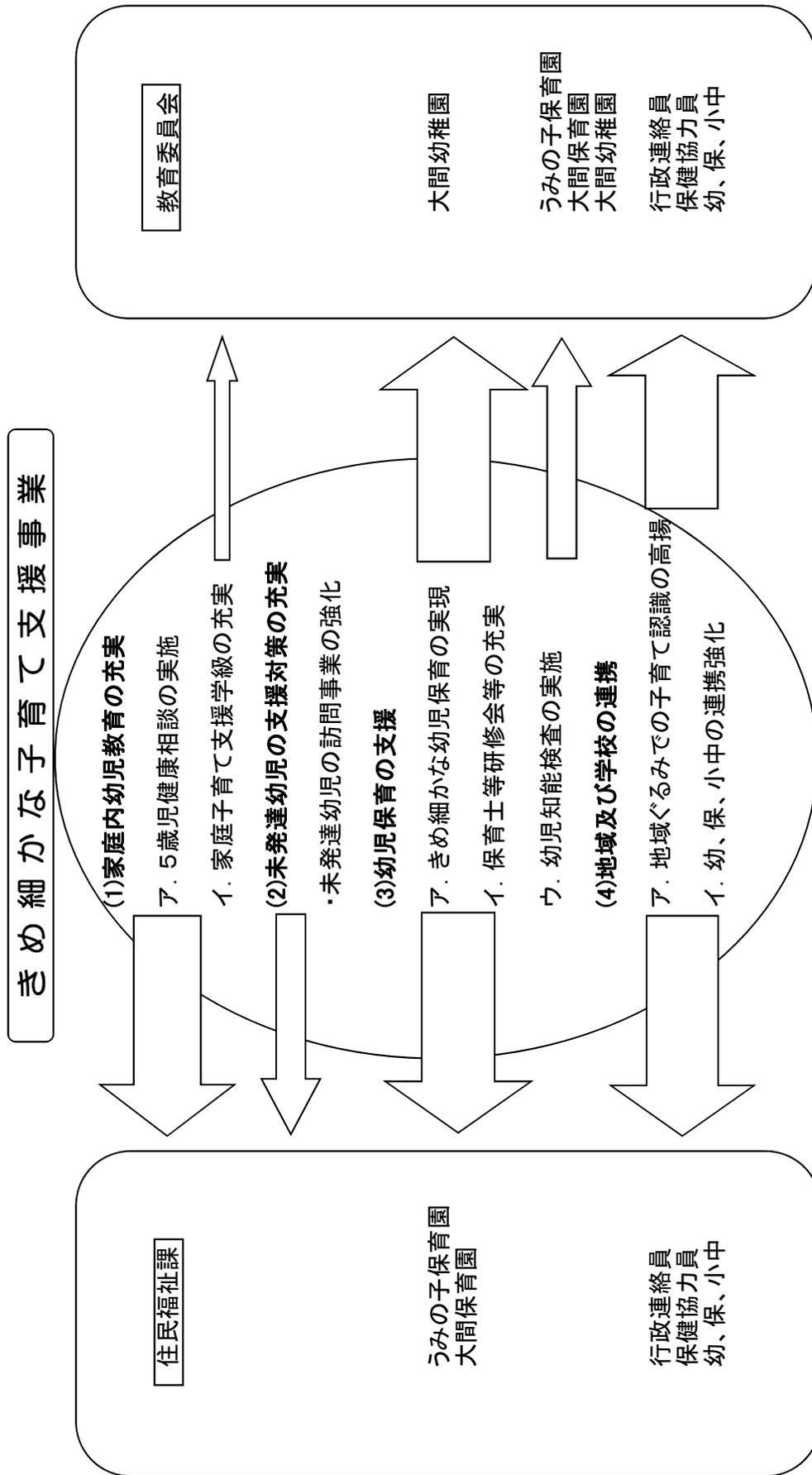
・学童が必要だと思います。（4件） ・年1回より多く話を聞いたかった。 ・食育として給食をしてほしい。 ・開催時期のお知らせを早くしてほしいです。

☆『職員研修会』

日 時：平成29年8月7日（月） 講師：県立むつ養護学校 教諭 山本 建 氏
1部 13：00～14：15 参加者12名
2部 14：30～15：45 参加者 6名



大間町きめ細かな子育て支援事業フローチャート



⑪ 大間町小・中学生海外派遣事業

○大間町小・中学生海外派遣事業実施要綱 平成5年9月9日

改正 平成5年9月17日教委要綱第2号

(目的)

第1 大間町の次代を担う小・中学生を海外に派遣し、訪問国の歴史、自然、産業、経済、文化及び教育事情を視察見学させたり、現地の学校等で小、中学生との交流や参加者同士の交流をとおして、国際的視野の拡大と国際協調及び友情と自立の精神を培い、もって、将来の郷土発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。

(実施主体)

第2 大間町小・中学生海外派遣の実施主体は、大間町とする。ただし、国、県及び町長が認めた他の団体等が主催する事業に併せて実施することができるものとする。

(研修)

第3 この事業を実施するに当たり、参加者は次の研修を経なければならない。

(1) 事前研修

目的及び内容等についての理解を深めるとともに訪問先での視察・交流等に必要な知識等を習得するための研修

(2) 訪問先研修

訪問地の歴史、自然、産業、経済、文化、教育等に関する学習、施設の視察・見学及び現地小・中学生との交歓・交流等

(3) 事後研修

参加して得た成果を児童・生徒会活動及び地域活動等に生かすための研修

(派遣者の募集、選考及び決定等)

第4 派遣者の募集については、各学校を通して大間町教育委員会が行う。

2 教育委員会は、参加申込みを受けた者の中から、適格者と認められる者を選考し、町長に推薦する。

3 町長は、教育委員会から推薦を受けた者について、適格者と認められる者を派遣者として決定する。

(応募資格)

第5 応募資格は、次に該当する者とする。

(1) 大間町立の小、中学校に在学する児童・生徒で、小学校5年生及び6年生並びに中学校1年生及び2年生の男女。ただし、国、県及び町長が認めた他の団体等が主催する事業に併せて実施する場合には、その募集要綱に準ずるものとする。

(2) 心身ともに健康で協調性に富み、旅行期間の団体生活に適応できる児童・生徒

(3) 帰国後、児童・生徒会活動及び少年少女団体等において活動が期待できる児童・生徒

(4) 派遣について、保護者の同意がある児童・生徒

海外派遣事業

むつ国際交流協会が隔年で実施している、第14回海外研修に参加し、むつ市と姉妹都市関係にあるアメリカ合衆国 ポートエンジェルズ市を訪問し、米国の家庭生活や同世代の子ども達との活動を通じて国際交流のすばらしさや楽しさを体験してもらうことを目的として実施。

実施期間:平成30年3月29日(木)～4月4日(水)までの7日間

- 内容
- ① アメリカ人家庭でのホームステイ
 - ② 現地企画による英語研修と交流
 - ③ シアトル市内見学
 - ④ カナダ、ヴィクトリア市視察
 - ⑤ ポート・エンジェルズ市内視察及び交流
 - ⑥ その他 現地の企画

参加費用 250,000円/1人

町助成額 180,000円/1人

参加者 中村 颯来 (奥戸中学校)

大間町青少年海外派遣基金の状況

平成29年度末決算残高 14,474,035円 (決算書 P290～291 参照)

○大間町青少年海外派遣基金条例

平成2年3月19日条例第2号

改正 平成17年3月18日条例第6号

次代を担う青少年を海外に派遣し国際的視野の拡大と協調精神を培い、もって将来の郷土に貢献できる人材育成に必要な経費に充てるため各年度の予算で定める額の範囲内で積み立てするものである。

※ 本事業については、隔年で実施しており今後も実施する予定である。

⑫ 大間町教育ネットワーク会議

1 大間町教育ネットワーク会議設置要綱 平成23年6月22日教育委員会訓令甲第2号

(設置)

第1条 子どもたちが、地域の中で次代を担う人材として健やかに育ちゆくため、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみの教育を展開するための情報・意見交換等を行ない、子どもたちを見守り育てることを目的として大間町教育ネットワーク会議(以下「ネットワーク会議」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 ネットワーク会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) いじめや不登校、自殺などといった問題行動に関すること。
- (2) 子どもたちの悩みを受け止めるために、学校での教育相談や悩み相談などの対応や安心して過ごせる居場所づくりに関すること。
- (3) 非行及び防犯対策に関すること。
- (4) その他目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 ネットワーク会議は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 町内小学校及び中学校の教頭
- (2) 下北地域県民局福祉総室子ども相談課の担当者(青森県むつ児童相談所)
- (3) 下北教育事務所の担当者
- (4) 大間警察署の担当者
- (5) 大間町民生・児童委員の代表者
- (6) 住民福祉課の担当者
- (7) その他教育長が必要と認めるもの

(任期)

第4条 委員の任期は、各年度単位とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 ネットワーク会議に、会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、会長が招集する。

2 会長が必要とあるときは、委員以外のものを会議に出席させ、又は、委員以外のものに意見を求めることができる。

(庶務)

第7条 ネットワーク会議の事務は、大間町教育委員会教育課に事務局をおいて処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、ネットワーク会議の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年7月1日から施行する。

2 平成29年度委員会開催状況

- ・ 第一回 平成29年 6月27日(火) 午後3時30分～
 場所 大間中学校 会議室
 案件 (1) 会長及び副会長の選任について
 (2) 自己紹介
 (3) 情報・意見交換
 (4) その他
- ・ 第二回 平成29年10月 3日(火) 午後3時～
 場所 大間中学校 会議室
 案件 (1) ケース会議・・・大間中(去年の案件)
 (2) 情報・意見交換
 (3) その他
- ・ 第三回 平成30年 2月20日(火) 午後3時～
 場所 大間中学校 会議室
 案件 (1) 情報・意見交換
 (2) 平成30年度開催日程について
 (3) その他

平成29年度 大間町教育ネットワーク会議委員名簿

番号	氏名	職名	所属	任期
1	佐々木 倫哉	教頭	大間中学校	平成30年3月31日まで
2	川崎 恵美子	教頭	奥戸中学校	平成30年3月31日まで
3	逢坂 英人	教頭	大間小学校	平成30年3月31日まで
4	木村 由香子	教頭	奥戸小学校	平成30年3月31日まで
5	山本 和輔	主事	むつ児童相談所子ども相談課	平成30年3月31日まで
6	岸 健一郎	指導主事	下北教育事務所教育課	平成30年3月31日まで
7	小向 丈	課長	大間警察署刑事生活安全課	平成30年3月31日まで
8	畠山 章	会長	民生委員・児童委員協議会	平成30年3月31日まで
9	熊谷 直喜	課長補佐	住民福祉課	平成30年3月31日まで
10	佐々木 秀信	リサーチカー	下北教育事務所教育課	平成30年3月31日まで

※ 本会議の趣旨は、地域の子ども達が健やかに育つために、教育現場、地域、関係各所が問題のある子に関する情報を共有し、個別の対応が必要なケースとなる場合には、住民福祉課が所管する「大間町要保護児童対策地域協議会」で迅速な対応に繋げていくような組織体制をとっていることもあり、今後も継続し会議を開催していく予定。

⑬ 大間町奨学金貸付事業

○大間町奨学基金の設置及び管理運営に関する条例

平成2年3月19日条例第1号

改正 平成13年3月19日条例第8号

(設置)

第1条 大間町に居住する者の子弟で、学校教育法(昭和22年法律第26号)による高等学校、高等専門学校、大学、ほかに保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)に規定する学校、養成所(以下「養成施設」という。)及び町長が認める各種技術並びに技能養成機関に在学する者に対して奨学金を貸与し、もって有用な人材を育成することを目的として大間町奨学基金(以下「基金」という。)を設置する。

(基金の額)

第2条 基金の額は、111,056,000円とする。

2 必要があるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積立てをすることができる。

3 前項の規定により積立てが行われたときは、基金の額は、積立て額相当額増加するものとする。

(管理)

第3条 基金に属する現金の内、運用されない現金については、金融機関への預金その他最も確実に有利な方法により保管しなければならない。

2 前項により生じた利益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、この基金に繰り入れるものとする。

(貸与の対象及び額)

第4条 奨学金の貸与の対象及び貸与の額は、次に定めるところによる。

(1) 高等学校(専修学校を含む。)及び同等の学校

月額 15,000円

(2) 高等専門学校

3年まで 月額 15,000円

4年以降 月額 30,000円

(3) 大学(専門学校、短期大学、大学院を含む。)

月額 30,000円

(4) 養成施設

准看護師 月額 15,000円

准看護師以外のもの 月額 30,000円

(5) 町長が認める各種技術及び技能養成機関

初等のもの 月額 15,000円

高等のもの 月額 30,000円

(貸与の期間)

第5条 奨学金を貸与する期間は、奨学金の貸与を受ける者(以下「奨学生」という。)の在学する学校の正規の修業期間とする。

(奨学生の決定)

第6条 奨学生の決定は、奨学生を希望する者で、次に掲げる要件を備える者の中から奨学生選考委員会の意見を聴いて教育委員会が決定する。

(1) 身体強健及び品行方正で学業優秀な者

(2) 在学学校長等が奨学生として推薦した者

(奨学金の休止)

第7条 奨学生が休学したときは、その期間奨学金の貸与を休止する。

(奨学金の停止又は廃止)

第8条 奨学生が、次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、奨学金の貸与を停止又は廃止する。

- (1) 傷病、疾病等のため成業の見込みがないとき。
- (2) 学業成績又は操行が不良となったとき。
- (3) 奨学金を必要としない事由が生じたとき。
- (4) 休学の事由が適当でないとき。
- (5) 奨学生の属する世帯が大間町から転出したとき。
- (6) その他奨学生として適当でないとき。

(奨学金の償還)

第9条 奨学金は、卒業の月の1年後から奨学金を受けた期間の2倍の期間内に、その全額を償還しなければならない。ただし、奨学生が更に修学し、奨学金の貸与を受けることとなる場合には、当該最終の学校等の卒業の月の1年後から償還させるものとする。

- 2 前項のただし書の場合の償還期間の計算において奨学金を受けた期間は、通算するものとする。
- 3 奨学生が次の各号のいずれかに該当したときは、その月の翌月から奨学金を受けた期間の2倍の期間内に、その全額を償還しなければならない。ただし、特別な事情があるときは、教育委員会がこれを定める。

- (1) 退学
- (2) 奨学金の辞退
- (3) 奨学金の廃止

4 奨学生が、次の各号のいずれかに該当する場合は、教育委員会は、前3項の規定にかかわらず貸与した奨学金の全部又は一部について繰上げ償還を命ずることができる。

- (1) 奨学金を貸与の目的以外に使用したとき。
- (2) 奨学金の支払を怠ったとき。
- (3) 奨学生の属する世帯が大間町から転出したとき。

5 奨学金は、無利息とする。ただし、前各項に規定する償還期日後に償還する者については、この限りでない。

(償還の猶予)

第10条 奨学生であった者が、災害、疾病その他特別の事由のため、奨学金の償還が困難であると認められるときは、相当の期間償還を猶予することができる。

(償還の免除)

第11条 奨学生又は奨学生であった者が、死亡又は廃疾したときは、全部又は一部の償還を免除することができる。

(延滞金)

第12条 奨学金を償還期限までに支払わなかった場合において、正当な事由がないと認められるときは、大間町税外諸収入滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例(昭和28年条例第3号)に定める税外諸収入金の延滞金及び督促の例により計算した当該償還金に係る延滞金及び督促手数料を徴収する。ただし、第10条により猶予された者は、その期間について免除する。

(委任)

第13条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

- 1 この条例は、平成2年4月1日から施行する。
- 2 大間町奨学資金貸与条例(昭和48年条例第2号)は廃止する。
- 3 この条例の施行の日の前日までに奨学金の貸与を受けているものは、この条例の規定により奨学金の貸与を受けたものとみなし、その額については、なお従前の例による。

附 則(平成13年3月19日条例第8号)

- 1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 この条例施行前の規定に基づき貸与したものについては、なお従前の例による。

(1)平成29年度 大間町奨学生選考委員会名簿

	氏名	所属・職名	任期
1	畠山 章	民児協会長	平成29年4月1日～平成30年3月31日
2	松谷 慎子	民生委員(大間地区)	平成29年4月1日～平成30年3月31日
3	佐々木 榮子	民生委員(奥戸地区)	平成29年4月1日～平成30年3月31日
4	和田 八重子	民生委員(材木地区)	平成29年4月1日～平成30年3月31日
5	山口 順子	大間小学校長	平成29年4月1日～平成30年3月31日
6	濱田 俊一	奥戸小学校長	平成29年4月1日～平成30年3月31日
7	俣田 登	大間中学校長	平成29年4月1日～平成30年3月31日
8	飯田 一彦	奥戸中学校長	平成29年4月1日～平成30年3月31日
9	山崎 康浩	大間高等学校長	平成29年4月1日～平成30年3月31日

委員会開催状況

平成29年度大間町奨学生選考委員会

日時 平成29年 5月25日(木) 午後1時00分～

場所 大間町立公民館 1階会議室

案件 平成29年度の奨学生選考について
 高等学校 2名
 大学・専門学校 2名

※選考にあたり、奨学生選考基準及び推薦書提出校の資料、民生児童委員からの情報、返済能力等を勘案し、奨学生4名について、適 と認定。

大間町奨学基金	平成29年度貸付金		4,500,000円
	決算(年度末)残高	(内訳)	
	118,707,458円	青森銀行 定期預金	50,000,000円
		青森銀行 普通預金	68,707,458円

⑭ 奥戸地域学校教育の検討

(1) 大間町学校教育改革の基本的考え方

変化の著しい社会の中で、子どもたちが将来社会の一翼を担い、社会に貢献できる人間として成長するためには、学校を核とした様々な教育活動の中で、「確かな学力の習得」と「心の教育」とともに、豊かな人間性を身に付けることが大切です。

この中で、義務教育課程では、児童生徒の一人一人が生きる力と夢をはぐくむための様々な資質を身に付ける場であると同時に、将来の生き方を考える大切な役割を担っています。

このため、学力向上に向けた教育内容の充実とともに、児童生徒が切磋琢磨できる環境の中で、社会性をはぐくみ、自ら考え、思いやり、行動する力や、主体的な選択を行うための価値観を身に付けさせるなど、発達段階に応じた多様な教育活動の展開が求められるとともに、学校は地域コミュニティの拠点と位置づけ、地域住民の意見を考慮すべきであります。

このような状況を踏まえ、めまぐるしく変化する社会の中で、様々な課題に柔軟に対応できる人づくりを推進するため、教育環境の充実に向けた適正な学校規模・児童生徒の多様な選択肢に対応するあり方、そして、発達段階に応じた組織的・系統的な教育を展開するための方向性を示すこととしています。

(2) 学校規模・配置

- ① 一定規模の学校とすることにより、教育目標である人格の形成や生きる力を育て、お互いの想像性や競争心が付き社会の一員としての基礎教育ができます。
- ② 学校行事などをはじめとする特別活動等の充実や部活動における多様な選択肢の確保が可能になるなど、児童生徒が集団の中で様々な個性や価値観に触れ、互いに切磋琢磨しながら、確かな学力と逞しい心を身に付けるための教育環境を整えることができます。
- ③ 学校配置に際し、地域に学校がなくなるのは非常に寂しくなり、地域活性化が図れなくなることを重く受け止め、奥戸小学校については 複式学級の状況やその時点での保護者の意識調査などの必要性に鑑みて、地域の事情による柔軟な学校配置に配慮することとし、奥戸中学校についても、全校生徒が30人未満となり、且つ、1学年の生徒数が10人未満となる時期を考慮のうえ学校配置に配慮します。

上記の考え方から当町では、文部科学省の「今後の学級編成の改善について」に基づき、少人数学級(平成28年度までに小学校及び中学校35人、平成30年度までに小学校1年及び2年30人)で、1学年あたり1学級以上の学校規模とし運営しています。

(3) 奥戸地域教育の進め方及び協議の経緯

急激に進む少子高齢化の中で、平成22年度に「奥戸地域学校教育検討委員会設置要綱」を定め、平成23年度に検討を重ねましたが、方向性をまとめるには至らない結果でありました。

平成24年度には、奥戸小学校の今後の児童数を見込んだ結果、平成26年度から複式学級が発生することとなることから、先例地である風間浦村立蛇浦小学校を教育委員と事務局で視察し、その後、奥戸地域の小中学校及び幼児の保護者を対象とした懇談会を皮切りに、地域住民も含んだ懇談会を開催してきました。

平成25年度も懇談会を行いながら、小学校保護者による風間浦村立蛇浦小学校の視察を実施し、複式学級の授業風景を見学し教職員との懇談も行いました。

町議会議員の方々においても、大間中・奥戸中と同等規模で統合した青森市の荒川中学校及び青森市教育委員会を訪問し、当時の状況等や統合へ向けての取組み等を確認頂いたところであります。

平成26年度からも引き続き懇談会を開催し、平成27年9月25日に開催した懇談会の中で、保護者の方から、「大間中学校への統合に向けての日程を明確にしてほしい」との要望があり、統合に向けての日程を明確にした上で、再度、奥戸小・中学校保護者との懇談会を開催することとした。

これを受けて、平成27年9月30日に臨時教育委員会議を開催し、教育委員会としての基本的な考え方について次のとおり意思統一しました。

○今後の生徒数の減少傾向を受け、奥戸中学校の教育活動の状況を考慮し、平成30年4月大間中学校との統合の方向で推進することとしたい。

上記について、平成27年12月1日に開催した議員全員協議会において説明し、教育委員会としての基本的な考え方について説明しております。そのことが平成27年12月2日の東奥日報及びデイリー東北に記事として掲載され、記事を読んだ奥戸地区の児童生徒の保護者及び地域住民が「統合決定」と誤認した経緯があります。教育委員会としては、平成30年4月の統合についてはあくまで目標であり、保護者や地域住民のある程度の理解を得られなければ実施しない考えであることから、引き続き懇談を行ってきました。

その後、PTA役員等と懇談を重ねましたが、統合に関しては多くの保護者が「反対」の意見をもっているようなことから、PTA独自でアンケート調査を行い、その結果報告を受け、その時に質問のあった事項に関して、平成28年2月に開催した懇談会で回答しております。

このような動きのなかで、小・中学校PTA会長から、「現在の状況では平成30年4月の統合は無理であると考え。これから部活動や学年交流等を重ね、平成33年4月頃に統合できるような体制で進めてほしい」との要望があり、それを受け平成29年4月に小学校・中学校の参観日に出向き、大間町教育委員会としての考え方を保護者へ説明しております。

平成29年8月7日に開催した新教育委員会制度による「平成29年度第1回大間町総合教育会議」へこの問題を提起し、認識いただいているところであります。

その後、9月に小・中PTA会長等との懇談を開催し、11月には保護者との懇談を開催し、更には平成30年1月29日には奥戸地域住民を対象とした懇談会を開催し、大間町教育委員会としての方向性を下記のとおり示しました。

奥戸中学校生徒数が20人を切るであろう平成33年4月に、奥戸中学校を大間中学校へ統合することとして事業を進める。

大間町教育委員会としては、長い年月をかけ保護者や地域の意見を受け止めながら統合問題に取り組んできました。その経緯を踏まえ、上記の判断をしました。今後は、受け入れ側の大間中学校への対応や、学校並びに生徒間交流を重ねながら統合に向けて推進していきたいと考えております。

「学校教育改革報告策定」の主なる検討経過

年 月	事 項
H23・3	大間町奥戸地域学校教育検討委員会設置要綱制定
H23・6	第1回大間町奥戸地域学校教育検討委員会開催
H23・8	第2回大間町奥戸地域学校教育検討委員会開催
H23・9	第3回大間町奥戸地域学校教育検討委員会開催
H23・11	第4回大間町奥戸地域学校教育検討委員会開催
H24・8	第1回大間町教育委員による複式学級授業に係る先例地視察（蛇浦小学校）
H24・12	大間町議会全員協議会に対し学校教育改革計画策定（案）検討状況（奥戸地域）報告
H25・2	第1回奥戸地域における学校教育に関する懇談会（未就学児の保護者対象）
H25・6	第2回奥戸地域における学校教育に関する懇談会（小中学校の保護者対象）
H25・7	第3回奥戸地域における学校教育に関する懇談会（小中学校の保護者対象）
H25・8	第4回奥戸地域における学校教育に関する懇談会（奥戸地区住民対象）
H25・10	大間町議会議員の大間町教育検討に係る視察研修（青森市役所・荒川中学校）
H25・11	第2回奥戸PTAによる複式学級授業に係る先例地視察（蛇浦小学校）
H25・11	第5回奥戸地区における学校教育に関する懇談会（奥戸地区住民対象）
H26・5	奥戸地域学校教育について教育委員会としての考え方について町長へ提出
H26・6	奥戸地域学校教育の教育委員会としての考え方について町議会全員協議会へ報告
H26・9	奥戸地域学校教育の教育委員会としての考え方について奥戸地域住民へ報告
H26・11	奥戸地域小中学校PTAへ教育委員会としての考え方について報告及び懇談
H27・4.30	奥戸小学校PTAへ今後の奥戸地域教育方策への協力依頼
H27・9.25	奥戸地域における学校教育に関する懇談会（小中学校の保護者対象）
H27・9.30	定例教育委員会において奥戸地域の教育問題について協議
H27・12.1	大間町議会全員協議会へ奥戸地域の学校教育方針について説明
H27・12.15	奥戸地域における学校教育に関する懇談会（小中学校の保護者対象）
H28・1.20	奥戸地域における学校教育に関する懇談会（地域住民対象）
H28・3.28	奥戸小・中学校PTA会長との懇談会
H28・6.2	奥戸小・中学校新PTA会長との懇談会
H28・10.5	奥戸小・中学校PTA会長との懇談会
H28・11.22	PTAによる中学校に関するアンケート調査実施
H28・12.19	奥戸小・中学校PTA会長会長及び役員との懇談会
H29・2.27	奥戸小・中学校PTA役員との懇談会
H29・3.23	定例教育委員会において奥戸地域の統合問題について協議
H29・4.15	奥戸小・中学校参観日出席（教育委員会の考え方について説明）
H29・8.7	平成29年度第1回大間町総合教育会議にて検討
H29・9.26	奥戸小・中学校PTA会長との懇談会
H29・11.20	PTA主催による保護者との懇談会
H30・1.29	奥戸地域学校教育に関する懇談会（地域住民対象）

奥戸小学校 児童数の推移

平成30年2月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計	備 考
平成25年度	6	10	10	10	10	13	3	62	
平成26年度	7	5 複式学級	10	10	10	11	3	56	2・3学年複式設置
平成27年度	6	8 複式学級	5	10	10	11	2	52	//
平成28年度	7	6 複式学級	9	5 複式学級	10	9	1	47	2・3学年及び4・5学年複式設置 児童数が50人を割る
平成29年度	6	7	6 複式学級	9	5 複式学級	10	0	43	//
平成30年度	6	6	7 複式学級	6	9 複式学級	5	0	39	// 児童数が40人を割る
平成31年度	6	6	6 複式学級	7	6 複式学級	9	0	40	//
平成32年度	8	6	6 複式学級	6	7 複式学級	6	0	39	//
平成33年度	7	8	6 複式学級	6	6 複式学級	7	0	40	//
平成34年度	4	7	8 複式学級	6	6 複式学級	6	0	37	//
平成35年度	2 複式学級	4	7 複式学級	8	6 複式学級	6	0	33	// 完全複式学級となる

※29年度学級編成基準

複式学級への移行

1学年35人、2学年以上40人

1学年を含む場合8人 含まない場合16人

奥戸中学校 生徒数の推移

	1年	2年	3年				特別支援	合計	備 考
平成25年度	14	17	11				0	42	
平成26年度	11	14	16				1	42	
平成27年度	11	12	13				2	38	生徒数が40人を割る
平成28年度	11	11	11				3	36	
平成29年度	9	11	11				3	34	
平成30年度	10	9	11				2	32	
平成31年度	5	10	9				1	25	生徒数が30人を割る
平成32年度	8	5	10				0	23	
平成33年度	6	8	5				0	19	生徒数が20人を割る
平成34年度	6	6	8				0	20	
平成35年度	6	6	6				0	18	生徒数が20人を割る

※29年度学級編成基準(予定)

複式学級への移行

1学級

40人

8人

Ⅲ 社会教育の充実

(1) 組織及び事業

地域住民が心のふれあいを深め、生涯にわたって生きがいのある充実した生活を送るとともに豊かで住み良い地域社会の実現ができるよう、一人ひとりの学習と社会参加を実現する社会教育の推進に努力し、地域全体の教育力の向上を図る。

組織名	ねらい・構成員
① 社会教育委員会	<p>● 社会教育に関する諸計画の立案並びに教育委員会の諮問に対し意見を述べる。また、これらの職務を行うために必要な調査・研究を行う。</p> <p>委員長 佐々木 純六</p> <p>委員 山口 順子 飯田 一彦 山崎 康浩 山崎 榮 蛭子 研三 大見 俊久 山崎 アイ子 矢越 文男 米澤 和恵 ※ 委員については、各団体の長で構成している。</p>
② 文化財審議委員会	<p>● 文化財に関する諸計画の立案並びに教育委員会の諮問に対し意見を述べる。また、これらの職務を行うために必要な調査・研究を行う。</p> <p>委員長 松原 俊逸</p> <p>委員 熊谷 正明 柴田 憲明 目時 浩美 佐々木 健 興村 慎吾</p>
③ 公民館運営審議委員 ・公民館事業	<p>● 公民館活動の充実を図るため、情報交換及び連絡調整の場とする。</p> <p>● 文化団体、サークル活動等の自主活動を奨励し、その育成を図る。</p> <p>委員長 濱田 俊一</p> <p>委員 俣田 登 木村 泰佳子 金田一子 増山 渉 柳谷 章造 佐々木 明</p> <p>① 町民文化祭事業 ② 読書推進事業 ③ 大間町音楽祭事業 ④ 書初め席書大会 ⑤ 函館市戸井町との文化交流事業 ⑥ 公民館講座の開催事業</p>

<p>④ スポーツ推進委員会</p> <p>・体育関係事業</p>	<p>● 町民のスポーツ振興と社会体育の発展のため、実技指導やスポーツに関する助言を行うとともに、相互の連絡調整及び情報交換の場とする。また、体育館運営審議委員会委員を兼ねる事とする。</p> <p>委員長 泉 晃</p> <p>委員 塚 祐介 豊川 武伸 七島 賢 七島 賢人 真柄 みつ子 山本 直也 山本 竜太 矢越 文男 米澤 和恵</p> <p>① はまなす駅伝大会開催事業 ② 大間町少年柔道大会開催事業 ③ 大間町少年剣道大会開催事業 ④ 青森県市町村対抗県民体育大会参加事業 ⑤ 青森県市町村対抗県民駅伝大会参加事業 ⑥ 体育協会育成・スポーツ少年団育成事業 ⑦ 学校体育施設開放事業 ⑧ 町民体育館開放事業 ⑨ 生涯スポーツ推進事業</p>
<p>⑤ 少年教育・子ども会育成義業</p> <p>・郷土芸能発表会</p> <p>・青少年健全育成会議</p>	<p>● 少年の学校外活動の充実を図るため、地域の活動を通して「いきいきとした豊かな人間形成」を目指す。</p> <p>・ 大間町子ども会育成連絡協議会 会長 増山 渉 副会長 菊池 祐輔 理事 宮野 真 清水 和朗 伊世 卓矢 監事 佐々木 純 小林 光 事務局 伊藤 耕陽 少年指導員 中村 幸宏 高松 大助 林 誠</p> <p>● 地域の文化を学ぶとともに、ふるさとの歴史を見つめ郷土を愛する心を育てることを目的として実施。</p> <p>● 青少年の健全育成のため、家庭、学校、職場、地域全体が一体となり、育成活動の展開を図ることを目的として実施。</p>
<p>⑥ 放課後子どもプラン</p>	<p>● 安心・安全して活動できる子どもの居場所を設け、小学生を対象とした放課後や週末におけるスポーツや文化活動など、様々な体験活動や住民との交流活動の推進を図る。</p>
<p>⑦ 青年教育・成人式</p>	<p>● 新成人の門出を祝う場面を設け、お互いの交流を深めさせ次代を担う心構えと勇気を喚起させることを目的として実施。 (毎年 8月15日に北通り文化センター「ウイング」にて実施)</p>

<p>⑧ 勤労青少年ホーム 運営委員会</p>	<p>● 勤労青少年の余暇の充実に資することを目的として実施。 運営委員長 菊池 良一 運営委員 葛西 徳哉 高橋 博之 林 誠 宮野 良子</p>												
<p>⑨ 女性団体連絡協議会</p>	<p>● 大間町に組織されている女性団体が相互の連携を密にし、融和を図りながら、女性の地位向上と福祉の増進に努め、明るく住み良い豊かな町づくりに寄与することを目的とする。</p>												
<p>⑩ 老人クラブ連合会</p>	<p>● 会員相互の親睦を密に研修・活動等を共に行い、各老人クラブの連携強化を図り、更には、各人の健康増進・福祉の向上に努め明るく住み良い豊かな町づくりに寄与することを目的とする。</p>												
<p>⑪ 芸術・文化団体</p> <p>・ 芸能保存会 ・ 祭典実行委員会</p>	<p>● 公民館、北通り文化センター「ウイング」、文化協会等関係機関団体との連携を密にし、個性豊かな文化活動の充実に努めるため、芸術文化団体への助成・支援を行う。</p> <p>先人たちが引き継いできた郷土芸能と、由来等の歴史研究も含め本来の正しい形態で保存保護しながら、積極的に普及・活用していくことを目的とする。</p> <table border="0"> <tr> <td>・ 対象団体</td> <td>補助額</td> </tr> <tr> <td>大間郷土芸能保存会</td> <td>41,000 円</td> </tr> <tr> <td>奥戸郷土芸能保存会</td> <td>41,000 円</td> </tr> <tr> <td>大間稲荷神社祭典実行委員会</td> <td>599,000 円</td> </tr> <tr> <td>奥戸春日神社祭典実行委員会</td> <td>248,000 円</td> </tr> <tr> <td>材木稲荷神社祭典実行委員会</td> <td>77,000 円</td> </tr> </table>	・ 対象団体	補助額	大間郷土芸能保存会	41,000 円	奥戸郷土芸能保存会	41,000 円	大間稲荷神社祭典実行委員会	599,000 円	奥戸春日神社祭典実行委員会	248,000 円	材木稲荷神社祭典実行委員会	77,000 円
・ 対象団体	補助額												
大間郷土芸能保存会	41,000 円												
奥戸郷土芸能保存会	41,000 円												
大間稲荷神社祭典実行委員会	599,000 円												
奥戸春日神社祭典実行委員会	248,000 円												
材木稲荷神社祭典実行委員会	77,000 円												
<p>⑫ 体育・スポーツ団体</p>	<p>● 生涯スポーツの底辺拡大と町民の体力づくりの一環として、「総合型地域スポーツクラブ」の育成支援並びに各種スポーツ大会の実施及び参加に向けた環境・体制整備を図る。</p> <p>① 体育協会加盟団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上部 ・ 野球部 ・ 剣道部 ・ 柔道部 ・ テニス部 ・ 羽根球部 ・ サッカー部 ・ バasketボール部 ・ バレーボール部 <p>② スポーツ少年団 ⑦ 柔道協会 ③ 朝野球協会 ⑧ 陸上競技協会 ④ 剣友会 ⑨ 県民駅伝競走実行委員会 ⑤ 剣道クラブ育成会 ⑩ バレー愛好会 ⑥ 誠心館道場育成会</p>												

IV 大間町教育委員会 行事

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 青森県民体育大会 | 平成 29 年 7 月 22 日 ~ 23 日
7 月 29 日 ~ 30 日 |
| 2 大間町成人式 | 平成 29 年 8 月 15 日 |
| 3 第25回青森県民駅伝競走大会 | 平成 29 年 9 月 4 日 |
| 4 第32回はまなす駅伝大会 | 平成 29 年 9 月 24 日 |
| 5 公民館講座 | 平成 29 年 9 月 13 日 ~
10 月 26 日 |
| 6 第42回町民文化祭 | 平成 29 年 10 月 28 日 ~ 29 日 |
| 7 第39回大間町音楽祭 | 平成 29 年 10 月 29 日 |
| 8 第32回大間町少年柔道大会 | 平成 29 年 12 月 3 日 |
| 9 第46回大間町書初め席書大会 | 平成 30 年 1 月 5 日 |
| 10 第54回大間町少年剣道大会 | 平成 30 年 1 月 21 日 |
| 11 第36回大間町青少年健全育成推進大会 | 平成 30 年 2 月 17 日 |
| 12 放課後子ども教室開催事業 | 平成 29 年 6 月 3 日 ~
平成 30 年 2 月 28 日 |
| 13 函館市戸井地区交流事業 | 平成 29 年 10 月 14 日 ~ 15 日 |

① 平成29年度 第72回市町村対抗青森県民体育大会

期日 平成29年7月29日(土)～7月30日(日)
(先行開催:平成29年7月22日(土)～7月23日(日))
開催地 青森市・平川市

(1) 剣道 優勝 (5連覇)

一回戦 大間町 4 - 0 南部町
準々決勝 大間町 2 - 0 鶴田町
準決勝 大間町 3 - 0 鱒ヶ沢町
決勝 大間町 1 - 1 七戸町
(代表決定戦)

○ 選手名簿

監督	増山 渉	補員	菊池 正真
先鋒	倉本 潤	補員	蛭子 勇人
次鋒	伊藤 耕陽		
中堅	南 禎明		
副将	藤枝 誠		
大将	熊谷 将登		

(2) バスケットボール

一回戦 大間町 55 - 71 中泊町

○ 選手名簿

監督	竹内 憲人	コーチ	傳法 勇人
		アシスタントコーチ	長崎 寿々
		マネージャー	扇谷 香織
4	七島 賢	10	泉 徳志
5	傳法 勇人	11	田中 智也
6	伊藤 龍	12	泉 洋
7	熊谷 諭	13	萬谷 幸毅
8	古谷 泰樹	14	宮古 和稔
9	竹内 憲人	15	菊池 健太
		17	新田 良純

(3) サッカー

一回戦 大間町 2 - 1 東北町
二回戦 大間町 0 - 9 六戸町

○ 選手名簿 監督 堺 祐介

GK	松谷 一平	GK	御厩敷 真也
DF	畠山 幸平	FW	古家 憲太朗
DF	高橋 孝彦	DF	斉藤 聡
DF	小濱 年高	MF	澤向 和也
DF	宮野 真	MF	竹内 慶吾
MF	緒田 勉	DF	小川 良
MF	高橋 慶彦	FW	伊藤 翔汰
MF	碓谷 純也	FW	佐々木 純
MF	杉澤 春樹	FW	堺 祐介
FW	御厩敷 和也	DF	堀部 勝芳

(4) 柔道

一回戦 大間町 0 - 2 野辺地町

○ 選手名簿 監督 高松 大助
先鋒 七島 賢人
中堅 菊池 大貴
大将 泉 竜太



②平成29年度 大間町成人式

- 期 日 平成29年8月15日(火)
- 時 間 午後1時から
- 場 所 北通り総合文化センター「ウイング」

- 成人式対象者名簿(男) 41人 成人式対象者名簿(女) 28人

No	氏 名						
1	泉 勇太	22	田中 光	1	碓谷 直子	15	傳法 愛佳
2	伊藤 弘平	23	寺岡 修平	2	石戸 沙奈	16	傳法 瑞季
3	伊藤 鷹也	24	傳法 佳祐	3	伊藤 祐実	17	能登 有理
4	伊藤 幸弥	25	奈良 勇大	4	大西 智美	18	古川 佳歩
5	岩瀬 奏人	26	新田 大樹	5	角野 瑞紀	19	古川 美香
6	遠藤 駿哉	27	野崎 晃	6	川谷 柚衣	20	古川 黎乃
7	大見 将紀	28	能登 隆太	7	北村 千夏	21	松原 真喜子
8	小笠原 愛斗	29	濱端 祥輝	8	小林 綾佳	22	南 ほの香
9	岡村 竜成	30	番匠 貴大	9	佐々木 瑞穂	23	山田 遙
10	宮古 和稔	31	番匠 隆幸	10	笹谷 琴音	24	山本 莉穂
11	金澤 朋希	32	平田 佳明	11	須藤 綾香	25	吉田 純奈
12	菊池 蓮	33	藤枝 文仁	12	筑田 礼奈	26	米持 麻佑
13	小谷 泰輝	34	正根 光希	13	長後 明日香	27	渡辺 陽花
14	小谷 大輔	35	松村 尚輝	14	佃 ゆき	28	和田 稀代加
15	齋藤 魁斗	36	三國谷 歩斗				
16	佐々木 駿介	37	盛田 幸輝				
17	佐々木 貴也	38	山本 諒真				
18	佐々木 諒太	39	横浜 圭輔				
19	佐藤 龍之介	40	米澤 一樹				
20	竹内 翼	41	米澤 佑太郎				
21	田中 佳佑						

○ 記念公演

講師：三遊亭 大楽 氏

演題：『職業選択の自由について考える』

プロフィール

三遊亭大楽(さんゆうてい・だいらく)
昭和39年7月17日生まれ

【本名】 松山諭(まつやま さとし) 【出身地】 大間町奥戸出身

【学歴】 国士舘大学卒業 【出囃子】 大ちゃん数え唄

【活動】
2013年10月、故郷である大間町の観光大使に任命され、全国に大間をPRしている。現在は、青森市に拠点置き、県内の各種イベント・講演会等を主に活動されている。最近では、平成29年7月15日に津軽海峡フェリー大函丸、7月23日にむつ市内のお寺等々で落語を披露している。笑いで青森県を活性化しよう、この不況を笑いで吹き飛ばせのスローガンのもと、日夜奮闘されている。



③第25回青森県民駅伝競走大会

大間町実行委員会

1 実行委員会全体会

- (1) 期 日 平成 29 年 6 月 14 日 (水)
- (2) 時 間 午後 6 時 ~
- (3) 場 所 大間町公民館 1階
- (4) 内 容 ○平成28年度会務報告
○監査報告
○平成28年度収支決算報告
○会則審議
○平成29年度事業計画(案)
○平成29年度収支予算(案)
○その他

(5) 協 議

● 候補選手の選出依頼及び選考について

- 候補選手依頼 平成 29 年 6 月 3 日 (水)
- 記録会開催日 平成 29 年 7 月 13 日 (水)
- 平成 29 年 7 月 20 日 (水)
- 選手選考会 平成 29 年 7 月 20 日 (水)
- オーダー編成会議 平成 29 年 7 月 20 日 (水)
- 選手名簿締切 平成 29 年 7 月 27 日 (水)

● 選手強化について

- 強化部会に対応 選考会と同時期に強化練習を実施(毎週水曜日)
(自主トレ メニューを候補選手に配布)
- コース試走会 7~8月中に実際のコースを試走実施
 - 1回目 平成 29 年 7 月 30 日 (土)
 - 2回目 平成 29 年 8 月 20 日 (土)

2 団結式・壮行会

- 開催日 平成 29 年 8 月 29 日 (月)
- 開催時間 午後6時00分~
- 開催場所 公民館1階

3 県民駅伝競走大会 本番

平成 29 年 9 月 4 日 (日)

- 参加者 古家 憲太郎 他12名 別添資料のとおり
- 強化部 矢越文男 山本竜太 関 卓也
高橋英志 船水拓哉 佐々木英樹
泉 優介 他町陸上競技協会会員

第25回青森県民駅伝競走大会

選手オーダー表 及び 結果

ナンバーカード番号	27	市町村名	大間町
監督氏名	山田 司		
監督連絡先	TEL	0175-37-2111	

区間	区間距離〔指定〕	氏名	年齢	勤務先・学校名	学年	タイム
第1区	4.6km〔男子（高校生以上）〕	ふるいへ けんたろう 古家 憲太郎	41	電源開発（株）		16分24秒
第2区	3.8km〔男子（中学生）〕	こはま ふうま 小濱 楓真	12	大間中学校	1	13分48秒
第3区	4.6km〔男子（高校生以上）〕	こじま けいじ 小島 圭二	22	青森中央学院大学	4	17分40秒
第4区	6.1km〔男子（高校生以上）〕	いさ せいこう 伊佐 誠孝	24	（株）ジェイペック		22分06秒
第5区	2.5km〔女子（中学生以上）〕	しみず あみ 清水 彩心	12	奥戸中学校	1	10分27秒
第6区	5.2km〔男子（高校生以上）〕	おおた ひろひで 太田 博英	32	電源開発（株）		21分24秒
第7区	3.2km〔女子（中学生以上）〕	こばやし さくみ 小林 咲実	12	大間中学校	1	13分58秒
第8区	3.8km〔男子（中学生）〕	ますた せいや 増田 誠弥	14	大間中学校	3	14分14秒
補 欠		まつもと ひなた 松本 陽向	14	大間中学校	3	2:10:01 全体 35位 町の部20位 ※別添資料 参照
		こじま きな 小島 幸菜	13	大間中学校	2	
		よねもち ひろと 米持 大翔	13	大間中学校	1	
		きい しのが 紀伊 忍	42	大間町社会福祉協議会		
		こじま りな 小島 李奈	29	（株）JPビジネスサービス		

○担当者 菊池 武利 佐藤 桂一 細川 大広 浅見 法
伊藤 満治 伊藤 耕陽 新田 隼人 藤枝 誠
番匠 一雄



(大会当日 県総合運動公園陸上競技場にて撮影)

4 県民駅伝競走大会の反省

本大会の参加数は、市の部10チーム、町の部22チーム、村の部8チーム、計40チームの参加で開催され、市の部優勝はむつ市、町の部優勝は南部町、村の部優勝は六ヶ所村であった。

当町においては、合計タイム2時間10分01秒で総合35位、町の部においては22チーム中20位であった。大きな目標である「2時間の壁を打ち破る」ことが出来なかったが順位をあげることができた。

結果的に全体的にタイムが伸びていないこともあるが、特に女子区間のタイムが他より大きく差が開いている。地域的に陸上競技への関心が薄い地域であることや小・中学校時のクラブ活動や部活動の状況を見ても、陸上競技(特に中・長距離)に取り組んでいる生徒が少ないこともあり、どうしても選手選考に困難している状況が続いている。

県民駅伝競走大会は今後も引続き継続開催されることから、大間町陸上競技協会の協力を得ながら、長期的な展望をもって地域の児童・生徒の身体能力の向上を目指し取り組んでいかなければならない。また、急激に進む「少子高齢化社会」の現状も踏まえ、最も効果的な手法を取り組んでいく必要がある。

④第32回はまなす駅伝大会

- 1 趣 旨 大間町民憲章の具現化を図る一端として、駅伝大会を実施し町民の連帯感と協調精神の涵養につとめ、交通安全及び防犯思想の普及啓発と社会生活規範の高揚により、青少年の健全育成を図り、もって心身共に「健康安全で、明るく住み良い町づくり」を目指すと共に、スポーツを通じて地域の交流を深める。
- 2 主 催 大間町教育委員会
- 3 共 催 大間町体育協会
- 4 後 援 大間警察署、大間地区交通安全協会、大間地区安全運転管理者協会、大間地区安全運転管理事業主会、大間町交通安全対策協議会、大間町交通安全母の会連合会、大間地区連合防犯協会、大間町密漁防止対策協議会、大間町青少年健全育成会議、大間小学校、奥戸小学校、大間中学校、奥戸中学校、大間高等学校、各小・中学校PTA、大間高等学校PTA大間地区部会、大間漁業協同組合、奥戸漁業協同組合
- 5 協 賛 風間浦村教育委員会、佐井村教育委員会、風間浦村陸上競技協会、佐井村陸上競技協会
- 6 主 管 大間町陸上競技協会
- 7 日 時 平成29年 9月24日(日) 午前10時 材木スタート
- 8 コース 全長 16.57km 別添のとおり
- 9 競技方法 (1)出場できる選手数は次のとおりとする チーム編成
- | | | | |
|-----------|-----------|------|------|
| ① 小学生の部 | 男子4名・女子1名 | 計 5名 | 8名以内 |
| ② 中学生の部 | 男子4名・女子2名 | 計 6名 | 9名以内 |
| ③ 一般・高校の部 | 男子4名・女子1名 | 計 5名 | 8名以内 |
- ※ 男子区間を女子が走ることは可。女子区間を男子が走ることは不可。
- (2) 当日、荒天時の場合は中止とし小雨決行とする。
開催の判断は、当日午前6時30分までに行い、中止の場合は午前7時までに各チーム代表者に連絡をする。

○ 小学生の部

区間	区 間 詳 細	距 離	走 者
1区	材木農村婦人の家 ～ 黒岩小屋前	1. 7 km	男子
2区	黒岩小屋前 ～ 奥戸漁港内	1. 6 km	男子
3区	奥戸漁港内 ～ 小奥戸橋	1. 6 km	女子
4区	小奥戸橋 ～ 大見海事作業所前	3. 0 7 km	男子
5区	大見海事作業所前 ～ 大間町立公民館前	1. 3 km	男子

○ 中学校の部

区 間	区 間 詳 細	距 離	走 者
1 区	材木農村婦人の家 ～ 奥戸漁港内	3. 3 km	
2 区	奥戸漁港内 ～ 小奥戸橋	1. 6 km	女子
3 区	小奥戸橋 ～ 大見海事作業所前	3. 0 7 km	
4 区	大見海事作業所前 ～ 高橋本店前	1. 3 km	女子
5 区	高橋本店前 ～ 一番坂	3. 7 km	
6 区	一番坂 ～ 大間町立公民館前	3. 6 km	

○ 一般・高校の部

区 間	区 間 詳 細	距 離	走 者
1 区	材木農村婦人の家 ～ 奥戸漁港内	3. 3 km	
2 区	奥戸漁港内 ～ 大見海事作業所前	4. 6 7 km	
3 区	大見海事作業所前 ～ 高橋本店前	1. 3 km	女子
4 区	高橋本店前 ～ 一番坂	3. 7 km	
5 区	一番坂 ～ 大間町立公民館前	3. 6 km	

9 競技規程

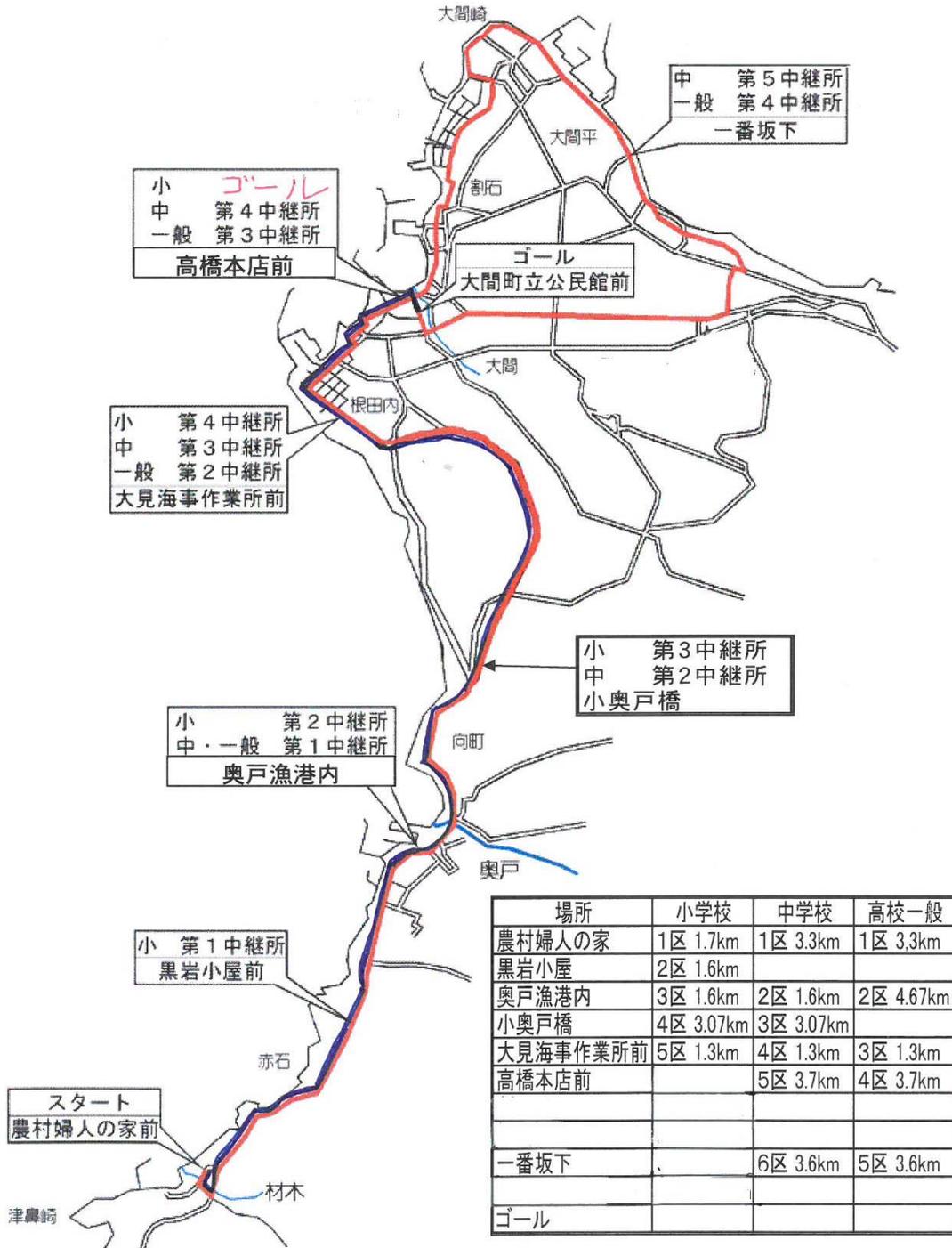
- ① 選手は主催者の用意するナンバーカードをつけること。
- ② タスキは全区間を通じて走者の肩にかけて運ばなければならない。
- ③ 競技中選手が競技を続行することができなくなった場合は、当該チームのその区間の競技を無効とする。但し、次の区間競技を続行することができる。その場合当該チーム全体の記録は無しとするが、区間ごとの記録は認める。
- ④ 中継はタスキの受け渡しによるが、受け渡しは中継所の出発点から前方（走る方向）へ 20mの中継ゾーン内で完了すること。また、タスキは必ず手渡しすること。投げたり、落としたりしたものを次走者に拾わせてはならない。
- ⑤ 受付、選手の変更は、大会当日の午前7時30分までに大会本部に届けること。
- ⑥ 伴走は禁止とする。
- ⑦ 各中継所において、トップの選手通過後15分で繰り上げを行う。
- ⑧ 競技中の選手の健康管理、事故防止については各チームで責任を持つこと。

10 表彰

- ① 各部とも3位までの入賞にはメダル、賞状を授与する。
- ② 優勝チームには優勝杯（持回り）を授与する。
- ③ 大会新記録及び区間新記録については後日記録証を授与する。
- ④ 各区間の第1位に区間賞を授与する。

別 添

はまなす駅伝大会コース図 (全長16.57km)





—つなぐ—

第32回 はまなす駅伝大会

平成29年9月24日(日) 午前10時スタート

主催：大間町教育委員会 主管：大間町陸上競技協会 共催：大間町体育協会

協賛：風間浦村教育委員会・佐井村教育委員会・風間浦村陸上競技協会・佐井村陸上競技協会

後援：大間警察署・大間町体育協会・大間地区交通安全協会・大間地区安全運転管理者協会・大間地区安全運転管理事業主会
大間町交通安全対策協議会・大間町交通安全母の会連合会・大間地区連合防犯協会・大間町密漁防止対策協議会

大間町青少年健全育成会議・大間小学校・奥戸小学校・大間中学校・奥戸中学校

大間高等学校・大間小学校 PTA・奥戸小学校 PTA・大間中学校 PTA・奥戸中学校 PTA

大間高等学校 PTA・大間漁業協同組合・奥戸漁業協同組合

第32回はまなす駅伝大会 小学生の部

		2017/9/24					10:00 スタート		
No.	チーム名	監督	第1区 (1.7km)	第2区 (1.6km)	第3区 (1.6km)	第4区 (1.5km)	第5区 (1.5km)	第6区 (1.3km)	総合順位
			順位 通過記録 区間記録	順位 通過記録 区間記録	順位 通過記録 区間記録	順位 通過記録 区間記録	順位 通過記録 区間記録	順位 通過記録 区間記録	
1	大間小学校	中里 憲一	1 新田 翔汰 0:06:21 0:06:21	1 佐藤 凌虎 0:12:12 0:05:51	1 伊藤 咲花 0:18:48 0:06:36	1 伊藤 新 0:25:10 0:06:22	1 吉本 菜々華 0:30:51 0:05:41	1 竹内 秀哉 0:35:58 0:05:07	1
2	奥戸小学校	齋藤 香澄	2 柴田 海 0:07:07 0:07:07	2 菊池 溜夕歩 0:13:27 0:06:20	2 笹谷 優那 0:21:06 0:07:39	2 清水 瑛斗 0:28:44 0:07:38	2 高橋 紗希 0:34:34 0:05:50	2 柿崎 優斗 0:40:09 0:05:35	2

前回までの大会記録 1:00:00

区間賞	第1区 (1.7km)	第2区 (1.6km)	第3区 (1.6km)	第4区 (1.5km)	第5区 (1.5km)	第6区 (1.3km)
	1 新田 翔汰 大間小学校 0:06:21 0:05:38	1 佐藤 凌虎 大間小学校 0:05:51 0:04:49	1 伊藤 咲花 大間小学校 0:06:36 0:06:17	1 伊藤 新 大間小学校 0:06:22 新	1 吉本 菜々華 大間小学校 0:05:41 新	1 竹内 秀哉 大間小学校 0:05:07 新
	前回までの区間記録					

第32回はまなす駅伝大会 中学生の部

		2017/9/24				10:00 スタート			
No.	チーム名	監督	第1区 (3.3km)	第2区 (1.6km)	第3区 (3.0km)	第4区 (1.3km)	第5区 (3.7km)	第6区 (3.6km)	総合順位
		通過記録		通過記録		通過記録		通過記録	
		区間記録		区間記録		区間記録		区間記録	
11	大間中学校	高橋 英志	小濱 楓真 1 0:11:56 1 0:11:56	伊藤 樹乃 1 0:18:58 2 0:07:02	松本 陽向 1 0:30:10 1 0:11:12	小林 咲実 1 0:35:20 1 0:05:10	増田 誠弥 1 0:49:16 1 0:13:56	三國谷翔斗 1 1:02:23 1 0:13:07	大会新
12	奥戸中学校		岩川 夏楓 2 0:13:32 2 0:13:32	太田 真侑 3 0:20:45 3 0:07:13	小林 拓斗 2 0:33:31 2 0:12:46	清水 彩心 2 0:38:48 2 0:05:17	笹谷 涼太 2 0:53:51 2 0:15:03	高松 剛成 3 1:09:50 3 0:15:59	3
13	風間浦中学校	船水 拓哉	工藤 竜馬 3 0:13:39 3 0:13:39	蛸島 咲 2 0:20:15 1 0:06:36	林 翔 3 0:33:42 3 0:13:27	亀谷 孝海 3 0:39:21 3 0:05:39	森脇天澄夢 3 0:54:27 3 0:15:06	齊藤 望亜 2 1:08:39 2 0:14:12	2
		山崎 健也							1:04:31

前回までの大会記録

区間賞	第1区 (3.3km)	第2区 (1.6km)	第3区 (3.0km)	第4区 (1.3km)	第5区 (3.7km)	第6区 (3.6km)
	11 小濱 楓真 大間中学校 0:11:56	13 蛸島 咲 風間浦中学校 0:06:36	11 松本 陽向 大間中学校 0:11:12	11 小林 咲実 大間中学校 0:05:10	11 増田 誠弥 大間中学校 0:13:56	11 三國谷翔斗 大間中学校 0:13:07
前回までの区間記録	0:10:29	0:05:41	0:10:14	0:04:14	0:13:49	0:12:11

第32回はまなす駅伝大会 一般・高校の部

2017/9/24 10:00 スタート

No.	チーム名	第1区 (3.3km)		第2区 (4.6km)		第3区 (1.3km)		第4区 (3.7km)		第5区 (3.6km)		総合順位
		監督	順位	通過記録 区間記録	通過記録 区間記録	通過記録 区間記録	通過記録 区間記録	通過記録 区間記録	通過記録 区間記録	通過記録 区間記録	通過記録 区間記録	
21	わいどの櫛	西嶋 昌明	10	清水 郁弥 0:15:36 0:15:36	伊藤 優 0:38:13 0:22:37	小島 李奈 0:43:50 0:05:37	神戸 健介 1:03:00 0:19:10	赤田 律樹 1:22:19 0:19:19	11	11	11	11
22	チーム快飛	長谷川雄一	11	伊藤 優哉 0:16:09 0:16:09	伊佐 誠孝 0:33:55 0:17:46	和田香奈美 0:40:36 0:06:41	小笠原 翔 1:04:59 0:24:23	澤向 和也 1:20:23 0:15:24	10	10	10	10
23	下北広域消防	古澤 拓也	2	田中 亮太 0:10:49 0:10:49	山本 新 0:26:07 0:15:18 新	西澤 果穂 0:30:15 0:04:08 新	古澤 拓也 0:41:59 0:11:44 新	杉本 辰馬 0:55:02 大会新 0:13:03	1	1	1	1
24	チーム いざわ	坂本 法雄	1	佐々木 柊人 0:10:36 0:10:36	鈴木ひかり 0:34:45 0:24:09	大野 香 0:40:37 0:05:52	大山 智弘 0:57:31 0:16:54	大杉 勇輝 1:09:40 0:12:09	7	7	7	7
25	陸奥はやさきランナース	榎 親輔	4	成田 拓彰 0:11:46 0:11:46	菊池 裕成 0:28:09 0:16:23	伊藤愛里花 0:33:53 0:05:44	中村 大河 0:46:45 0:12:52	榎 親輔 0:59:31 0:12:46	2	2	2	2
26	鍼灸院たまやRC	玉谷 学	3	市澤 涼太 0:11:35 0:11:35	川下 拓也 0:29:34 0:17:59	船木 七重 0:34:45 0:05:11	斉藤 亮 0:50:57 0:16:12	山口 純矢 1:03:59 0:13:02	3	3	3	3
27	函館ハンガオバーナース	山下 弘史	7	山越 友絵 0:13:48 0:13:48	山下 弘史 0:32:39 0:18:51	高橋 美穂 0:38:02 0:05:23	高谷 優人 0:52:03 0:14:01	長谷部 毅 1:06:03 0:14:00	4	4	4	4
28	JPビクトリース	中島 由貴	5	太田 博英 0:12:33 0:12:33	古家憲太郎 0:29:34 0:17:01	新田英里奈 0:37:00 0:07:26	澁谷 龍太 0:52:10 0:15:10	長浜 壮大 1:07:48 0:15:38	6	6	6	6
29	JPパラエティ	中島 由貴	9	成田 隆二 0:15:19 0:15:19	高司健一郎 0:35:49 0:20:30	中島 由貴 0:42:38 0:06:49	田中 康浩 1:00:12 0:17:34	倉林 伸一 1:15:38 0:15:26	8	8	8	8
30	阿部ンジャース	中村 裕紀	6	津田川悟史 0:13:02 0:13:02	中村 裕紀 0:31:21 0:18:19	菊池 瑞穂 0:36:40 0:05:19	小林 知世 0:53:14 0:16:34	阿部 拓人 1:06:44 0:13:30	5	5	5	5
31	津軽海峡海鳴り太鼓	小林 宣慶	8	佐々木翔大 0:13:49 0:13:49	大西 愛幸 0:35:00 0:21:11	鈴木 夏紀 0:40:54 0:05:54	新田 晃樹 1:00:53 0:19:59	泉 優介 1:15:49 0:14:56	9	9	9	9
41	大間病院	藤原 慈明	OP	藤原 慈明 0:10:36 0:10:11	藤原 慈明 0:44:19 0:44:19	四ッ谷千尋 0:44:19 0:04:21	四ッ谷千尋 1:16:52 0:32:33	森川 友樹 1:34:06 0:17:14	OP	OP	OP	OP

前回までの大会記録

区間賞	第1区 (3.3km)	第2区 (4.6km)	第3区 (1.3km)	第4区 (3.7km)	第5区 (3.6km)
	24 佐々木柊人 チーム いざわ 0:10:36 0:10:11	23 山本 新 下北広域消防 0:15:18 新 0:15:32	23 西澤 果穂 下北広域消防 0:04:08 新 0:04:21	23 古澤 拓也 下北広域消防 0:11:44 新 0:12:21	24 大杉 勇輝 チーム いざわ 0:12:09 0:11:08

【はまなす駅伝の評価及び反省】

第32回はまなす駅伝大会に係るアンケートの実施

内 容(意見・要望等)

- ・晴天でなによりであった。
- ・正午前に終了できて良かった。(繰上のため？集計のロスも少なかった。)
- ・「たすきは、いつ渡すんですか？」「たすきが参加袋に入っていないんだけど」と言われたので、チームへの周知ができればなあ。
- ・荷物のビニール袋が、もっと大きければ良いとのことでした。(バッグが入らない人もいた。)
- ・表彰状の用紙を変えてほしい。(鉛筆書きのところを消そうとしたら、印刷部分が消えた。)
- ・小学生の参加チームが少なかったのは残念だ。
- ・記録表の配布は、円滑にしてほしい。
- ・閉会式の際、メダルのわたらない(首にかからない)子どもがいたので、促し方に少し工夫があればと思う。
- ・バスの表示に誤記があったので、確認が必要。

等の意見・要望があったことを踏まえ、次年度に向け対応しなければならない。

⑤公民館講座

- 1 趣 旨 大間町町民憲章の具現化を図る一環として、【公民館の設置及び運営に関する基準(平成15年6月6日 文部科学省告示第112号)】に基づき、公民館活動を推進し、公民館講座を開催するものとする。町民が「学ぶ楽しさ」を持ち、豊かな心とふれあいと生きがいのある生涯学習の実現のため、社会教育諸条件の整備・充実を図るとともに連携・融合に努め、総合的な社会教育を推進することを目的に開催するものとする。
- 2 主 催 大間町教育委員会
- 3 開催日 平成 29 年 9 月 13 日 ～ 10 月 26 日 まで
- 4 講座種目 ① 編み物とパッチワーク 講師 眞柄 生枝 氏 9/13、9/21、10/6、10/26
② 切り絵 講師 土佐 そう子 氏 10/2、10/16、10/23
③ パッチワーク 講師 宮野 良子 氏 9/28、10/5、10/12、10/19

編み物とパッチワーク

開催日 9月13日(水)、9月21日(木)、10月6日(金)、10月26日(木)
午前10時～12時まで

場 所 大間町立公民館

参加費 編み物～1,500円、パッチワーク～1,000円～

講 師 眞柄 生枝 氏

参加者

氏 名

- | | |
|----------|----------|
| ① 佐藤 恵美子 | ⑨ 若山 もと子 |
| ② 山崎 弥洲子 | ⑩ 工藤 美智子 |
| ③ 古川 恵美子 | ⑪ 林 由起子 |
| ④ 新田 正子 | ⑫ 両角 のり子 |
| ⑤ 古川 清子 | ⑬ 奥野 貞子 |
| ⑥ 伝法 冴子 | ⑭ 松本 千世子 |
| ⑦ 菊池 紀子 | ⑮ 鶴ヶ崎 敬子 |
| ⑧ 能戸 しず子 | ⑯ 伊藤 友子 |

切り絵

開催日 10月2日(月)、10月16日(月)、10月23日(月)

場 所 大間町立公民館 午後1時30分～3時30分まで

参加費 切り絵500円～

講 師 土佐 そう子 氏

参加者氏名 ① 竹内 美穂子 ⑨ 小林 美希子
② 佐藤 恵美子 ⑩ 松本 綾子
③ 山崎 弥洲子 ⑪ 目時 栄子
④ 金田一 一子 ⑫ 平田 恵美子
⑤ 阿部 光子 ⑬ 筑田 正子
⑥ 興村 キワ ⑭ 橋本 京子
⑦ 浅見 千恵 ⑮ 蛭子 信子
⑧ 傳法 真美 ⑯ 伊藤 友子

パッチワーク

開催日 9月28日(木)、10月5日(木)、10月12日(木)、10月19日(木)

場 所 大間町立公民館 午後7時00分～9時00分まで

参加費 帽子1,000円

講 師 宮野 良子 氏

参加者氏名 ① 平田 恵美子 ⑨ 伝法 あさ子
② 古川 恵美子 ⑩ 伊藤 栄理子
③ 伊藤 あつ子 ⑪ 氣仙 絵美
④ 佐藤 恵美子 ⑫ 川崎 恵美子
⑤ 両角 のり子 ⑬ 泉谷 榛子
⑥ 傳法 冴子 ⑭ 鶴ヶ崎 敬子
⑦ 江刺家 とも子 ⑮ 伊藤 友子
⑧ 谷川 孝子

平成29年度 公民館講座のおしらせ

大間町教育委員会

今年度の公民館講座は下記のとおり計画されております。
 初心者大歓迎。皆様お誘い合わせのうえ、たくさんの参加をお待ちしております。

	編み物とパッチワーク ・どちらか好きな方をお選びください。 ・編み物・・・ベスト ・パッチワーク・・・お楽しみ♪	切り絵 ・紙粘土で作るハロウィン (置物か壁掛けをお選びできます) ・木の実・ドライフラワーで作るキャンドル	パッチワーク ・帽子 ※バッグの作成もありますが、自費となりますので宜しくお願いします。
日にち	9月29日(火) 10月6日(火) 10月13日(火)	10月2日(月) 10月16日(月) 10月23日(月)	9月28日(木) 10月5日(木) 10月12日(木) 10月19日(木)
時間	午前10時から12時まで	午前10時から12時まで	午前10時から12時まで
場所	大間公民館	大間公民館	大間公民館
参加費	500円	500円	500円
講師	土佐 そう子 氏	賀佐 ゆきえ 氏	むつ フィットネスパーク インストラクター

参加希望者は 教育委員会 矢越(37-2103)までお電話ください。

⑥第42回町民文化祭

- 1 開催日 平成 29 年 10 月 28 日 (土) ～ 10 月 29 日(日) まで
- 2 開催時間 午前 10 時 ～ 午後 4 時
- 3 開催場所 大間町立公民館
- 4 主 催 大間町立公民館
- 5 主 管 大間町民文化祭実行委員会
- 6 後 援 大間町 ・ 大間町教育委員会 ・ 大間町文化協会
北通り総合文化センター ウイング

町民文化祭は、文化の日になんで毎年11月の最初の土・日に大間町音楽祭と同日開催している。教育委員会で実施している「公民館講座」参加者の作品や、書道作品、絵画、写真、手芸作品、俳句、茶道、華道作品や山野草の展示、更には、読書サークルや生活改善グループ・障害者の作品展示等、地域町民が誰でも参加できる縛りのない「大間町の文化の広場」的な役割を果たしている。29年度は、大間地域の「稲荷神社例大祭」に運行する「山車行事」が青森県無形民族文化財の指定を受けたこともあり、山車行事(仁和賀山)の見送り幕と提燈の展示を行い、文化祭に花を添えたこともあり好評に終わった。来館者は241人と昨年度から比べると30名ほど増加し、ここ数年でも増加傾向にあり、文化祭への参加の呼びかけや展示物の検討等行い取り組んでいることが来客数増へと繋がっていると思われることから、引き続き創意工夫しながら取り組んでいかなければならない。



平成29年度

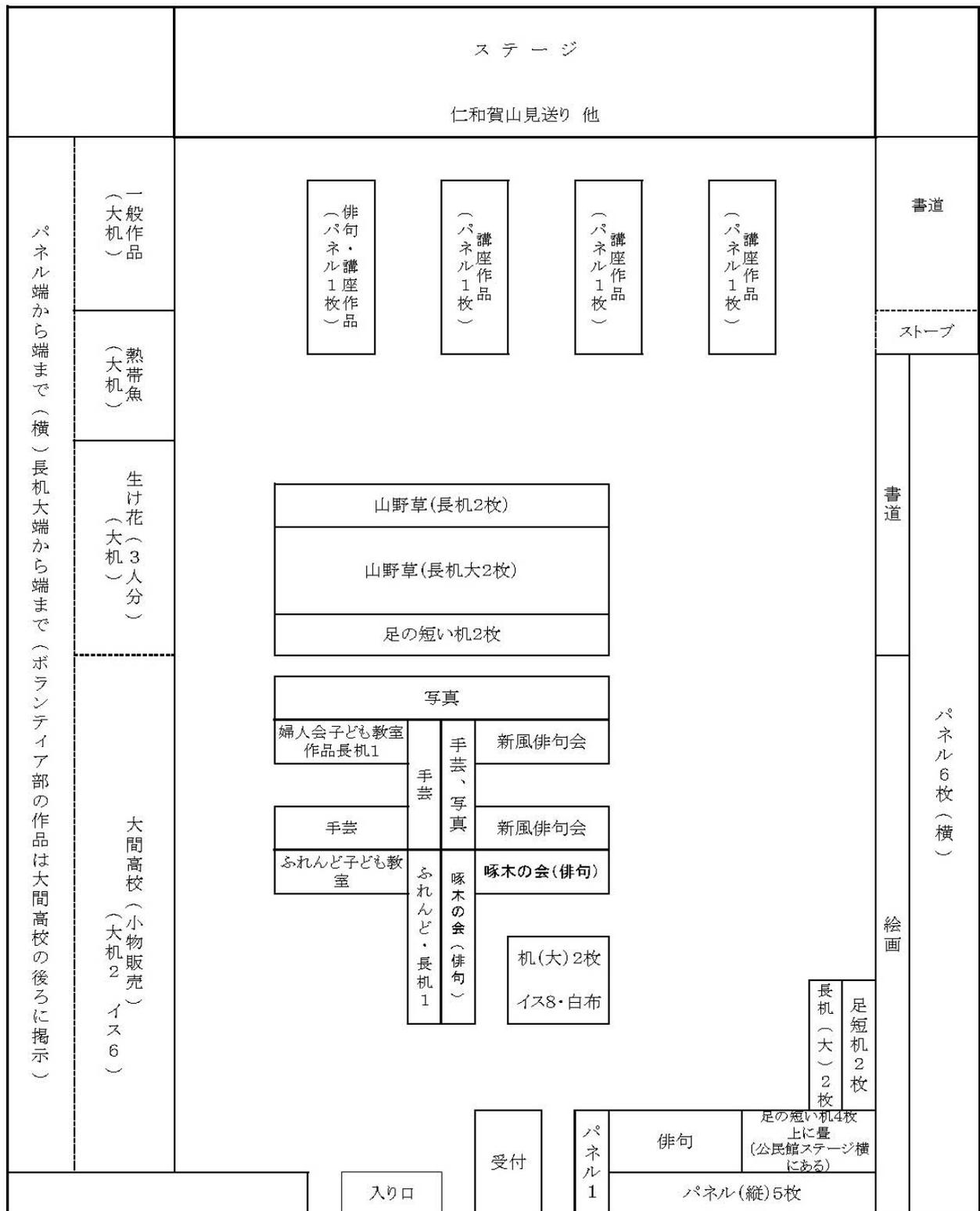
第42回町民文化祭開催要項

1. 主催 大間町立公民館
2. 主管 大間町民文化祭実行委員会
3. 後援 大間町・大間町教育委員会・大間町文化協会
北通り総合文化センター「ウイング」
4. 会場 大間町立公民館
5. 期日 平成29年10月28日(土)～10月29日(日)
午前10時～午後4時まで(開館時間)
※茶道(お茶)は日曜日3時で終了する。
6. テーマ 「みんなで楽しもう豊かな文化」
7. 内容 ①絵画(洋画、日本画、版画・・・100号以内)
②書道(半折以内) ③写真 ④文芸 ⑤手工芸
⑥茶道 ⑦生け花 ⑧文化財 ⑨山野草 ⑩コレクション ⑪その他
8. 出品資格 大間町に在住、又は町内文化団体に所属する者。
9. 作品規定 作品は、未発表のものに限る。
- 【 絵 画 】 ①1点ごとに額縁にいれる。
②額縁の裏面にヒモをつける。
- 【 書 道 】 ①作品は自由とする。
- 【 写 真 】 ①キャビネ以上とする。
②パネル張り、又は額縁にいれ、裏面にヒモをつける。
※大間町の昔の写真の大募集！昔の街並みや、祭りなど。
2階で「大間町今昔写真展」として掲示する予定です。
サイズが小さいものでも引き延ばして飾ることができるので
是非様々な写真の提供ををお願いします。
- 【 文 芸 】 ①作品は自由とする
- 【 手 工 芸 】 ①作品は自由とする
10. 出品料 無 料
11. 搬入搬出 平成29年10月24日(火)を締め切りとし、公民館へ搬入。
搬出は10月29日(日)午後4時以降とする。
12. その他 出品者全員に記念品を贈呈します。(1人1点のみ)

文化に興味のある方、今まで出品したことのない方、お気軽にご参加ください。

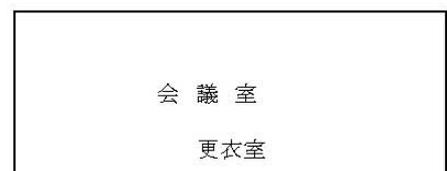
みなさんのたくさんのご参加お待ちしております。

平成29年度 第42回町民文化祭会場 配置図



2階

「大間町今昔写真展」



平成29年度 大間今昔写真展配置図



大間町文化祭実行委員会名簿

	氏名	種目
1	宮野良子	手工芸
2	木村泰佳子	文芸
3	金田一一子	茶道・文芸
4	葛西徳哉	大間高等学校
5	濱端将史	絵画
6	佐藤恵美子	手工芸

29年度大間町文化祭出展者 (敬称省略・順不同)

◇絵画◇

清水 三重子 田中ゆきみ 濱端 将史
新田 賢登 正根 康子 石澤 一昭

◇書道◇

泉 志保子 目時千鶴子 佐賀 遊村
斉藤 美智子 小松 朱美 岡村 智優
伊藤 七海 青山 美月 傳法 凜 古川 遥菜

◇写真◇

海老川 文彦 目時 千鶴子 山崎 康浩

◇文芸◇

☆俳句

木村 泰佳子 佐山 和子 岩川 春江 和田 孝

☆川柳

小浜 睦子

◎新風俳句会

筑田 まさ子 興村 キワ 藤島 津賀子 土佐 白園
舘岡 不二子 永倉 みつ 河村 播種 工藤 竹美
蛭名 雪音 目時 栄子 金田一 一子 小出 登志子

☆認知症家族の会はつらつ会

◇手工芸◇

☆手芸

横浜 俊子 横浜 純子 宮野 良子 山本 ゆかり
能戸 しず子 田中 京子 伊藤 美姫 小浜 美奈子
能戸 正成

◎編み物・パッチワーク・切り絵 (公民館講座)

傳法 真美 松本 綾子 佐藤 恵美子 眞柄 生枝
能戸 しず子 興村 キワ 小林 美希子 筑田 まさ子
新田 正子 林 由起子 傳法 冴子 竹内 美穂子
金田一 一子 阿部 光子 蛭子 信子 山崎 弥洲子
鶴ヶ崎 敬子 伊藤 友子 土佐 白園 浅見 千恵
目時 栄子 平田 恵美子 橋本 京子 古川 恵美子
古川 清子 傳法 冴子 菊池 紀子 若山 もと子
工藤 美智子 両角 のり子 奥野 貞子 松本 千代子
伊藤 あつ子 江刺家 とも子 谷川 孝子
蛭子 礼奈 新田 あや子 伊藤 栄理子
平田 栄理子 伝法 あさ子 氣仙 絵美

◇茶道◇

金田一 一子 阿部 光子 興村 キワ 筑田 まさ子
小出 登志子

◇生け花◇

筑田 まさ子 興村 キワ 佐藤 恵美子 平田 恵美子

◇山野草◇

☆植物愛好会

柳 一利 柳 のぶ

◇放課後子ども教室◇

大間町地域婦人会 ふれんど

◇県立大間高等学校◇

ボランティア活動部

◇仁和賀山◇

⑦第39回大間町音楽祭

- 1 開催日 平成 29 年 10 月 29 日 (日)
- 2 開催時間 午前 9 時 ~
- 3 開催場所 北通り総合文化センター ウイング
- 4 主催 大間町教育委員会
- 5 共催 北通り総合文化センター ウイング
- 6 主管 大間町音楽祭実行委員会
 - ① 大間町教育委員会 伊藤 満治
 - ② ウイング 後藤 小巻 ・ 越膳 香織
林 貴之
 - ③ 大間保育園 間山 牧子
 - ④ 大間幼稚園 南 禎明
 - ⑤ うみの子保育園 伊藤 美花子
 - ⑥ 大間小学校 中居 継美
 - ⑦ 奥戸小学校 木村 由香子
 - ⑧ 大間中学校 石田 映子
 - ⑨ 奥戸中学校 三上 真未
 - ⑩ 大間高等学校 一戸 萌里
 - ⑪ ヤマハ音楽教室 佐藤 さゆり
 - ⑫ 廣谷ピアノ教室 廣谷 華子
 - ⑬ 津軽海峡海鳴り太鼓 畑山 美和子

実行委員会開催 第1回 平成 29 年 9 月 7 日 (木) 午後4時~
第2回 平成 29 年 10 月 12 日 (木) 午後4時~
- 7 後援 大間町文化協会 下北北通り地域振興財団
函館市教育委員会戸井教育事務所
- 8 趣旨 大間町町民憲章に定める「教養と文化の高い清らかな町」づくりをめざし実施する町民文化祭行事の一環として、大間町音楽祭を開催し、音楽に親しみ、音楽の持つ高い香りに触れながら、心の潤いと故郷愛を養っていくことを目的に実施するものである。



海峡に輝け サウンドの虹

in
おおま

第39回
大間町音楽祭

サウンド
フェスタ



ところ 北通り総合文化センター・
ウイング

とき 平成29年10月29日(日)
AM9:00 開演

主催／大間町教育委員会 主管／大間町音楽祭実行委員会

【音楽祭】10/29(日)9:00~

プログラム

1 大間小学校5年生 (津軽海峡海鳴り太鼓演奏)

『祝励』・『てっぺん』・『豊漁もどり舟』

2 実行委員長あいさつ

実行委員長 …………… 興村 慎吾

3 大間町立大間幼稚園

合奏『となりのトトロ』…………… 作詞：宮崎 駿／作曲：久石 讓
合唱『さんぽ』…………… 作詞：中川李枝子／作曲：久石 讓

4 ヤマハ音楽教室

『ノクターン第20番 嬰ハ短調』〔遺作〕 …… 作曲：ショパン

5 廣谷ピアノ教室

『ポルカ』…………… 作曲：ケーラー
『エチュードOp.25-2』…………… 作曲：ショパン

6 大間保育園

『勇気100%』…………… 作詞：松井 五郎／作曲：馬飼野康二
『チャンバラ』『暴れん坊将軍』より…………… 編曲：樋口 勉

7 大間町立奥戸小学校

『ありがとうの花』…………… 作詞／作曲：坂田おさむ／編曲：池 毅
『フレンドシップ』…………… 作詞／作曲：桜田 直子

8 うみの子合唱団

『ありがとうの花』… 作詞／作曲：坂田おさむ／編曲：池 毅

9 大間小学校 音楽部

『いまだよ』…………… 作詞：宮下 奈都／作曲：信長 貴富
『BELIEVE』…………… 作詞：杉本 竜一／作曲：富澤 裕

10 コーラスグループT・O・I

『ユー・レイズ・ミー・アップ』 …………… 作詞：Joseph Graham／作曲：Rolf Lovland

『海の声』 …………… 作詞：篠原 誠／作曲：鳥袋 優

『ふるさと』 …………… 作詞：高野 辰之／作曲：岡野 貞一

11 函館市戸井教育事務所長あいさつ

函館市戸井教育事務所長 …………… 佐藤 善則

12 吹奏楽合同演奏

大間町立大間中学校吹奏楽部

大間町立奥戸中学校吹奏楽部

『エビカニクス』 …………… 作曲：増田 裕子／編曲：郷間 幹男

『北の漁場』 …………… 作曲：桜田 誠一／編曲：山下 国俊

『Paradise Has No Border』 …………… 作曲：NARGO／編曲：宮川 成治

13 東京藝術大学出身演奏家 —シュガーシスターズコンサート—

1. 赤とんぼ …………… 作詞：三木 露風／作曲：山田 耕筰／編曲：神坂真理子

2. ゴンドラの唄 …………… 作詞：吉井 勇／作曲：中山 晋平／編曲：小原 孝

3. シャボン玉 …………… 作詞：野口 雨情／作曲：中山 晋平／編曲：神坂真理子

4. 兎のダンス …………… 作詞：野口 雨情／作曲：中山 晋平／編曲：神坂真理子

5. ピアノソロ

6. いい日旅立ち …………… 作詞・作曲：谷村 新司／編曲：小原 孝

7. 恋のバカンス …………… 作詞：岩谷 時子／作曲：宮川 泰／編曲：小原 孝

8. 見上げてごらん夜の星を

…………… 作詞：永 六輔／作曲：いずみたく／編曲：小原 孝

—アンコール—

Megumi …………… 作詞：佐藤 寛子／作曲：佐藤 容子／編曲：小原 孝

14 エンディングコーラス

『二つの町に』～ The bridge dream you and me ～

…………… 作詞：奥谷 雅喜／作曲：辻浦 雅仁

東京藝術大学出身演奏家



シュガーシスターズプロフィール

ソプラノの佐藤 容子（姉）とメゾソプラノの佐藤 寛子（妹）による姉妹ユニット。
山形県山辺町出身 ともに山形県立山形北高等学校音楽科を経て東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程独唱科修了。それぞれ「日本歌曲」の分野で日本一を受賞し、高い評価を得る。

「美しく響く日本のうた 心のハーモニー」をテーマに、息のあった艶やかなデュエットで歩みを進めている。2014年11月、ファーストアルバムCD「わすれがたき ふるさと」2017年9月キングレコードよりメジャーデビューアルバム「Megumi」リリース

東京フィルハーモニー交響楽団、山形交響楽団などと共演し大成功を収める。TV出演など活躍の場を広げつつある。2月にはミャンマーにて初の海外演奏を行う。

所属事務所：(株)オフィス ルナビエナ

佐藤 容子（ソプラノ）

東京藝術大学大学院博士後期課程修了。團伊玖磨の歌曲研究にて博士号を取得。音楽博士。
第17回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第2位。第75回日本音楽コンクール入選、併せて「木下賞」（日本歌曲最優秀歌唱賞）受賞。

2008年日中首脳晩餐会の席で日本歌曲を披露。2010年「三菱地所賞」受賞。

佐藤 寛子（メゾソプラノ）

第54回日本学生音楽コンクール声楽部門高等学校の部全国大会第1位。第73回全国選抜高校野球開会式で「君が代」独唱。

2009年第20回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第1位、併せて「中田喜直賞」受賞。

細貝 柊プロフィール

埼玉県出身。国立音楽大学附属高等学校ピアノ科卒業。国立音楽大学音楽学部演奏学科鍵盤楽器専修卒業。

2013年11月、川崎市高津区溝の口、ノクティエでの小原孝コンサートで連弾初出演。

月刊ピアノ2013年11月号「卵たちの毎日」に紹介される。

2015年「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン『熱狂の日』音楽祭2015」に小原孝と2台ピアノ出演。

2017年1月に西条市総合文化会館 開館20周年記念「秋川雅史と東京オーケストラMIRAI」ピアノコンチェルトで共演。

作曲・アレンジも手がける。ピアノを小原孝、堀江志磨、五十嵐稔の各氏に師事。



🎵🎵🎵 シュガーシスターズプログラム 🎵🎵🎵

1. 赤とんぼ

作詞：三木 露風／作曲：山田 耕筰／編曲：神坂真理子

2. ゴンドラの唄

作詞：吉井 勇／作曲：中山 晋平／編曲：小原 孝

3. シャボン玉

作詞：野口 雨情／作曲：中山 晋平／編曲：神坂真理子

4. 兎のダンス

作詞：野口 雨情／作曲：中山 晋平／編曲：神坂真理子

5. ピアノソロ

6. いい日旅立ち

作詞・作曲：谷村 新司／編曲：小原 孝

7. 恋のバカンス

作詞：岩谷 時子／作曲：宮川 泰／編曲：小原 孝

8. 見上げてごらん夜の星を

作詞：永 六輔／作曲：いずみたく／編曲：小原 孝

—アンコール—

Megumi

作詞：佐藤 寛子／作曲：佐藤 容子／編曲：小原 孝

二つの町に

= The bridge for dream, you and me =

1. 風薫る二つの町に

今潮騒の鼓動が響く
大きく広がる友好の集い
ためらうことなく 固い握手
あなたも わたしも
眩しさへの旅へでよう
あなたも わたしも
さあ 肩をくんで



3. 星さやか二つの町に

今いさり火の揺れる波
果てしなくこだまする夢のかけ橋
ためらうことなく瞳輝き
あなたも わたしも
銀河の旅へでよう
あなたも わたしも
さあ 素敵な笑顔で
あなたも わたしも
眩しさへの旅へでよう
あなたも わたしも
さあ 肩をくんで

2. 海光る二つの町に

今春潮の満ちるささやき
やわらかく結ばれる心と心
ためらうことなく確かな語らい
あなたも わたしも
花模様の旅へでよう
あなたも わたしも
さあ もろ手をあげて

The bridge for dream
You and me
The bridge for dream
You and me
The bridge for dream
You and me
さあ 肩をくんで

作詞 奥谷雅喜
作曲 辻浦雅仁

9 音楽祭アンケートの実施

音楽祭終了後に、実行委員会及び参加者に対して「アンケート調査」を実施した。開催日の設定から藝大コンサートまで全体にかかる意見・要望等を挙げて貰った。要望・意見の多くは進行上の改善点であった。また、藝大出身者のコンサートについて他の音楽家もきいてみたいなどの意見もあり、次年度以降の検討材料としたい。

⑧第32回大間町少年柔道大会

第32回大間町少年柔道大会実施要項

- 1, 趣 旨 柔道を通じて礼節を知り、心身ともに健全な人格の育成を目指す。
 2, 主 催 大間町教育委員会
 3, 後 援 大間町体育協会 大間地区連合防犯協会 誠心館道場育成会
 大間町青少年健全育成会議 下北地方中学校体育連盟
 4, 主 管 大間町柔道協会
 5, 期 日 平成29年12月3日(日)

- 開 門 午前7時00分～
 受 付・計 量 午前7時30分～8時20分
 監督・審判会議 午前8時25分～8時45分
 (小学校団体戦組合せ抽選含む)
 開 会 式 午前8時45分～9時00分
 競 技 開 始 午前9時30分～(昼休憩なし)
 閉 会 式 午後4時(競技終了後)

- 6, 会 場 大間町立大間中学校体育館
 (住所: 下北郡大間町大字大間字大間平31-1 電: 37-3109)

- 7, 参加資格 参加選手及び監督は全日本柔道連盟に登録済であること
 但し小学生は全日本柔道少年団加盟団体であること
 *参加選手は全員損害保険に加入していること

8, 競 技

①団体戦

- (1) 小学校の部 1チーム5人 2チームまでとする
 (2) 中学校の部 男子1チーム5人、女子1チーム3人 男女各2チームまでとする
 ※小学生団体は、学年別順に先鋒2年生→大将6年生とする。
 ※選手編成は、もともと体重の多い者を大将とし、以下順次体重順に編成すること。
 ※3年生も団体戦出場可とする。

②個人戦

- (1) 幼児の部: 男女一緒の競技となります。
 (2) 小学校の部: 学年・男女別とし、人数制限はありません。

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	階級数
男子	1	2	3	4	5	6	6
女子	1・2		3・4		5・6		3

※人数により主催者側で階級を変更する場合があります。

(3)中学校の部

区分	階 級					階級数
男子	50kg 以下	60kg 以下	73 kg 以下	81kg 以下	81kg 超級	5
女子	57kg 以下			57kg 超級		2

※人数により主催者側で階級を変更する場合があります。

- 9, 試合方法 (1)団体戦 ～ トーナメント方式
 (2)個人戦 ～ トーナメント方式
 ※参加数によりリーグ戦に変更する場合があります。
 10, 試合時間 (1)小学生以下は、個人戦・団体戦とも2分間とする。
 (2)中学生は、準々決勝まで2分間とし、準決勝から3分間とする。

- 11, 審判規定 (1)国際柔道審判規定及び同少年規定による。
 (2)優勢勝ちの判定基準は次のとおりとする。
 ①団体試合の個々の試合は「技あり」又は「僅差(指導)の差2」以上とする。
 優劣の成り立ちは、次のとおりとし、それに満たない場合は「引き分け」とする。

「一本」＝「反則勝ち」＞「技あり」＞「僅差」＞GS
チームの内容が同じ場合は任意の選手で代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、小学生は旗判定、中学生は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
②個人試合は「技あり」又は「指導2」以上とし、得点差がない場合は、小学生以下は旗判定、中学生は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。

- 12, 表 彰
- (1)団体戦・個人戦とも第1位から第3位まで表彰する。
 - (2)団体戦1位には優勝カップを授与する。
 - (3)個人戦小学校男子6年1位（泉浩杯）には優勝カップを授与する。
泉浩杯は、自分を育ててくれた大間町に感謝し、本大会からオリンピック選手が生まれることを期待し贈呈されたものです。
※ただし、カップは持ち回りです。

泉浩氏のプロフィール

1982年6月22日大間町出身、35歳
大間小→弦巻中→世田谷学園高等学校
→明治大学→旭化成株式会社
現役時代は90kg級の日本の第一人者として活躍

小学校2年生の時、大間誠心館道場に入門。小学校卒業と同時に東京の講道学舎に入寮
世田谷学園高等学校3年生にキャプテンに就任し、2000年高校3年生インターハイ90kg級優勝。

2001年明治大学に入学し2004年アテネ五輪で銀メダル獲得。

2005年旭化成に入社しその年のカイロ世界選手権で金メダルを獲得。

2008年の北京五輪では2回戦敗退。

2009年6月の実業団体出場後、7月に総合格闘技界に転身し6戦4勝2敗。

2011年7月引退。

2014年12月全日本柔道連盟に競技者登録

大 会 役 員

名誉大会長	金 澤 満 春 (大間町長)												
大会長	佐 藤 桂 一 (大間町教育委員会教育長)												
副大会長	高 松 大 助 (大間町柔道協会長)												
顧問	岩 本 浩 也 (下北地方中学校体育連盟会長)												
	俣 田 登 (大間中学校長)												
	飯 田 一 彦 (奥戸中学校長)												
	山 口 順 子 (大間小学校長)												
	濱 田 俊 一 (奥戸小学校長)												
	山 崎 康 浩 (大間高等学校長)												
参 与	石 戸 秀 雄 (大間町議会議長)												
	千代谷 誠 (大間町議会総務教育常任委員長)												
	宮 野 成 厚 (大間町教育委員会教育委員)												
	佐 藤 恵美子 (大間町教育委員会教育委員)												
	小 向 英 徳 (大間町教育委員会教育委員)												
	大 見 俊 久 (大間町青少年健全育成会議会長)												
総 務	細 川 大 広 佐々木 倫 哉 川 崎 恵美子 浅 見 法												
	伊 藤 満 治 新 田 隼 人 伊 藤 耕 陽 伊 藤 友 子												
	藤 枝 誠												
全体進行	目 時 浩 美 伊 藤 満 治 伊 藤 麻衣子												
審 判 長	岩 本 浩 也												
審 判 員	立 崎 賢 一 並 岡 和 幸 中 村 努 市ノ渡 秀 一												
	坪 浩 美 泉 山 文 俊 天 間 明 彦 横 濱 信 弥												
	山 田 智 仁 田 栗 宏 幸 田 栗 昌 弘 飛 内 村 暢 光												
	白 石 誠 恭 奈 良 英 正 菊 池 隆 幸 飛 田 内 村 暢 夫												
	小 橋 光 廣 成 田 達 也 泉 山 翔 吾 蛭 田 名 島 賢 和 憲 人												
	工 藤 涉 太 田 一 世 平 川 真 吾 七 島 賢 和 憲 人												
	氣 仙 泰 介 (以上順不同)												
計時・記録	畠 山 章 矢 越 文 男 熊 谷 直 喜 増 山 涉												
	小 林 宣 慶 村 川 遼 法 新 田 晃 樹 古 川 一 雅												
	山 本 賢 伸 浅 見 法 新 田 隼 人 伊 藤 耕 陽												
	藤 枝 誠 大間高等学校生徒 大間中学校生徒 大間誠心館道場育成会												
写真	鈴 木 夏 紀												
受 付	細 川 大 広 伊 藤 友 子 藤 枝 誠												
接 待	御 厩 敷 義 子 伊 藤 友 子 荏 和 野 さゆり 筑 田 綺 子												
	大間誠心館道場育成会												
計 量	畠 山 章 伊 藤 耕 陽 新 田 隼 人												
救 護	佐 藤 敬 子												

※実行委員会開催

第1回 平成29年10月 5日(木) 午後6時30分～

第2回 平成29年11月22日(木) 午後6時30分～



第32回
大間町少年柔道大会

期日:平成29年12月3日(日) 場所:大間中学校体育館

開会式:8時45分

主催:大間町教育委員会 / 主管:大間町柔道協会

後援:大間町体育協会 大間地区連合防犯協会 大間誠心館道場育成会 大間町青少年健全育成会議 下北地方中学校体育連盟

第32回大間町少年柔道大会成績結果表

1. 団体戦

[小学校の部]

優勝	野辺地柔道少年団 A
準優勝	むつ少年柔道教室
第三位	平内分団 B
第三位	平内分団 A

[中学校男子の部]

優勝	鶴田中学校
準優勝	野辺地中学校 A
第三位	大間中・奥戸中連合チーム
第三位	田名部中学校 A

[中学校女子の部]

優勝	三沢市立第一中学校
準優勝	七戸中・三沢二中連合
第三位	鶴田中学校
第三位	大間中学校

2. 個人戦

[幼児の部]

優勝	太田丈太郎 (平内)
準優勝	大関元裕 (三沢)
第三位	西山心絆 (野辺地)
第三位	鳥谷部琉依 (平内)

[小学校男子1年生の部]

優勝	竹内晟太郎 (大間)
準優勝	野辺地宇綺 (むつ)
第三位	杉山琥珀 (むつ)
第三位	今駿介 (金木)

[小学校男子2年生の部]

優勝	磯川悠治 (大間)
準優勝	酒田慶次郎 (大間)
第三位	岩倉颯祐 (藤崎)
第三位	秋山耀大 (野辺地)

[小学校男子3年生の部]

優勝	沼尾駿飛 (野辺地)
準優勝	竹内十兵衛 (大間)
第三位	益田吾蓮 (大間)
第三位	伊藤豪 (大間)

[小学校男子4年生の部]

優勝	中嶋道太 (むつ)
準優勝	豊嶋大翔 (木造)
第三位	飛内悠希 (むつ)
第三位	福田大和 (平内)

[小学校男子5年生の部]

優勝	野辺地宇宙 (むつ)
準優勝	高谷駿 (藤崎)
第三位	木村海斗 (金木)
第三位	高橋一徹 (藤崎)

[小学校男子6年生の部]

優勝 深淵龍吾 (平内)
準優勝 坂本健輔 (小中野)
第三位 沖崎真斗 (平内)
第三位 山田直季 (野辺地)

[小学校女子1・2年生の部]

優勝 金本啓花 (金木)
準優勝 金本悠花 (金木)
第三位 工藤穂乃 (木造)
第三位 高谷 凜 (藤崎)

[小学校女子3・4年生の部]

優勝 深淵沙朱 (平内)
準優勝 須藤日那 (平内)
第三位 太田悠月 (平内)
第三位 立花美優 (七戸)

[小学校女子5・6年生の部]

優勝 大石萌香 (三沢)
準優勝 竹達さくら (平内)
第三位 田中美海 (大間)
第三位 鳥山 楓 (八戸)

[中学校男子50kg以下級]

優勝 立崎龍之介 (三本木中)
準優勝 蝦名孝太 (小湊中)
第三位 永田大和 (鶴田中)
第三位 蝦名大河 (白山台中)

[中学校男子60kg以下級]

優勝 村山陽祐 (野辺地中)
準優勝 蝦名快晟 (鶴田中)
第三位 渡部哲司 (野辺地中)
第三位 齋藤雄一郎 (野辺地中)

[中学校男子73kg以下級]

優勝 船橋誠也 (小湊中)
準優勝 濱野瑛士 (野辺地中)
第三位 四ツ橋蓮飛 (小中野中)
第三位 千葉 陽 (根城中)

[中学校男子81kg以下級]

優勝 大澤嵩貴 (田名部中)
準優勝 大川響生 (鶴田中)
第三位 今田旺希 (小湊中)
第三位 吉田幸生 (三沢第五中)

[中学校男子81kg超級]

優勝 沼端 麗 (野辺地中)
準優勝 外澤俊輝 (三沢第五中)
第三位 土橋翔輝 (田名部中)
第三位 関橋海斗 (湊中)

[中学校女子57kg超級]

優勝 中村菜美 (三沢第一中)
準優勝 神 美香 (鶴田中)
第三位 野村佑菜 (三沢第一中)
第三位 ()

[中学校女子57kg以下級]

優勝 押切ひなみ (三沢第一中)
準優勝 高橋杏璃 (鶴田中)
第三位 伊藤陽愛 (大間中)
第三位 佐々木心 (三沢第一中)

⑨第46回新春書初め席書大会

- 1 趣 旨 日本伝統美である「書道」を楽しみながら学び、生活の中に取り入れ、書くことを通して「書道」の技と美に対する関心を高める。
- 2 主 催 大間町立公民館
- 3 開催日 平成 30 年 1 月 5 日 (金)
- 4 開催時間 午前 9 時 ~ 11 時
- 5 開催場所 ・町立大間中学校体育館 ・町立奥戸中学校体育館
- 6 後 援 ① 大間幼稚園 ② 大間保育園 ③ うみの子保育園
④ 大間小学校 ⑤ 奥戸小学校 ⑥ 大間中学校 ⑦ 奥戸中学校
⑧ 大間高等学校 ⑨ 大間書道塾 ⑩ 玄遊会書道教室
⑪ 目時習字教室
- 7 作品規定 ① 用紙は、横24cm、縦100cm 当日会場で一人5枚配布。
(幼児の部は、横24cm、縦50cm)
② 書体は、幼児、小学生、中学校1年生までは、「かい書」
中学校2年生以上は、「かい書」又は「行書」
- 8 参加料 無 料
- 9 審査表彰 作品は審査のうえ展示し、優秀作品は表彰
・特別賞 (全体から)
・特選、準特選、佳作 (学年毎)
- 審査委員長 坂本 富次 審査員 川森 和郎
- 10 展 示 会場 大間町立公民館 1階
期間 平成30年1月6日(土) ~ 7日(日)
時間 午前9時 ~ 午後4時
- 11 課 題 幼児 うみ 小学校 5年 沖の小島 高校生・一般
小学校 1年 さんま 小学校 6年 土用大波 詩句・書体共自由
小学校 2年 きたかぜ 中学校 1年 山海珍味
小学校 3年 あみの目 中学校 2年 新鮮活魚
小学校 4年 美しい海 中学校 3年 魚影探知
- 12 実行委員会の開催 平成 29 年 11 月 30 日 (木) 午後 4時から

13 書初め席書大会審査結果

特別賞

山崎 百代 (大間中2年)

特選

斉藤 璃子 (大間保育園)

新田 愛叶 (大間小3年)

細間 心寧 (大間小6年)

熊谷 静奈 (大間中3年)

伊藤瑛李香 (奥戸小2年)

泉 友璃咲 (大間小4年)

竹重 志芳 (大間中2年)

古川 遥菜 (大間高1年)

準特選

三重 結愛 (大間幼稚園)

蝦名 葵 (大間小1年)

松村 朱里 (大間小2年)

泉 恵璃咲 (大間小4年)

倉本 優奈 (大間小5年)

石戸 碧那 (大間小6年)

伊藤 美咲 (大間中2年)

林 日向葵 (奥戸中3年)

伊藤 想芽 (大間小1年)

竹内 希実 (大間小2年)

熊谷 花 (大間小3年)

蝦名 航樹 (大間小5年)

山崎 葵 (大間小6年)

新田 未来 (奥戸中1年)

石戸 琢磨 (大間中2年)

岡村 智優 (大間高2年)

佳作

山本 楓徠 (大間幼稚園)

伊藤 大地 (うみの子保育園)

柴田 瑠斗 (奥戸小2年)

佐藤 香月 (奥戸小3年)

小松 結衣 (大間小3年)

竹内 柊人 (大間小4年)

蝦名もみじ (大間小4年)

新田くらら (大間小5年)

松山芹梨那 (奥戸小6年)

柴田 春我 (奥戸中1年)

菊池 岳斗 (奥戸中3年)

小林 拓真 (奥戸中3年)

畑山優羽来 (うみの子保育園)

田中 莉麻 (大間小2年)

野村 愛美 (奥戸小2年)

山崎 匡史 (大間小3年)

伊藤 紫音 (大間小3年)

伊藤 愛絆 (大間小4年)

傳法 絢心 (大間小5年)

浅見 日向 (大間小5年)

小鷹 未優 (大間中2年)

小林 圭太 (奥戸中2年)

小林 悠斗 (奥戸中3年)

伊藤 七海 (大間高1年)

審査総評

- 幼児 ・形を整えて書こうと努力している子が多かった。
- 小学生1年 ・のびのびと大きく書けていた。
- 小学校2年 ・紙の大きさに合わせてちゃんと配字されており、平仮名の形がしっかりしていた。
- 小学校3、4年 ・漢字の形のとり方が難しい中、入筆、終筆がしっかりしていた。
- 小学校5年 ・基本がしっかりしており、難しい「鳥」の字も形良く書けていた。
- 小学校6年 ・左はらい、右はらいがしっかり書けており、どの子も形よく整えていた。
- 中学校1年 ・紙に合った筆を使用すべき。上手なのにもったいない。
- 中学校2、3年 ・難しい行書をしっかりあげていた。
・形、大きさ、配字がよくまとまっていた。
- 高校・一般 ・難しい書体もきれいにまとめられていた。

坂本 富次
石田 多佳子

【評価及び反省】

第46回大間町新春書初め席書大会の反省

書初め席書大会の開催について、概ね前年度並みの参加を以って開催された。作品の課題については、本年度見直しを図った。

参加者についても、継続的参加されているメンバーは全般に書道塾へ通っている者が多く、奥戸中学校については、全校生徒が参加しているものの、書初め用の筆を使用していないことから、どうしても迫力が掛ける作品になっている。毎年出品しているので、より良い作品になるような打開策を学校側と協議し対応しなければならない。また、高校生・一般の参加を検討し、多くの参加を以って、本事業の拡大及び継続に取り組む必要がある。

⑩第54回大間町少年剣道大会

- 1 趣 旨 少年剣士が一同に会し、多くの少年と剣を交えることにより相互の技術の向上はもとより、良き交流の場とすることを目的とする。
- 2 主 催 大間町教育委員会
- 3 開催日 平成 30年 1月 21日(日)
- 4 開催時間
- | | |
|----------|-----------------------|
| ・開 場 | 午前 7 時 ~ |
| ・受 付 | 7 時 20 分 ~ 8 時 00 分 |
| ・審判・監督会議 | 8 時 00 分 ~ 8 時 20 分 |
| ・選手集合 | 8 時 10 分 ~ 8 時 20 分 |
| ・開会式 | 8 時 30 分 ~ 9 時 00 分 |
| ・競技開始 | 9 時 00 分 ~ 15 時 00 分 |
| ・閉会式 | 15 時 30 分 ~ 16 時 00 分 |
- 5 開催場所 町立大間中学校体育館
- 6 後 援
- | | | |
|--------------|----------------|----------------|
| ・ 大間地区連合防犯協会 | ・ むつ下北地区剣道協会 | ・ 下北地方中学校体育連盟 |
| ・ 大間町体育協会 | ・ 大間町青少年健全育成会議 | ・ 大間少年剣道クラブ育成会 |
| ・ 奥戸剣道育成会 | ・ 大間町剣友会 | ・ 東奥日報社 |
| ・ デーリー東北新聞社 | ・ 青森テレビ | ・ 青森放送 |
| ・ NHK青森放送局 | ・ 青森朝日放送 | |
- 7 参加料
- ① 団体戦 1チームにつき 5,000 円
(ただし、小学生女子・中学生女子は 3,000円)
- ② 個人戦 1人につき、 300 円
- ※ 参加料については、申込と同時に納入すること。棄権の場合でも返納不可。
- 8 参加形態
- 【団体戦】**
- ◎小学校男子の部 選手5名と補欠1名(各団体ともチーム数は制限しない)
※男女混合でもよい。
- ◎小学校女子の部 選手3名と補欠1名(各団体ともチーム数は制限しない)
- ◎中学校男子の部 選手5名と補欠1名
(各団体ともチーム数は制限しない。中学3年生を除く。)※男女混合不可
- ◎中学校女子の部 選手3名と補欠1名
(各団体ともチーム数は制限しない。中学3年生を除く。)
- ※出場チームは、各道場、学校、クラブ等の単位団体とする。
- 【個人戦】** 中学生、男女ともに学年を問わず10名までとする。
- ◎小学校男子 低学年の部(4年生以下)、高学年の部(5・6年生)
- ◎小学校女子 低学年の部(4年生以下)、高学年の部(5・6年生)
- ◎中学校男子 男子の部(1・2年生)
- ◎中学校女子 女子の部(1・2年生)

9 試合方法

- ① 試合は、全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」を準用する。
- ② 個人戦、団体戦の順に行う。
- ③ 試合方法はトーナメント方式とし、組み合わせは事務局の責任において行う。
(参加数が少ない場合はリーグ戦となる。)
- ④ 試合時間 個人戦・団体戦とも小学校は2分、準決勝から3分とする。中学校はすべて3分で行う。
個人戦 延長は勝負がつくまで2分きざみで行う。
団体戦 勝負の決しないときは引き分けとする。
※ 勝負数・勝本数とも同数の場合は、代表者1本勝負とする。
- ⑤ 選手は、「たれ」の中央に団体名、氏名を記した名札をつけること。
- ⑥ 紅白の目印を、各自持参すること。

- | | | |
|-------|-----------|------------------|
| 10 表彰 | ① 各団体戦第1位 | 優勝旗(持ち回り)、賞状、メダル |
| | ② 各団体戦第2位 | 賞状、メダル |
| | ③ 各団体戦第3位 | 賞状、メダル |
| | ④ 個人戦 | 第1位～3位 賞状、メダル |
| | ⑤ 参加賞 | 全員に授与 |

11 申込期限 平成29年12月18日(月)

- 12 その他
- ① 前大会優勝チームは優勝旗を持参すること。
 - ・ 小学校男子 尚道館山野辺道場A
 - ・ 小学校女子 石川少年剣道クラブ
 - ・ 中学校男子 尚道館山野辺道場
 - ・ 中学校女子 堀口中学校A
 - ② 参加者は、原則としてスポーツ傷害保険に加入のこと。
 - ③ 団体戦の場合、5名に満たない場合は以下の要領とする。
 - ・ 4人で出場の場合 → 次鋒を欠員とする。
 - ・ 3人で出場の場合 → 次鋒、副将を欠員とする。
 - ・ 小学校女子、中学校女子団体において2人で出場の場合 → 中堅を欠員とする。

13 実行委員会開催

- | | | |
|-----|---|----------|
| 第1回 | 平成 29年 11月 24日 (金) | 午後6時30分～ |
| 案件 | ・ 第54回大間町少年剣道大会要項審議
・ 案内送付先について
・ 準備・役割について
・ 錬成会要項審議
・ そばの申込等について
・ その他 | |
| 第2回 | 平成 30年 1月 15日 (月) | 午後6時30分～ |
| 案件 | ・ 確認事項について
・ 役割分担について
・ その他 | |

実行委員名簿

	氏名	所属	役職	連絡先TEL
1	佐々木 倫 哉	大間町立大間中学校	教 頭	37-3109
2	佐 藤 嘉 樹	大間町立大間中学校	剣道部顧問	37-3109
3	能 戸 修 一	大間町立大間小学校	剣道部顧問	37-2107
4	柏 谷 翼	大間町立奥戸小学校	剣道部顧問	37-2108
5	二 階 幸 喜	大間町立奥戸中学校	剣道部顧問	37-3106
6	湊 谷 義 人	大間少年剣道クラブ育成会	会 長	
7	菊 池 佑 輔	奥戸剣道育成会	会 長	37-2105大間病院
8	傳 法 真 弓	大間少年剣道クラブ育成会	副会長	
9	高 橋 美恵子	大間少年剣道クラブ育成会	副会長	
10	宮 野 真	奥戸剣道育成会	副会長	
11	平 田 和 幸	奥戸剣道育成会	副会長	
12	増 山 涉	大間剣友会	会 長	
13	菊 池 武 利	大間町体育協会	会 長	
14	細 川 大 広	教育委員会	課 長	
15	浅 見 法	教育委員会	主 幹	
16	伊 藤 耕 陽	教育委員会	主 事	

組み合わせ会議メンバー

	氏名	所属	役職	連絡先TEL
1	佐 藤 嘉 樹	大間町立大間中学校	剣道部顧問	37-3109
2	能 戸 修 一	大間町立大間小学校	剣道部顧問	37-2107
3	柏 谷 翼	大間町立奥戸小学校	剣道部顧問	37-2108
4	二 階 幸 喜	大間町立奥戸中学校	剣道部顧問	37-3106

第54回大間町少年剣道大会 成績一覧

団体戦		開催日	平成30年1月21日	
		開催場所	大間町立大間中学校体育館	
	優勝	準優勝	第三位	第三位
小学校男子団体戦の部	尚道館山野辺道場A	大間小学校A	一刀塾	奥戸小学校
小学校女子団体戦の部	志道館	石川少年剣道クラブ	大畑錬成会	
中学校男子団体戦の部	尚道館山野辺道場	一刀塾	大間中学校A	田名部中学校
中学校女子団体戦の部	大間町スポーツ少年団	尚道館山野辺道場A	尚道館山野辺道場B	

個人戦

	優勝	準優勝	第三位	第三位
小学校男子個人戦低学年の部	尚道館山野辺道場	大間小学校	大湊誠武会	奥戸小学校
	夏目麻虹陽	渡邊雅也	阪中 佑	菊池瑠夕歩
小学校男子個人戦高学年の部	大間小学校	尚道館山野辺道場	尚道館山野辺道場	奥戸小学校
	御厩敷琉生	山田昂毅	松名瀬天翔	清水瑛斗
小学校女子個人戦低学年の部	尚道館山野辺道場	大間小学校	志道館	大間小学校
	松名瀬天絆	廣谷彩心	石田佳乃子	小林唯七
小学校女子個人戦高学年の部	南部少年剣士隊	大間小学校	大湊誠武会	大湊誠武会
	山田那々良	廣谷美桜	藤田奈子	佐藤愛衣
中学校男子個人戦の部	尚道館山野辺道場	一刀塾	一刀塾	大間中学校
	神 光希	石鉢健太郎	向平悠悟	泉 大河
中学校女子個人戦の部	石川少年剣道クラブ	尚道館山野辺道場	大間町スポーツ少年団	石川少年剣道クラブ
	木村真維	角谷秋穂	湊谷 心	棟方瑠亜

第54回大間町少年剣道大会 プログラム表紙



第54回
大間町少年剣道大会

平成30年1月21日 8:30 開会式

大間町立大間中学校体育館

主催／大間町教育委員会、後援／大間地区連合防犯協会、むつ下北地区剣道協会、下北地方中学校体育連盟、大間町体育協会
大間町青少年健全育成会議、大間少年剣道クラブ育成会、奥戸剣道育成会、大間町剣友会、東奥日報社
デーリー東北新聞社、青森テレビ、青森放送、NHK青森放送局、青森朝日放送

参加チーム及び監督名

(小学校の部) ()内は参加チーム数

1. 大間小学校 (男4)	能戸 修一・氣仙 泰介	21名
2. 奥戸小学校 (男1)	柏谷 翼	5名
3. 大間町スポーツ少年団 (女1)	柏谷 翼	3名
4. あかまつ剣士隊 (男3)	秋元 新也・金枝 学・安藤 出	16名
5. 大畑錬成会 (女1)	駒木根 学	5名
6. 大湊誠武会 (男2)	石澤 真吾	11名
7. むつ北心館 (男1・女1)	秋元 新一・山田 真矢	9名
8. 南部少年剣士隊 (男1)	山田 慎太郎	5名
9. 一刀塾 (男1)	小橋 裕貴	4名
10. 三沢少年剣道隊 (男2・女1)	武久 公哉・武久 悟	12名
11. 志道館 (男2・女1)	畑中 健一・松村 明昇・永瀬 智	13名
12. 田舎館剣友会 (男2)	千葉 洋平・赤平 一雄	11名
13. 秀峰館 (男2)	村田 賢一・神 慎太郎	11名
14. 石川少年剣道クラブ (男1・女1)	堀内 聡	8名
15. 尚道館山野辺道場 (男2)	立田 勇将	11名
16. 青森紘武館 (男1)	間山 大介	5名

(中学校の部)

17. 大間中学校 (男2)	佐藤 嘉樹・倉本 潤	10名
18. 大間町スポーツ少年団 (女1)	蛭子 礼奈	4名
19. 大畑中学校 (男2)	平沢 和哉・稲葉 明日美	12名
20. 大平中学校 (男1)	野牛 滋美	8名
21. 田名部中学校 (男1・女1)	増山 雄宇・沖田 勇樹	10名
22. 一刀塾 (男1)	秋元 春樹	5名
23. 東北中学校 (男1)	竹内 久美子	6名
24. 志道館 (男1)	大木 春男	7名
25. 秀峰館	村田 賢一・神 慎太郎	2名
26. 石川少年剣道クラブ (男1・女1)	堀内 聡	9名
27. 田舎館中学校 (女1)	田澤 清光	5名
28. 尚道館山野辺道場 (男1・女2)	立田 勇将	11名

合 計	28団体	48チーム	236名
-----	------	-------	------

大会役員名

名誉大会長	大間町長	金澤	満春
大会長	大間町教育長	佐藤	桂一
副大会長	大間警察署長	白濱	守雄
顧問	大間町議会議長	石戸	秀誠
	大間町議会総務教育常任委員会委員長	千代谷	大助
	大間町教育長職務代理者	高松	大成
	大間町教育委員	宮野	厚美子
	//	佐藤	英徳
	//	小向	征典
	むつ下北地区剣道協会長	中村	重新
	むつ下北地区剣道協会副会長	北上	新一
	//	秋元	涉利
	大間町剣友会長	増山	武尚
	大間町体育協会長	菊池	文弘
	大間町スポーツ少年団本部長	野崎	章造
	大間地区総代	竹内	明浩
	奥戸地区総代	柳谷	子一
	材木地区総代	佐々木	登彦
	大間高等学校長	山崎	龍泉
	大間小学校長	山口	由久
	奥戸小学校長	濱田	隆光
	大間中学校長	俣田	重忠
	奥戸中学校長	飯田	亮介
	大間幼稚園長	古畑	一男
	大間町連合PTA会長	手塚	務功
	大間町青少年健全育成会議会長	大見	廣幸
	大間少年剣道クラブ育成会歴代会長	高松	千力
	//	木村	誠治
	//	廣谷	美奈
	//	古川	三郎
	//	竹内	吾一
	//	伊藤	政弘
	//	小濱	博之
	//	山崎	明男
	//	小濱	保男
	//	米澤	亜喜男
	//	荒谷	
	//	傳法	
	奥戸少年剣道育成会歴代会長	荒谷	
	//	能戸	
	//	碓谷	
	//	木村	
	//	高橋	
	元大間町教育委員会教育長	高橋	
	//	米澤	
	前大間町教育委員会教育長	米澤	
		蛇子	
		川端	

審判長 佐藤 高正

審判主任 第1…秋元 新也 第2…對馬 勝治 第3…大山 宏樹
第4…二階 幸喜 第5…廣谷 大介 第6…野口 幸二

審判員 足澤 一成 下山 房雄 安田 俊彦 石澤 真吾 駒木根 学
増山 雄宇 村田 賢一 神 慎太郎 佐藤 寿之 秋元 春樹
大木 春男 永瀬 智 畑中 健一 堀内 聡 武久 悟
牛島文珠乃 小橋 裕貴 洞内 貴雄 沖田 勇樹 澁谷 智秀
對馬 陽平 小松 学 神菌 義昭 山田 真矢 角田さつき
大川 和人 増山 涉 山崎 剛史 小林 宣慶 矢越 翼
能戸 修一 柏谷 翼 熊谷 将登 藤枝 誠 蛭子 勇人
南 禎明 蛭子 礼奈 新田 隼人 倉本 潤 伊藤 耕陽
以上順不同

総務進行 佐藤 嘉樹 宮川 玲
細川 大広 村川 研二 浅見 法 伊藤 満治 石戸 秀一
伊藤 耕陽 新田 隼人 伊藤 友子 藤枝 誠

競技役員 二階 幸喜 能戸 修一 柏谷 翼

記録計時 矢越 文男 米澤 和恵 渋谷 和隆 荒谷 潤治 米澤三枝子
平田 和幸 久保 信一 熊谷 直喜 七島 篤史 酒田 誠也
山田 司 七島 賢人 佐々木翔大 新田 晃樹 大西 寿裕
高松 慎悦 泉 優介 古川 一雅 菊池 恭平 伊藤 満治
大間・奥戸中学校、大間高等学校剣道部

救護 柴田 恵子

接待 伊藤 友子 伊藤 麻衣子 平田 未来
大間少年剣道クラブ育成会 奥戸剣道育成会

写真撮影 鈴木 夏紀



【評価及び反省】

第54回大間町少年剣道大会については、天候にも恵まれ計画どおり開催できた。

各関係機関方々及び多くのご来賓の出席を賜り、28団体236名の参加を迎えて盛大に実施された今年度は、昨年度並みの参加者で開催された。ピーク時には400人を超える選手の参加があったが、少子高齢化及び競技人口の減少により近年は減少傾向にある。

事業協力者(審判、事務局、大間・奥戸両地区剣道育成会、体協、大間中、役場職員)も手際よく、試合が順調に展開できた。

今後の開催に当たっては、少子化による影響で競技人口が減となり、年々参加人数が減ってくると予想されるが、本大会を安定的に継続していくために、事業を早期着手し審判員の確保・参加者の確保をしながら展開していかなければならない。

⑪大間町青少年健全育成会議

- 1 大間町青少年健全育成会議の活動については、下記規約により活動を展開している。また、同規約第2条により教育委員会事務局が事務を行っています。

大間町青少年健全育成会議規約

(名称)

第1条 この会議は、大間町青少年健全育成会議という。

(事務所)

第2条 この会議の事務所は、大間町教育委員会に置く。

(目的)

第3条 この会議は、青少年問題の重要性にかんがみ、広く町民の意識を結集し、国及び県の施策並びに青少年育成青森県民会議の提唱する県民運動と呼応して、次代をになう青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 この会議は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 青少年がその誇りと責任についての自覚を高めるための諸活動。
- (2) 健全な青少年団体及びグループの育成を図り、すべての青少年が、これに参加することを奨励するための諸活動。
- (3) 体育及びレクリエーションを奨励するための諸活動。
- (4) 健全育成の整備を促進するための諸活動。
- (5) 家庭教育、学校教育、社会教育等の緊密な連携を図るための諸活動。
- (6) 家庭の健全化を図る諸活動。
- (7) 青少年の非行防止のための諸活動。
- (8) 社会環境の浄化を図るための諸活動。
- (9) その他、この会議の目的を達成するための諸活動。

(会員)

第5条 この会議は、この会議の趣旨に賛同する個人及び団体をもって構成する。

2 この会議への加入及び脱退については別に定める。

(会員及び職務)

第6条 この会議には次の役員を置く。

- (1) 会長 1 名
- (2) 副会長 2 名
- (3) 委員 若干名
- (4) 監事 2 名

2 役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、この会議の事務を総括し、この会議を代表する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、または、欠けたときは、あらかじめ示した順序によって、その職務を代行する。
- (3) 委員は、第12条に定めるところにより職務を行う。
- (4) 監事は、会計及び会務を監査し、その結果を総会に報告する。

(役員を選任)

第7条 会長、副会長及び監事は、総会において選任する。

2 委員は会長が委嘱する。

(役員任期等)

第8条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠役員任期は前任者の残任期間とする。

2 顧問及び参与は、委員会に諮って会長が委嘱する。

(機関)

第9条 この会議に次の機関を置く。

- (1) 総 会
- (2) 委 員 会
- (3) 専門部会

(総会)

第10条 総会は会員をもって構成し、毎年1回以上会長が招集して開き、次の事項を議決する。

- (1) 事業計画及び事業報告
- (2) 予算及び決算
- (3) 規約の変更に関する事項
- (4) その他総会が必要と認める事項

(委員会)

第11条 委員会は、会長、副会長、監事及び委員をもって構成し、必要の都度会長が招集して開く。

(専門部会)

第12条 この会議は、必要の都度、専門部会を設けることができる。

- 2 専門部会は、会長から付託された事項について、調査・審議及び企画・実施する。
- 3 専門部会は、部員をもって構成し、会員の中から会長が委嘱する。
- 4 専門部会に部会長を置き、部員の中から互選する。
- 5 専門部会は、部会長が招集する。

(議長)

第13条 総会の議長は、その総会において出席した会員のうちから選任する。

- 2 委員会の議長は、会長がこれにあたる。
- 3 専門部会の議長は、部会長がこれにあたる。

(議決)

第14条 総会及び委員会の議決は、会議に出席した構成員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第15条 この会議の日常の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局の職員は、会長が委嘱する。

(経費)

第16条 この会議の事業に要する経費は、必要に応じ、寄付金、助成金等をもって充てる。

(会計年度)

第17条 この会議の会計年度は、4月1日に始まり、翌年の3月31日をもって終わる。

(補則)

第18条 この規約の施行について必要な事項は別に定める。

(付則)

この規約は、昭和57年7月16日から施行する。

取 扱 要 領

規約第5条第2項の規定に基づき、この会議への加入及び脱退について次のように定める。

- 1 この会議の会員になろうとするものは、入会申込書を会長に提出し、委員会の承認を得なければならない。
- 2 この会議を脱退しようとするものは、理由を付して脱退届けを提出しなければならない。
- 3 この細則は、昭和58年5月31日から適用する。

規約第16条に定める寄付金等の取扱を次のとおりとする。

- 1 この会議の趣旨に賛同する個人及び団体から寄付金を受けるものとする。
- 2 この会議の事業を推進するため、会議に参加する個人及び団体から拠出を受けるものとし、その拠出金の標準は次のとおりとする。
 - ① 個人 年 額 100 円以上
 - ② 会 員 年 額 1,000 円以上
 - ③ 団 体 年 額 2,000 円以上ただし、この標準によらない場合であっても拠出は受けるものとする。

3 納付方法

- ① 直接納付

活動方針

- 1 本会の規約第3条の趣旨を受け、本年度の方針として「青少年の健全育成」をはかるために、他団体との連携をはかり、啓蒙活動を推進する。
- 2 重点目標
 - (1) 健全な家庭づくり運動を進めよう
 - (2) 子どもの豊かな心や命を大切にする心を育てよう
 - (3) 青少年の自立と社会参加活動を進めよう
 - (4) 青少年の非行防止とよい環境づくりを進めよう
 - (5) 活力と連携のある地域活動を進めよう
- 3 努力事項
 - (1) あいさつの励行(『青少年の健全育成はあいさつから』を提唱)
 - (2) 子どもの豊かな心と命を大切にする心を育む環境づくり運動の推進
 - (3) 「みんなが主役」青少年を育てる地域づくり運動の推進
 - (4) いじめ根絶へ向けての活動推進
- 4 事業の具体化(委員会、専門部会の活動)
 - *委員会
 - (1) 重点目標実現に向けての事業計画と方針を検討する。
 - (2) 青少年健全育成推進大会実施の企画運営に努める。
 - (3) 会員の意識向上のための研修推進、近隣との交流を図る。
 - (4) 拠出金活動実施の企画運営を的確に進める。
 - (5) 専門部会の連絡調整をとる。
 - *補導部会
 - (1) 「みんなが主役」青少年を育てる運動の展開
 - (2) 児童生徒の長期休業中の町内巡視活動実施
 - (3) 非行・事故防止運動への協力(未成年者を酒・たばこ・薬物などから守る運動など)
 - *環境部会
 - (1) あいさつ運動の展開…『青少年の健全育成はあいさつから』を提唱
 - (2) 環境美化の展開…空き缶・ゴミ拾い運動、花いっぱい運動の展開など
 - (3) 万引き、有害図書をなくするため町内各商店の巡回活動実施
 - (4) 非行・事故防止運動への協力(JUMPチームとの協同)
 - (5) 青少年の読書活動の啓発
 - *町内会部会
 - (1) あいさつ運動の展開…『青少年の健全育成はあいさつから』を提唱
 - (2) 環境美化の展開…空き缶・ゴミ拾い運動、花いっぱい運動の展開など
 - (3) 町内会の巡回補導の推進
 - (4) 他の部会の活動に全面的に協力する

1. 平成28年度会務報告

月 日	事 項	会 場	備 考
4月21日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
5月2日	平成28年度新会員の推薦依頼 管内町立学校 県立大間高等学校		各校校長 PTA会長
5月20日	第1回大間町青少年健全育成会議委員会	大間公民館会議室	
5月25日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
5月25日	平成28年度大間町青少年健全育成会議総会	公民館2階	37名参加
5月30日	平成28年度青少年育成県民会議総会	青森県立図書館	2名参加
6月3日	防犯協会総会		
6月3日	平成28年度大間地区暴力追放推進協議会定時総会		
6月6日	平成28年度青森県青少年健全育成推進員及び命を大切に する心を育む声かけリーダー研修会	むつ来さまい館	2名参加
6月23日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
7月7日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
7月11～ 8月24日	平成28年度大間町青少年健全育成会議作品コンクール作品 募集（テーマあいさつ・防犯・万引き・鍵かけ）		管内小中高児童生徒
7月21日	平成28年度夏の交通安全及び防犯パレード	奥戸地区	奥戸小中学校児童生徒 委員・補導・環境・町 内・声かけリーダー
7月22～ 8月18日	夏休み夜間巡回指導活動	大間町全域4回実施	補導部
7月23～ 24日	大間地区連合防犯協会主催 平成28年度大間地区地域安全野球大会	風間浦野球場	
8月25日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
8月25日～ 31日	青森県青少年健全育成県民会議「命を大切に する心を育む県民運動【あいさつ・声かけ 促進キャンペーン】		
9月6日	大間地区連合防犯協会主催 第52回大間地区少年防犯弁論大会		
9月21日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
9月23日	平成28年度大間町青少年健全育成会議作品コンクール作品 募集に係る 標語・ポスター審査会	公民館1階	委員
9月23日	平成28年度 秋の交通安全及び防犯パレード	雨天中止	大間小中学校児童生徒 委員・補導・環境・町 内・声かけリーダー
9月25日	第31回はまなす駅伝大会	大間町内	24チーム参加
10月20日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
10月27日	健全育成作品（ポスター・標語）配布	町内各所	補導部・環境部
11月24日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
12月4日	第31回大間町少年柔道大会	大間中学校	約300名参加
12月8日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
12月20日	第35回大間町青少年健全育成推進大会第1回実行委	大間公民館会議室	
1月26日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
1月29日	第53回大間町少年剣道大会	大間中学校	役330名参加
1月31日	第35回大間町青少年健全育成推進大会第2回実行委	大間公民館会議室	
2月11日	第35回大間町青少年健全育成推進大会 各表彰・青年の主張・入賞作品展示 講演：青森ワッツ チアダンスチーム ブルーリングス チアスクール ディレクター 岩館 千歩 氏	北通り総合文化センター ウイング	約300名参加
2月23日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
3月9日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
3月31日	健全育成機関誌「青春」第36号発行	町内配布	2,400部

4 あいさつ運動の実施

本事業については、県青少年健全育成推進委員・町青少年健全育成会議の声かけリーダーを中心に、継続的に実施されている運動である。

基本的に、毎月第4木曜日の登校時間に通学路に立ち、登校する児童生徒に「声かけ」を行っている。PTAや教職員、町内会、民生児童委員、交通安全母の会や地域の各団体の協力を得て実施し、その効果は十分に児童生徒の日常の態度に表れており、学校内はもちろん、街頭での挨拶も皆が進んで声をかけてくるようになってきている。学校生活の状況において町内4校とも「いじめ問題」等もなく平穏に過ごせる環境になっている。

一方、学校では「ノーカーデー」を設定し取り組みをしているが、依然として「車での送迎」をする保護者が多い現状である。下北地域の児童については肥満度が高く、特に大間町は高い状況であり、学校サイドも校内での運動等の取り組みの他、家庭での「食事」「間食」「睡眠時間等」基本的な日常生活習慣の改善を模索している。

◎ 声かけ実施状況

○ 大間地区 登校時 7時10分 ～ 7時40分 頃までの30分間

- ・ 小学校校門付近
- ・ 町営住宅交差点付近
- ・ 大間保育園付近
- ・ 青い森信用金庫交差点付近

○ 奥戸地区 登校時 7時10分 7時40分 頃までの30分間

- ・ 春日神社前信号付近
- ・ 材木農村婦人の家付近
- ・ 奥戸橋付近

5 交通安全及び防犯パレードへの参加

大間町交通安全対策協議会と大間地区連合防犯協会大間支部の共催で実施している

奥戸地域 「夏の交通安全及び防犯パレード」

大間地域 「秋の交通安全及び防犯パレード」

へ健全育成会議の「委員会」「町内会部会」「声かけリーダー」で積極的に参加し、地域の交通安全対策へ寄与している。奥戸中学校生徒の「JUNPチーム」も毎年参加している。

6 クリーン作戦の実施

奥戸小学校児童及び奥戸中学校生徒全員と健全育成会議委員で、奥戸・材木地区の道路清掃活動を毎年継続し夏休みに入る前に行っている。

これについては、地域住民からも大きく評価されている。

7 健全育成作品コンクールの開催

子どもたちへの「犯罪防止」と「あいさつに対する意識の高揚」更には、これの地域住民へ本活動をアピールすることを目的として、「防犯・あいさつ・鍵かけ」をテーマとしてポスター及び標語を夏休み期間に募集し、審査会を開催して選考された優秀作品について、毎年2月第二土曜日に開催している「大間町青少年健全育成推進大会」の場において表彰している。

8 県主催各種研修会等への参加

○ 県青少年健全育成推進員及び命を大切にすることを育む「声かけリーダー」

- ・ 大間町大字奥戸字奥戸村190 岩泉 盛利
- ・ 大間町大字奥戸字向町27-5 笹谷 克則 (青少年育成推進指導員兼務)
- ・ 大間町大字大間字奥戸道33-5 泉 晃
- ・ 大間町大字大間字冷水6-2 高橋 博之(平成29年5月19日まで)

○ 研修会等参加状況

開催日 平成29年 6月 5日(月) 13:00 ~ 16:00
場 所 むつ来さまい館 イベントホールB
内 容 平成29年度青森県青少年健全育成推進員及び命を大切にすることを育む
声かけリーダー研修会

開催日 平成29年6月9日(金) 13:00 ~
場 所 青森県立図書館
内 容 平成29年度青少年育成青森県民会議総会

平成29年度 あいさつ運動

通学路での声かけの様子



第36回大間町青少年健全育成推進大会

開催日 平成 30 年 2 月 17 日 (土)
時 間 午前 9 時 ~ 12 時 まで
会 場 北通り総合文化センター「ウイング」 1F

第 3 6 回大間町青少年健全育成推進大会開催要項

1 大会の趣旨

大間町の明日を担う、心豊かでたくましい青少年の育成を図るために育成関係者及び地域住民が結集して、家庭並びに地域における育成活動のあり方を研究協議し、もって地域ぐるみで一層の育成活動の推進と充実を期することを目的に開催する。

2 大会スローガン 『 地域ぐるみで 伸びよう 伸ばそう 青少年 』

3 主 催 大間町青少年健全育成会議

4 共 催 大間町連合PTA 大間町体育協会 大間町子ども会育成連絡協議会 大間町学力向上推進委員会

5 後 援 大間町・大間町教育委員会

6 協力機関・団体 大間警察署、大間町立小・中学校、大間小・中PTA、奥戸小・中PTA 県立大間高等学校、大間高等学校PTA、各町内会、婦人会(大間・奥戸 大間町連合青年団、大間町老人クラブ連合会、漁協女性部(大間・奥戸 父母の会(うみの子保育園・大間保育園・大間幼稚園)、 大間町青少年赤十字活動推進協議会、大間ライオンズクラブ、 大間町民生委員児童委員協議会、大間地区防犯指導隊大間支隊、 大間町料飲店防犯協力会、大間地区更生保護女性会、 大間最北端観光組合、大間町商工会女性部、大間町柔道協会、 大間誠心館道場、大間誠心館道場育成会、 大間少年剣道クラブ育成会、奥戸少年剣道育成会、 大間ボランティアグループふれあい、大間町読書サークル、 大間町女性団体連絡協議会

7 実行委員会 大間町青少年健全育成会議副会長 大間町青少年健全育成会議委員会委員 大間町教育委員会担当 大間町立小・中学校 教頭

8 青少年健全育成推進大会内容

- | | | | |
|------------|--|-----|---|
| (1) 開会のことば | 大間町青少年健全育成会議 | 副会長 | 泉 晃 |
| (2) 大会長挨拶 | 大間町青少年健全育成会議 | 会長 | 大見 俊久 |
| (3) 祝 辞 | 大間町長 | | 金澤 満春 様 |
| | 大間警察署長 | | 白濱 守 様 |
| (4) 大会宣言 | 大間町青少年健全育成会議 | 委員 | 手塚 由一 |
| (5) 少年の主張 | 大間小学校代表 | 6年 | 伊藤 才道
御厩敷 琉生
川崎 龍稀
竹内 秀哉
新田 一巴
新田 翔汰
石戸 碧那
伊藤 咲花
大西 春菜
鈴木 里奈
新田 はな
平社 美砂
山崎 葵 |
| | テーマ 「大間をPRしてきたよ〜マグロ以外にもあるぞ！！大間の魅力〜」 | | |
| | 奥戸小学校代表 | 6年 | 佐々木 瑠菜 |
| | テーマ 「自分を変えること」 | | |
| | 大間中学校代表 | 2年 | 山崎 朋夏 |
| | テーマ 「たった一言」 | | |
| | 奥戸中学校代表 | 3年 | 柳谷 萌加 |
| | テーマ 「大切な人への恩返し」 | | |
| | 大間高等学校代表 | 2年 | 菊池 廉 |
| | テーマ 「今やるべきこと」 | | |
| (6) 表彰状伝達 | 詳細については別添 | | |
| (7) 講師紹介 | 大間町青少年健全育成会議 | 副会長 | 笹谷 克則 |
| (8) 公演 | 「お客様の声から学ぶ、誤解を生まない言葉のやりとり」
講師 株式会社白松がモナカ本舗 総務部 主任
山本 孝哲氏 | | |
| (9) 閉会の言葉 | 大間町青少年健全育成会議 | 副会長 | 泉 晃 |

大間町青少年健全育成会議表彰規定(抜粋)

(表 彰)

第2条 次の各号のいずれかに該当する活動を行っているか、又は行った個人等で青少年の健全な成長及び非行防止のために他の模範となる実績をもつもの

- (1) 健全育成施設の整備を促すための諸活動
- (2) 家庭の健全化を図るための諸活動
- (3) 健全な青少年団体及びグループの育成を図り、すべての青少年が参加することを奨励するための諸活動
- (4) 青少年の非行防止のための諸活動
- (5) 社会環境の浄化を図るための諸活動
- (6) その他青少年の健全育成のためのボランティア活動
- (7) 青少年の文化活動において、功績のあった個人及び団体の活動

平成29年度健全育成表彰授与者

(個人) 新 相 郁 子 (大間地域婦人会)

- 明るい家庭生活、地域づくりと社会福祉の充実につとめることを目的とした大間地域婦人会の会長を長期にわたりつとめ、育成会議の一員として青少年の交通事故防止や公衆道徳の向上のための、あいさつ運動等の奉仕活動に貢献した。
 - ・大間地域婦人会 20年

健全育成作品コンクール表彰者

標語の部表彰者

◎標語の部(小学校の部)最優秀賞1 優秀賞3 佳作9

賞	作 品	学 校 名	学 年	氏 名
最優秀賞	「おはよう」で 笑顔がいっぱい 大間町	大間小学校	6年	山崎 葵
優秀賞	おはようと 今日もえがおの きみとぼく	奥戸小学校	2年	岩瀬 樹介
優秀賞	元気でね 次会うまでの 合い言葉	大間小学校	5年	北郷 千紗
優秀賞	あいさつは 気持ちを変える 一言だ	奥戸小学校	6年	菊池 李莉花
佳 作	あいさつに えがおをプラス いいきもち	大間小学校	1年	山本 虎安
佳 作	おはようと げんきなこえで いきます	奥戸小学校	1年	太田 奏音
佳 作	ありがとう 心と心 つなぐカギ	大間小学校	2年	氣仙 龍桜
佳 作	ありがとう あなたもわたしも いいきもち	大間小学校	3年	三國 谷優洵
佳 作	がんばれと おうえんするよ 仲間だよ	奥戸小学校	3年	菊池 彩菜
佳 作	あいさつは 町とみんなの エネルギー	大間小学校	4年	泉 恵璃咲
佳 作	おはようの 言葉一つで ひろがる輪	大間小学校	4年	高久 陽月
佳 作	ありがとう 心を動かす 言葉だよ	奥戸小学校	5年	清水 瑛斗
佳 作	あいさつは みんなのかおに 花さかす	大間小学校	6年	渋谷 田颯汰

◎標語の部(中学校の部)最優秀賞1 優秀賞3 佳作4

賞	作 品	学 校 名	学 年	氏 名
最優秀賞	魔が差して 伸ばしたその手 夢壊す	大間中学校	1年	赤田 健介
優秀賞	戸締りで 未然に防ごう 侵入者	奥戸中学校	1年	笹谷 陸翔
優秀賞	鍵かけて 安心安全 マイハウス	大間中学校	2年	蝦名 莉結
優秀賞	万引きで 奪ってしまう 家族の笑顔	奥戸中学校	2年	中村 颯来
佳 作	魔がさした それは言い訳 大罪だ	大間中学校	1年	磯川 蓮治
佳 作	鍵かけて どろぼう入れない 守る未来	奥戸中学校	1年	柴田 春我
佳 作	かぎかけは 世界を守る 心がけ	大間中学校	2年	山崎 朋夏
佳 作	のびした手 後戻りできぬ 大きな罪	奥戸中学校	2年	岩川 夏楓

◎標語の部(高等学校の部)最優秀賞1 優秀賞1 佳作1

賞	作 品	学 校 名	学 年	氏 名
最優秀賞	引っ込めろ! 伸ばしたその手 悪魔の手	大間高等学校	3年	佐々木 彩織
優秀賞	「少しだけ」 伸ばす手の先 夢壊す	大間高等学校	3年	蛸島 ちぐさ
佳 作	「一度だけ」 一生続く 罪の意識	大間高等学校	3年	米里 莉可

ポスターの部表彰者

◎ポスター最優秀賞1 優秀賞2 佳作3

賞	作 品	学 校 名	学 年	氏 名
最優秀賞	鍵かけ	大間中学校	2年	竹重 志芳
優秀賞	ありがとう 素直にいえる 大間っ子	大間小学校	5年	傳 法斗羽
優秀賞	その電話だいじょうぶ?サギに気をつけて!	奥戸中学校	1年	中嶋 凌生
佳 作	ありがとう そんな気持ちを 伝えよう	奥戸小学校	4年	佐々木 虹
佳 作	何かをしてもらったらありがとう	奥戸小学校	4年	小林 翔
佳 作	一度やったらやめられない	奥戸中学校	1年	柴田 春我

[大間町体育協会会長表彰]

大間町優秀選手賞

受賞者63名

No.	ふりがな氏名	種別	所属先又は学校名(学年)	大会名・成績
1	たけうち じょうたろう 竹内 晟太郎	柔道	大間小学校(1年)	青森県少年柔道大会 優勝 斉藤仁旗争奪(東日本・北日本)少年柔道大会 団体戦 優勝 個人戦 優勝 青森県少年柔道選手権大会 個人戦 優勝 県南地方学年別少年柔道大会 1年男女混合無差別級 優勝
2	さかた けいじろう 酒田 慶次郎	柔道	大間小学校(2年)	青森県少年柔道大会 30kg以下級 優勝 斉藤仁旗争奪(東日本・北日本)少年柔道大会 団体戦 優勝 個人戦 第2位 青森県少年柔道選手権大会 個人戦 第3位
3	いそかわ ゆうじ 磯川 悠治	柔道	大間小学校(2年)	斉藤仁旗争奪(東日本・北日本)少年柔道大会 団体戦 優勝 個人戦 第3位
4	たけうち じゅうべい 竹内 十兵衛	柔道	大間小学校(3年)	青森県少年柔道大会 35kg超級 優勝 斉藤仁旗争奪(東日本・北日本)少年柔道大会 個人戦 第3位 青森県少年柔道選手権大会 個人戦 第3位 県南地方学年別少年柔道大会 3年男女混合無差別級 第2位
5	いとう ごう 伊藤 豪	柔道	大間小学校(3年)	青森県少年柔道大会 35kg以下級 第3位
6	ますた あれん 増田 吾蓮	柔道	大間小学校(3年)	県南地方学年別少年柔道大会 3年生男女混合無差別級 第3位
7	いとう たかみち 伊藤 才道	軟式野球	大間小学校(6年)	第3回東北県選抜学童野球選手権 準優勝
8	おんまやしき りお 御厩敷 琉生	剣道	大間小学校(6年)	青森県スポーツ少年団フェスティバル剣道競技 団体戦 準優勝 県下選抜少年剣道大会 小学校団体戦 第3位 小学校個人戦 優勝 青森県小学生剣道練成大会 個人戦 優勝 鷹陽旗全国選抜剣道大会 小学生の部 第3位
9	くまがい けんすけ 熊谷 謙介	剣道	大間小学校(6年)	県下選抜少年剣道大会 小学校団体戦 第3位 鷹陽旗全国選抜剣道大会 小学生の部 第3位
10	かわさき りゅうき 川崎 龍稀	剣道	大間小学校(6年)	〃
11	ひろや みお 廣谷 美桜	剣道	大間小学校(5年)	県下選抜少年剣道大会 小学校団体戦 第3位 飛龍杯争奪剣道大会 女子個人戦 小学校高学年の部 準優勝 青森県スポーツ少年団フェスティバル剣道競技 団体戦 準優勝 鷹陽旗全国選抜剣道大会 小学校の部 第3位
12	こばやし ゆいな 小林 唯七	剣道	大間小学校(4年)	県下選抜少年剣道大会 小学校団体戦 第3位 鷹陽旗全国選抜剣道大会 小学生の部 第3位
13	わたなべ まさや 渡邊 雅也	剣道	大間小学校(4年)	県下選抜少年剣道大会 小学校団体戦 第3位 青森県小学生剣道練成大会 団体戦 低学年の部 準優勝 鷹陽旗全国選抜剣道大会 小学生の部 第3位
14	ひろや ゆうしん 廣谷 優芯	剣道	大間小学校(4年)	青森県小学生剣道練成大会 団体戦 低学年の部 準優勝
15	よねもち げんと 米持 舷人	剣道	大間小学校(4年)	〃
16	ひろや あみ 廣谷 彩心	剣道	大間小学校(3年)	〃
17	おんまやしき るい 御厩敷 葵生	剣道	大間小学校(3年)	〃
18	ひらた せいま 平田 成真	剣道	奥戸小学校(6年)	飛龍杯争奪剣道大会 団体の部 優勝 青森県スポーツ少年団フェスティバル剣道競技 個人の部 第3位
19	しばた かい 柴田 海	剣道	奥戸小学校(6年)	飛龍杯争奪剣道大会 団体の部 優勝
20	ささや ゆうな 笹谷 優那	剣道	奥戸小学校(6年)	青森県スポーツ少年団フェスティバル剣道競技大会 団体の部 準優勝

No.	氏名	種別	所属先又は学校名(学年)	大会名・成績
21	宮野 朔	剣道	奥戸小学校(5年)	飛龍杯争奪剣道大会 団体の部 優勝
22	清水 瑛斗	剣道	奥戸小学校(5年)	飛龍杯争奪剣道大会 団体の部 優勝 青森県ｽｯｯ少年団フェスティバル剣道競技大会 団体の部 準優勝 飛龍杯争奪剣道大会 男子個人戦 高学年の部 第3位 県下選抜少年剣道大会 個人の部 第3位
23	菊池 瑠夕歩	剣道	奥戸小学校(4年)	飛龍杯争奪剣道大会 団体の部 優勝 青森県ｽｯｯ少年団フェスティバル剣道競技 個人の部 第3位
24	木村 飛羽	剣道	大間中学校(3年)	青森県中体連夏季大会 男子団体戦 第3位
25	高橋 剛	剣道	大間中学校(2年)	青森県中体連夏季大会 男子団体戦 第3位 青森県中学校剣道新人大会 男子団体戦 第1位
26	宮野 龍也	剣道	大間中学校(2年)	青森県中体連夏季大会 男子団体戦 第3位 青森県中学校剣道新人大会 男子団体戦 第1位 青森県ｽｯｯ少年団フェスティバル剣道競技 男子団体戦 第3位
27	泉 大河	剣道	大間中学校(2年)	青森県中体連夏季大会 男子団体戦 第3位 青森県中学校剣道新人大会 男子団体戦 第1位
28	松山 栄資	剣道	大間中学校(2年)	〃
29	南 夢翔	剣道	大間中学校(2年)	青森県中体連夏季大会 男子団体戦 第3位 青森県中学校剣道新人大会 男子団体戦 第1位 青森県ｽｯｯ少年団フェスティバル剣道競技 男子団体戦 第3位
30	湊谷 心	剣道	大間中学校(2年)	青森県春季剣道選手権大会 女子個人戦 第3位 青森県ｽｯｯ少年団フェスティバル剣道競技 女子個人戦 第2位 青森県ｽｯｯ少年団フェスティバル剣道競技 女子団体戦 第3位
31	倉本 一輝	剣道	大間中学校(1年)	青森県中学校剣道新人大会 男子団体戦 優勝
32	高橋 琉偉	剣道	大間中学校(1年)	青森県中体連夏季大会 男子団体戦 第3位 青森県中学校剣道新人大会 男子団体戦 優勝 青森県ｽｯｯ少年団フェスティバル剣道競技 男子団体戦 第3位
33	工藤 琉芽	柔道	大間中学校(2年)	青森県中体連夏季大会 70kg超級 女子個人戦 第3位 青森県新人戦柔道大会 70kg超級 女子個人戦 第1位
34	泉 樹里	柔道	大間中学校(2年)	下北地方中体連夏季大会 柔道競技 女子団体戦 第1位
35	伊藤 陽愛	柔道	大間中学校(1年)	青森県中体連夏季大会 44kg 女子個人戦 第3位 青森県新人柔道大会 44kg 女子個人戦 第3位
36	西村 蓮	馬術	大間中学校(2年)	青森県馬術選手権大会 L1課目 第3位 L2課目 第2位
37	笹谷 陸翔	軟式野球	奥戸中学校(1年)	第2回全国選抜小学生野球選手権大会淡路島大会 第3位
38	菊池 岳斗	剣道	奥戸中学校(3年)	青森県ｽｯｯ少年団フェスティバル剣道競技中学校男子団体戦 第3位 下川杯少年剣道大会男子団体戦 第3位 下北地方中学校体育大会夏季大会剣道競技 男子個人戦 優勝 北奥羽少年剣道大会中学校男子団体戦 第3位 東日本少年剣道大会中学校団体戦 準優勝
39	柴田 翔	剣道	奥戸中学校(3年)	青森県ｽｯｯ少年団フェスティバル剣道競技中学校男子団体 第3位 下川杯少年剣道大会男子団体 第3位 北奥羽少年剣道大会中学校男子団体 第3位 東日本少年剣道大会中学校団体戦 準優勝
40	岩瀬 ゆい	剣道	奥戸中学校(2年)	青森県ｽｯｯ少年団フェスティバル剣道競技中学校女子団体 第3位 下北地方中学校体育大会夏季大会剣道競技女子個人戦 優勝 南部地方剣道大会中学校女子団体 準優勝
41	菊池 苺	剣道	奥戸中学校(1年)	青森県ｽｯｯ少年団フェスティバル剣道競技中学校女子団体 第3位 南部地方剣道大会中学校女子団体 準優勝
42	山崎 菜奈	柔道	大間高等学校(2年)	青森県高等学校新人柔道大会 女子個人70kg級 準優勝

No.	氏名	種別	所属先又は学校名(学年)	大会名・成績
43	伊藤 羅生	陸上	大湊高等学校(3年)	東北高等学校陸上競技大会100m第1位 200m第1位
44	菊池 孝太	陸上	大湊高等学校(3年)	青森県春季陸上競技大会男子4×100mR 第2位
45	山田 慎之介	剣道	田名部高等学校(3年)	青森県高等学校春季剣道選手権大会 男子個人戦 第3位
46	新田 樹	剣道	東奥義塾高等学校(3年)	青森県高等学校総合体育大会剣道競技 男子団体戦 優勝
47	平田 至恩	剣道	八戸工業大学 第一高等学校(3年)	青森県総合体育大会剣道競技 男子団体戦 第3位
48	菊池 愛斗	剣道	八戸工業大学 第一高等学校(3年)	〃
49	山本 大翔	剣道	八戸工業大学 第一高等学校(2年)	〃
50	泉 竜斗	柔道	八戸光星学院 高等学校(3年)	青森県高等学校総合体育大会柔道競技 男子個人戦 73kg級 優勝
51	古川 龍裕	剣道	五所川原第一 高等学校(2年)	青森県高等学校春季剣道選手権大会 男子団体戦 優勝 青森県高等学校総合体育大会剣道競技 男子団体戦 準優勝 青森県高等学校新人剣道選手権大会 男子団体戦 優勝
52	山本 優海	柔道	青森北高等学校(3年)	青森県高等学校総合体育大会柔道競技 女子団体戦 優勝
53	浅見 日和	剣道	青森北高等学校(1年)	青森県高等学校剣道新人大会 女子団体戦 第3位
54	菊池 佑美	柔道	弘前実業高等学校(3年)	青森県高等学校春季柔道大会 女子個人 52kg級 第3位 青森県高等学校総合体育大会柔道競技 女子個人 52kg級 第3位 国民体育大会青森県選手選考会 少年女子 52kg級 第3位
55	傳法 優生	剣道	宮城県小牛田農林 高等学校(3年)	宮城県高等学校総合体育大会剣道大会 男子団体戦 優勝
56	熊谷 巨希	柔道	長野県松本第一 高等学校(3年)	長野総合体育大会柔道競技大会 60kg級 優勝 北信越高等学校体育大会 60kg 準優勝
57	倉本 潤	剣道	大間町体育協会 剣道部	青森県民体育大会 剣道競技 町村の部 団体戦 優勝
58	伊藤 耕陽	剣道	大間町体育協会 剣道部	〃
59	南 禎明	剣道	大間町体育協会 剣道部	〃
60	藤枝 誠	剣道	大間町体育協会 剣道部	〃
61	熊谷 将登	剣道	大間町体育協会 剣道部	〃
62	蛭子 勇人	剣道	大間町体育協会 剣道部	〃
63	菊池 正真	剣道	大間町体育協会 剣道部	〃

大間町スポーツ奨励賞

受賞者52名

No.	ふりがな氏名	種別	所属先又は学校名(学年)	大会名
1	いしと 碧那 石戸 碧那	ミニバスケットボール	大間小学校(6年)	東北電力旗東北ミニバスケットボール大会下北地区予選大会 兼ライオンズクラブ杯争奪下北地区ミニバスケットボール交歓大会 第1位 石田旗争奪ミニバスケットボール下北選手権大会 兼むつ市ミニバスケットボール交歓教室 第1位
2	いとう 咲花 伊藤 咲花	ミニバスケットボール	大間小学校(6年)	〃
3	でんぼう 絢心 傳法 絢心	ミニバスケットボール	大間小学校(5年)	〃
4	いずみ 夢華 泉 夢華	ミニバスケットボール	大間小学校(6年)	〃
5	よしもと 菜々華 吉本 菜々華	ミニバスケットボール	大間小学校(6年)	〃
6	まつもと 風夏 松本 風夏	ミニバスケットボール	大間小学校(5年)	〃
7	いとう 海 伊藤 海	ミニバスケットボール	大間小学校(4年)	〃
8	さやま 夢奈 佐山 夢奈	ミニバスケットボール	大間小学校(4年)	〃
9	えびな さくら 蝦名 さくら	ミニバスケットボール	大間小学校(6年)	〃
10	すずき 里奈 鈴木 里奈	ミニバスケットボール	大間小学校(6年)	〃
11	いとう 玲空 伊藤 玲空	ミニバスケットボール	大間小学校(2年)	〃
12	いとう 鈴々 伊藤 鈴々	ミニバスケットボール	大間小学校(2年)	〃
13	たけうち 秀哉 竹内 秀哉	野球	大間小学校(6年)	青森県少年軟式野球大会むつ地区予選会 優勝
14	にった 翔汰 新田 翔汰	野球	大間小学校(6年)	〃
15	たてわき 蓮 舘脇 蓮	野球	大間小学校(6年)	〃
16	にった かずは 新田 一巴	野球	大間小学校(6年)	〃
17	さとう 凌虎 佐藤 凌虎	野球	大間小学校(5年)	〃
18	さやま りょうた 佐山 凌太	野球	大間小学校(5年)	〃
19	いとう 新 伊藤 新	野球	大間小学校(5年)	〃
20	なら しゅんせい 奈良 舜星	野球	大間小学校(5年)	〃
21	やまざき まさと 山崎 真徹	野球	大間小学校(5年)	〃
22	こじま あきや 小島 慧也	野球	大間小学校(4年)	〃
23	こじま たいが 小島 大駕	野球	大間小学校(4年)	〃
24	ごとう かいと 後藤 海斗	野球	大間小学校(4年)	〃
25	こたに しょうよう 小谷 翔洋	野球	大間小学校(4年)	〃
26	なかもり そうしろう 中森 蒼志朗	野球	大間小学校(4年)	〃

No.	氏名	種別	所属先又は学校名(学年)	大会名
27	傳法 心晴	野球	大間小学校(4年)	〃
28	小島 琉生	野球	大間小学校(3年)	〃
29	小島 翼	野球	大間小学校(3年)	〃
30	伊藤 葵	ソフト ボール	大間中学校(3年)	下北地区春季ソフトボール大会 優勝 下北地方中体連夏季大会 ソフトボール競技 優勝
31	岩谷 佳保	ソフト ボール	大間中学校(3年)	〃
32	伊藤 未栞	ソフト ボール	大間中学校(2年)	下北地区春季ソフトボール大会 優勝 下北地方中体連夏季大会 ソフトボール競技 優勝 下北地方中体連秋季大会 ソフトボール競技 優勝
33	蝦名 莉結	ソフト ボール	大間中学校(2年)	〃
34	駒井 未来	ソフト ボール	大間中学校(2年)	〃
35	新田 恋巴玖	ソフト ボール	大間中学校(2年)	〃
36	新田 真心	ソフト ボール	大間中学校(2年)	〃
37	山崎 百代	ソフト ボール	大間中学校(2年)	〃
38	加藤 梨紗	ソフト ボール	大間中学校(2年)	〃
39	山崎 朋夏	ソフト ボール	大間中学校(2年)	〃
40	手塚はる陽	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃
41	傳法ありさ	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃
42	傳法 小浪	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃
43	新田 叶心	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃
44	室館 夢	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃
45	伊藤 海脩	柔道	大間中学校(3年)	むつ市春季柔道大会 無差別級 第1位
46	松田 大地	柔道	大間中学校(2年)	下北地方中体連夏季大会 柔道競技 55kg級 第1位
47	小濱 楓真	陸上	大間中学校(1年)	下北地方中体連秋季大会 陸上競技 1年走高跳 第1位
48	佐々木正晴	陸上	大間中学校(1年)	下北地方中体連秋季大会 陸上競技 1年走幅跳 第1位
49	傳法 海音	馬術	大間中学校(2年)	たかまるステーク大会クロス障害飛越競技 第1位
50	高松 剛成	柔道	奥戸中学校(3年)	むつ市春季柔道大会 中学校男子個人66kg級 優勝 下北地方中学校体育大会夏季大会柔道競技 男子個人戦66kg級 優勝 大間町少年柔道大会中学校男子団体 第3位
51	新田 凜	陸上	奥戸中学校(2年)	下北地方中学校体育大会秋季大会陸上競技女子2年走幅跳 優勝
52	中村 颯来	卓球	奥戸中学校(2年)	むつ市秋季卓球大会 女子団体戦Cグループ 優勝

大間町優秀スポーツ指導者賞

受賞者 2名

No.	氏名	職業	経歴	内容	推薦理由
1	佐藤 嘉樹	教員	平成29年4月1日～現在	大間中学校剣道部顧問	大間中学校剣道部の指導者として、県大会において優秀な成績を収めるとともに選手の育成と監督として大いに貢献した。
	指導にあたった主な選手及びその成績				
	平成29年度青森県中学校剣道新人大会 男子団体 優勝				
2	増山 渉	公務員	平成20年4月～現在	大間町体育協会剣道部部长	市町村対抗青森県民大会剣道競技で大間町の監督として、優秀な成績を収めるとともに選手育成に大いに貢献した。
	指導にあたった主な選手及びその成績				
	平成29年度市町村対抗青森県民大会 剣道競技 優勝 (5連覇)				



【評価及び反省】

青少年健全育成会議における事業については、例年同様に実施できたところであるが、あいさつ運動については、その効果が現れてきており、通学時はもちろん、街頭でも子どもたちから自然にあいさつができるようになってきている。作品コンクールについては、学校ごとの対応がまちまちであり、出品数が伸び悩んでいる状況である。クリーン活動については、ここ数年来奥戸地区での対応となっているので、大間地区でも実施できるように取り組んでいきたい。毎年のことであるが、2月に開催している青少年健全育成推進大会の「講師選定」に苦労している。予算的にも限られた謝礼しか準備できないことから、ギリギリの線で動いている。本事業を引き続き継続するにあたり、事業内容の見直しや補助金の増額要望等を検討していかなければならない。

⑫放課後子ども教室

- 1 趣 旨 大間町内における放課後や週末等に子ども達の安全、安心な活動拠点を設け、地域の方々参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的とする。
- 2 主 催 大間町教育委員会
- 3 開催日 通年（夏休み・冬休み・春休みを除く 毎週水曜日及び土曜日に開催）
- 4 開催時間 水曜日 午後 3時～ 土曜日 午前 9時～
- 5 開催場所 ・町立大間小学校体育館 ・奥戸交流館
- 6 種別
- | | | | |
|---------------|-------------|--------|----|
| ① フットサル（サッカー） | （ 体協サッカー部 | 堺 祐介 | 他） |
| ② ものづくり体験等 | （ 大間婦人会 | 新相 郁子 | 他） |
| | （ ふれんど | 橋本 京子 | 他） |
| | （ 大間地区老人クラブ | 蛭子 研三 | 他） |
| | （ 奥戸婦人会 | 野崎 和歌 | 他） |
| ③ 俳句作り体験 | （ 新風 | 金田一 一子 | 他） |
- 7 参加料 無 料
- 8 補助金 青森県教育庁生涯学習課
平成29年度放課後子ども教室事業費補助金 379,000 円
- 9 実行委員会
- | | | |
|-----|---|--------|
| 第1回 | 平成 29年 5月 17日（水） | 16:00～ |
| 案件 | ・ 今年度の事業説明、日程調整
・ その他 | |
| 第2回 | 平成 29年 10月 10日（火） | 15:00～ |
| 案件 | ・ 今年度の事業説明、日程調整
・ 来年度からの事業計画の協議
・ その他 | |
| 第3回 | 平成 30年 3月 16日（金） | 15:00～ |
| 案件 | ・ 今年度の意見交換
・ 来年度からの事業計画の協議
・ その他 | |

大間町放課後子ども教室推進実行委員会会則

(名 称)

第 1 条 この会は大間町放課後子ども教室推進実行委員会という。

(事務局)

第 2 条 この会の事務局は、大間町教育委員会に置く。

(目 的)

第 3 条 この会は、大間町内における放課後や週末等に子ども達の安全、安心な活動拠点を設け、地域の方々参画を得て子ども達とともに勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的とする。

(会 員)

第 4 条 この会は、次の者をもって会員とし組織する。

- (1) 大間町社会教育委員(実行委員会)、教育委員会職員
- (2) この会の趣旨に賛同する指導者

(活 動)

第 5 条 この会は、第3条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 子どものためのグループ活動を指導し、助言すること。
- (2) 親と子の正しい結びつきを深めること。
- (3) 子どもをめぐる社会環境をより良くすること。
- (4) 子どもに対して地域の人々の関心をより深めること。
- (5) 良き指導者の育成を図ること。
- (6) 子どもに関する諸機関、団体との連絡提携を図ること。
- (7) その他、子どもの健全育成に必要と認められた活動。

(役 員)

第 6 条 子の会に次の役員を置く。

- 会長 1名
監事、事務局長(教育委員会担当課長) 1名

(役員を選出)

第 7 条 役員を選出は次のとおりとする。

- (1) 会長は教育課長とする。
- (2) 事務局長、監事は教育委員会担当課長とする。

(役員任期)

第 8 条 役員任期は、社会教育委員の任期とする。

- (1) 役員を選出することができない場合は、新たに選出される役員が就任するまでその任期を延長する。
- (2) 上記役員が就任した場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の仕事)

第 9 条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長はこの会を代表し、会務を総理する。
- (2) 委員は会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。
- (3) 監事は会計を監査し、その結果を会長に報告する。
- (4) 事務局は、この会の庶務と会計に関する事務を処理する。
- (5) 事務局長は、この会の庶務と会計に関する支出の権限を持ち、帳簿・証書等の保管及び金銭の出納・保管にあたる。

(会 議)

第 10 条 会議は、会長が委員を招集するものとする。また、委員の他に会長が必要と認める場合、指導員等を会議に出席させることができる。

第 11 条 会議の議長は、会長が実施する。

(運営費)

第 12 条 この会の運営費は、補助金・委託料・その他をもってこれに充てる。

(会計年度)

第 13 条 この会の会計年度は、4月1日から3月31日とする。

(附 則)

- 1 本会則は、平成19年4月1日から施行する。

平成 29 年 度 子 ども 教 室 参 加 状 況

月 日	奥戸地区(交流館)		大間小アリーナ			大間小ミーティングルーム	
	内 容	人数	月 日	内 容	人数	内 容	人数
6月3日	新風	5人	6月7日	フットサル	8人	ふれんど	24人
6月10日	ふれんど	6人	6月14日	フットサル	16人	大間婦人会	21人
6月24日	新風	3人	6月21日	フットサル	8人	老人クラブ	23人
7月1日	ふれんど	6人	6月28日	フットサル	8人	大間婦人会	20人
7月8日	大間婦人会	2人	7月5日	フットサル	9人	老人クラブ	24人
7月15日	奥戸婦人会	10人	7月19日	フットサル	11人	新風	26人
8月26日	大間婦人会	4人	8月30日	フットサル	6人	ふれんど	17人
9月2日	新風	2人	9月6日	フットサル	8人	ふれんど	18人
9月9日	奥戸婦人会	7人	9月13日	フットサル	8人	老人クラブ	20人
9月16日	ふれんど	2人	9月20日	フットサル	13人	新風	15人
9月23日	大間婦人会	4人	10月18日	フットサル	11人	老人クラブ	16人
9月30日	奥戸婦人会	9人	10月25日	フットサル	10人	新風	16人
10月7日	ふれんど	3人	11月1日	フットサル	8人	新風	17人
10月28日	奥戸婦人会	8人	11月22日	フットサル	6人	老人クラブ	12人
11月4日	新風	1人	12月6日	フットサル	10人	老人クラブ	21人
11月11日	大間婦人会	1人	12月20日	フットサル	10人	ふれんど	18人
11月18日	ふれんど	3人	1月17日	フットサル	10人	ふれんど	12人
11月25日	奥戸婦人会	1人	1月31日	大間婦人会	9人	老人クラブ	10人
12月2日	新風	4人	2月7日	フットサル	11人	老人クラブ	10人
12月9日	大間婦人会	2人	2月14日	フットサル	11人	大間婦人会	12人
12月16日	奥戸婦人会	2人	2月21日	ふれんど	13人	新風	13人
1月20日	奥戸婦人会	6人	2月28日	老人クラブ	17人	大間婦人会	17人
1月27日	ふれんど	1人					
2月3日	ふれんど	1人					
02月10日	奥戸婦人会	1人					
02月17日	大間婦人会	1人					
02月24日	奥戸婦人会	1人					
合 計		96人			221人		382人

開催回数	全体
奥戸地区	27回
大間小(アリーナ)	22回
大間小(ミーティングルーム)	22回

【評価及び反省】

本事業については、平成18年に事業を開始し平成19年4月に推進実行委員会を立ち上げ継続して事業を展開しているところであるが、その内容により子ども達の参加状況の有無が極端な結果となっている。やはり、体を使うサッカー等は参加者が多く、物づくりや読み聞かせ等においては、非常に少なくなっている。現在、子ども達の部活動が無い毎週水曜日及び土曜日に開催しているが、土曜日の参加者は極端に少ないところである。子ども教室のメニューの検討が必要な時期にきていると考えられる。

また、当課の事業とは趣旨が異なるが、厚生労働省が進める「放課後児童クラブ」との事業連携を住民福祉課と模索しているところであり、これについては、対応する人件費等子ども教室とは比較にならないくらいが発生することや、主担当部局をどうするか等の協議を行わなければならないことから、今後の検討事項でもある。

⑬函館市戸井地区交流事業

1 経緯 函館市戸井町との交流事業に関しては、昭和46年6月に東日本フェリー大間―戸井航路就航を契機に姉妹町締結し、継続して交流を行っているところであります。旧戸井町時には、双方の町職員同士の交流、駅伝大会・音楽祭への参加等多様に亘って交流が行われて来ましたが、現在は音楽祭・文化祭のみの交流となっております。

2 平成29年度の交流状況

① 第50回函館市戸井地区文化祭芸能発表会への参加

日程 平成 29 年 10 月 14 ～ 15 日

会場 函館市戸井総合学習センター

参加団体

・ 津軽海峡海鳴り太鼓保存普及会 7 名



② 第39回大間町音楽祭への参加

日程 平成 29 年 10 月 29 日

会場 北通り総合文化センター「ウイング」

参加団体 コーラスグループT・O・I



【評価及び反省】 本事業については、姉妹町の関係からもできる限り継続実施していく予定であります。

【 施策の総合的評価 】

全般的にみて、当初予算計上分の事業については、課員全員で協力し無事遂行できたと思われる。教育委員会事務局も機構改革後に業務が「教育課」に一本化され職員数が減じられているなかで、総務課業務、社会教育業務における各種行事を毎月のように開催している。

このことは、事務職員及び関係各位の協力により達成できていることであります。

学校教育面に関しても、児童生徒の学力向上へ向けての取組みや、安全の確保を最優先し取り組んでおり、校長会をはじめ教頭会、教務主任会、事務会までの各担当レベルでの会議を毎月開催して常に情報を共有し取り組んでいることは、県内でも例のないことであり、児童生徒の将来に向け、健やかに学び、これからの少子高齢化社会・グローバル化の進展に対応できるような人材育成を行うための環境確保を、今後も継続し続けていく予定であります。

【 課題 】

学校施設4校のうち3校が竣工から20年以上となっていることから、順に改修を行わなければならない状況となっている。また、はまなす駅伝大会等においても進む少子化により、地元の子供達の参加が少なくなっている。特に奥戸地域の参加自体が厳しい状況となってきている。

教育委員会が主管となり実施している事業の中で、特に審判員を必要とする競技を開催する際、そのマンパワー(審判員)の確保が年々難しくなっていることもあり、各大会の開催時期等の検討も必要と考えられる。